

平成25年度  
我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備  
(青少年インターネット利用環境整備に係る調査)  
機器ごとのインターネット利用状況調査 報告書

平成 26 年 1 月

経済産業省

委託先:ピットクルー株式会社



## ◆◆目次◆◆

<b>1. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1-1 調査の背景と目的 .....	1
1-2 アンケート調査の概要 .....	2
<b>2. 青少年対象アンケート調査結果</b> .....	<b>5</b>
2-1 回答者属性 .....	5
2-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況 .....	7
2-3 オープンサイトの利用状況 .....	26
2-4 インターネットの利用時間 .....	29
2-5 コミュニティサイトの利用状況 .....	35
2-6 違法・有害情報への遭遇状況 .....	39
2-7 インターネットを利用する際のルール .....	41
2-8 フィルタリングソフト .....	45
<b>3. 保護者対象アンケート調査結果</b> .....	<b>51</b>
3-1 回答者属性 .....	51
3-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況の認識 .....	53
3-3 青少年のインターネット利用に関する確認状況 .....	62
3-4 青少年のコミュニティサイトの利用状況 .....	69
3-5 青少年の違法・有害情報への遭遇状況 .....	74
3-6 インターネットを利用する際のルール .....	78
3-7 フィルタリングソフト .....	85
3-8 ペアレンタルコントロール .....	96
3-9 保護者の認識確認 .....	99
<b>4. 付録</b> .....	<b>103</b>
4-1 調査票 .....	103
4-2 集計票 .....	103

# 1. 調査の概要

## 1-1 調査の背景と目的

昨今、企業活動や市民生活などの様々な分野でインターネットが急速に普及し、国民の誰もが世界中の様々な情報に迅速かつ容易にアクセスでき、また個人が手軽に情報発信をすることのできる環境が整備されつつある。

その反面、不適切なインターネット利用が、権利侵害、犯罪の助長、健全な青少年育成の阻害等の新たな社会問題の原因の一つとなっていることから、平成20年にいわゆる青少年インターネット環境整備法が制定され、接続役員提供事業者や機器製造事業者はフィルタリングの提供を行うなど、各種の環境整備が進んでいる。

本事業においては、近年のスマートフォンやインターネットに接続可能なゲーム機などの青少年への普及拡大など考慮すべき状況の変化を踏まえ、調査内容のさらなる拡充を図ることにより、利用機器の多様化に伴う利用状況等の変化をとらえ、機器ごとのインターネット利用状況を明らかにすることで、望ましいフィルタリング提供のあり方の検討や、フィルタリング普及啓発活動の改善に寄与することを目指した。

具体的な質問内容については「平成 22 年度 レイティング/フィルタリング連絡協議会研究会最終報告」「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会 報告書」「平成 23 年度・24 年度 経済産業省委託事業 機器ごとのインターネット利用状況調査報告書」等の内容を参考にして作成した。

## 1-2 アンケート調査の概要

本調査では、青少年を対象としたアンケート調査と、青少年と同居する保護者を対象としたアンケート調査とを実施した。

### 1-2-1 青少年対象アンケート調査

#### 【調査期間】

2013年12月20日～2013年12月22日

#### 【調査対象】

満10歳から満17歳までの青少年

#### 【調査地域】

全国

#### 【割付条件】

性別、学校種別(小学生、中学生、高校生)、地域(北海道、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州・沖縄地方)で、2,000サンプル回収を想定して割付を行った。

#### 【調査方法】

Web アンケート調査

マクロミル社登録モニターに対し、事前調査を行い、満10歳から満17歳までの青少年と同居し、アンケート実施を想定する期間において、青少年とともにアンケートに協力可能な保護者を抽出。抽出した保護者に対し Web アンケートへの回答を依頼し、保護者を通じて青少年に Web アンケート画面を提示する。青少年が回答を終えた時点で回答を一次保存する。青少年アンケートに引き続き、保護者が保護者を対象としたアンケートに回答するが、保護者は青少年が行った回答結果を戻ってみることはできない。設定したサンプル数に達するまで Web アンケートの回収を実施。

#### 【回収結果】

有効回答数 2,073 件

## 1-2-2 保護者対象アンケート調査

### 【調査期間】

2013年12月20日～2013年12月22日

### 【調査対象】

満10歳から満17歳までの青少年と同居する保護者

### 【調査地域】

全国

### 【調査方法】

Web アンケート調査

調査方法は、青少年対象アンケート調査と同じ。青少年が一次保存したアンケート調査に引き続き、保護者を対象としたアンケート調査画面を提示して、回答を行う。

### 【回収結果】

有効回答数 2,073 件

## 1-2-3 Web アンケート実施手順

### ①事前調査

青少年と保護者に対し、アンケート回答の同意を得る。



### ②Web アンケートへの回答を依頼



### ③青少年が Web アンケートに回答(回答を一次保存)



### ④一時保存した Web アンケートに保護者が回答

※保護者と青少年は、お互いに回答内容を確認出来ないよう設計されている。



図表 1-1 サンプル回収数の内訳

	全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
小学生 男子	361	24	17	112	75	56	23	10	44
小学生 女子	345	22	18	107	71	54	26	5	42
中学生 男子	360	18	24	111	73	56	14	19	45
中学生 女子	347	18	23	107	71	54	21	10	43
高校生 男子	334	20	22	101	67	51	17	13	43
高校生 女子	326	21	20	99	65	49	21	9	42
合計	2073	123	124	637	422	320	122	66	259

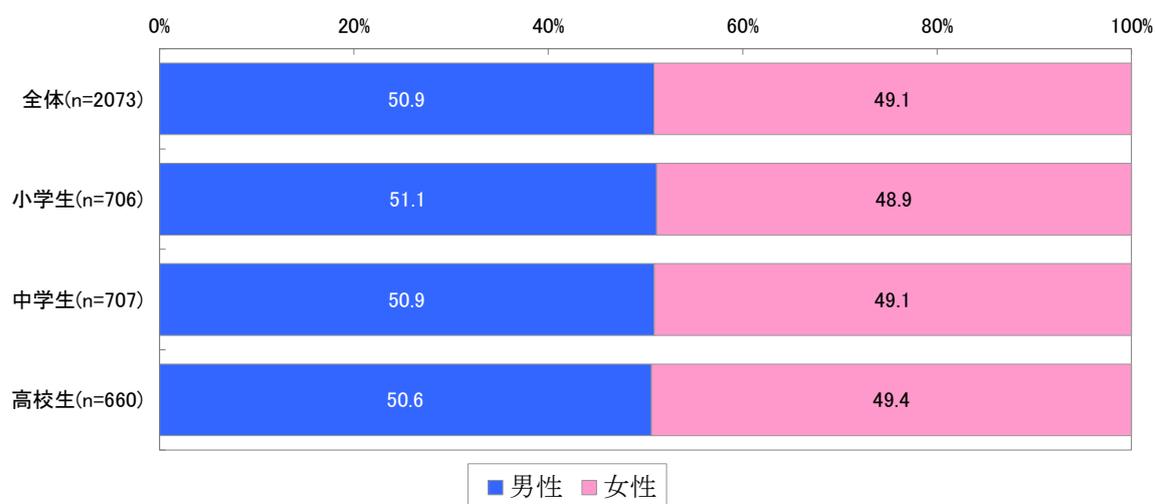
## 2. 青少年対象アンケート調査結果

### 2-1 回答者属性

#### (1) 性別

青少年の性別は 50.9%が男子、49.1%が女子である。

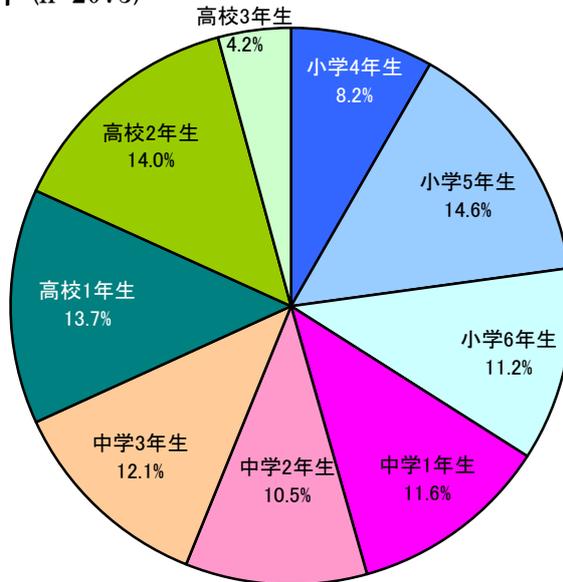
図表2-1(1) 青少年の性別(n=2073)



## (2) 学年

青少年の学年は、小学4年生が 8.2%、小学5年生が 14.6%、小学6年生が 11.2%、中学1年生が 11.6%、中学2年生が 10.5%、中学3年生が 12.1%、高校1年生が 13.7%、高校2年生が 14.0%、高校3年生が 4.2%であった。

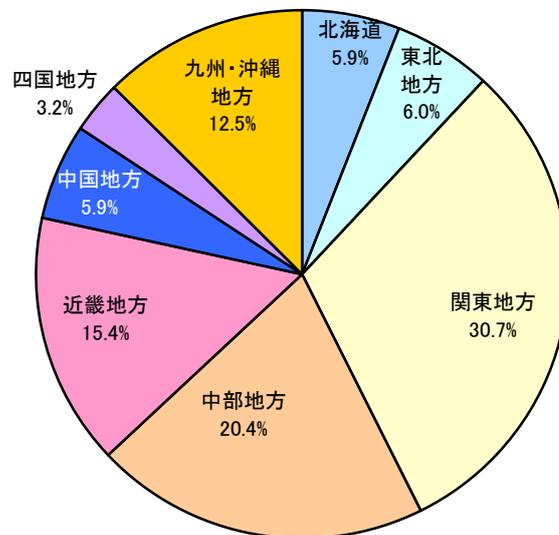
図表2-1(2) 青少年の学年 (n=2073)



## (3) 居住地

青少年の居住地は、北海道が 5.9%、東北地方が 6.0%、関東地方が 30.7%、中部地方が 20.4%、近畿地方が 15.4%、中国地方が 5.9%、四国地方が 3.2%、九州・沖縄地方が 12.5%である。なお、保護者の居住地も青少年と同じとなる。

図表2-1(3) 青少年の居住地 (n=2073)



## 2-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況

### 2-2-1 機器の所有状況

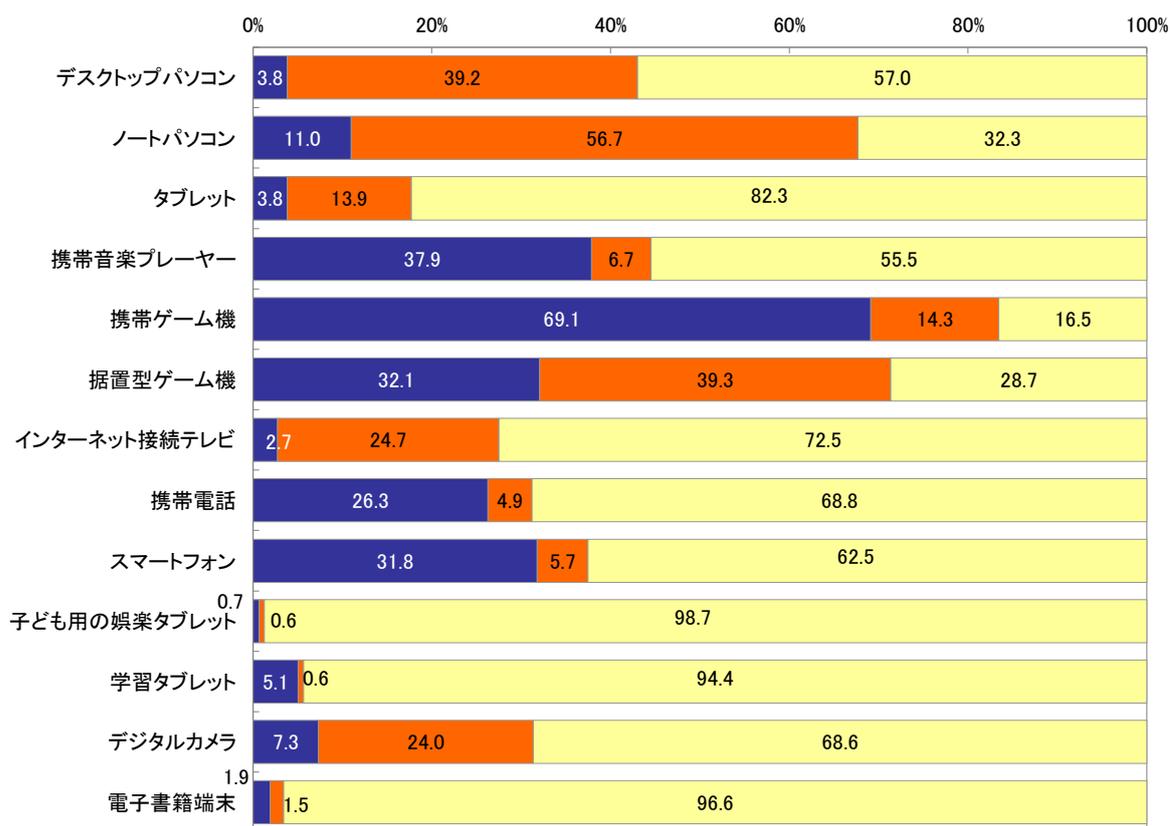
青少年の機器の所有率は、自分専用の機器の所有率では、携帯ゲーム機が 69.1% (71.3%)、携帯音楽プレーヤーが 37.9% (42.5%)、据置型ゲームが 32.1% (27.3%)、スマートフォンが 31.8% (22.5%)、携帯電話が 26.3% (35.4%)、ノートパソコンが 11.0% (11.1%)となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、携帯ゲーム機が 83.4% (84.6%)、据置型ゲーム機が 71.4% (72.5%)、ノートパソコンが 67.7% (66.4%)、携帯音楽プレーヤーが 44.6% (48.6%)、デスクトップパソコンが 43.0% (44.7%)、スマートフォンが 37.5% (26.6%)となっている。

昨年度と比較すると、スマートフォンの所有状況が 10%近く増加している一方で、携帯電話の所有状況が同程度減少しているほか、携帯音楽プレーヤーの所有状況が 4%減少している。

※ ()内は昨年度の調査値

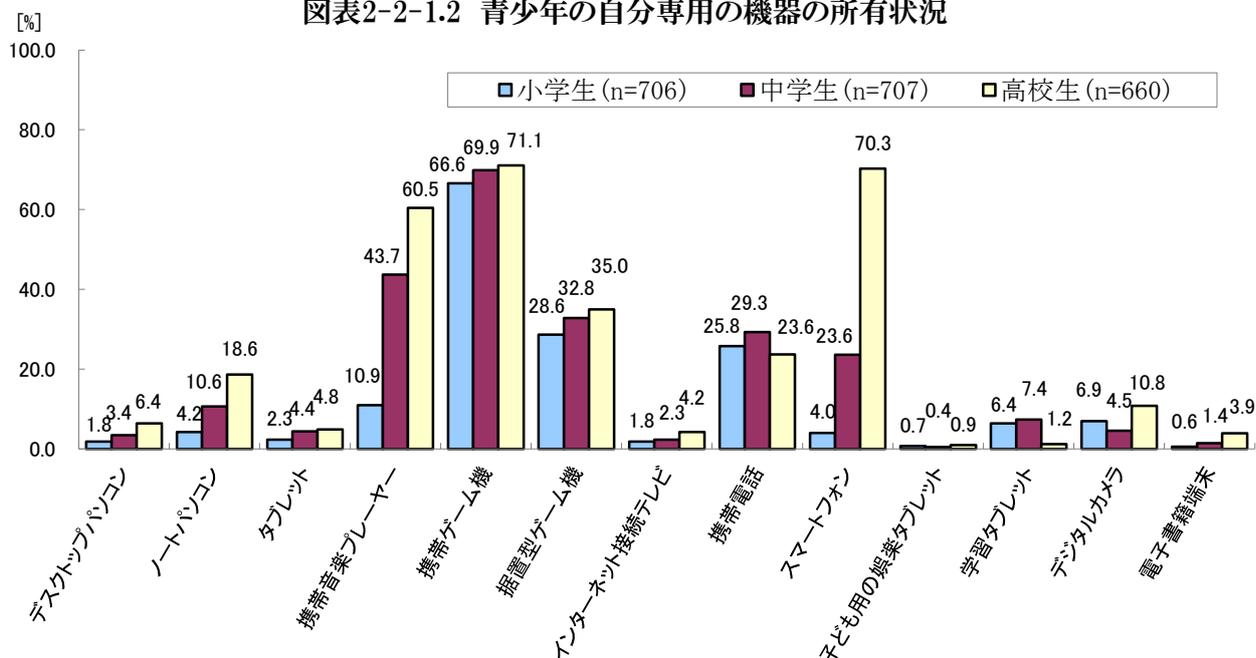
図表2-2-1.1 青少年の機器の所有状況 (n=2073)



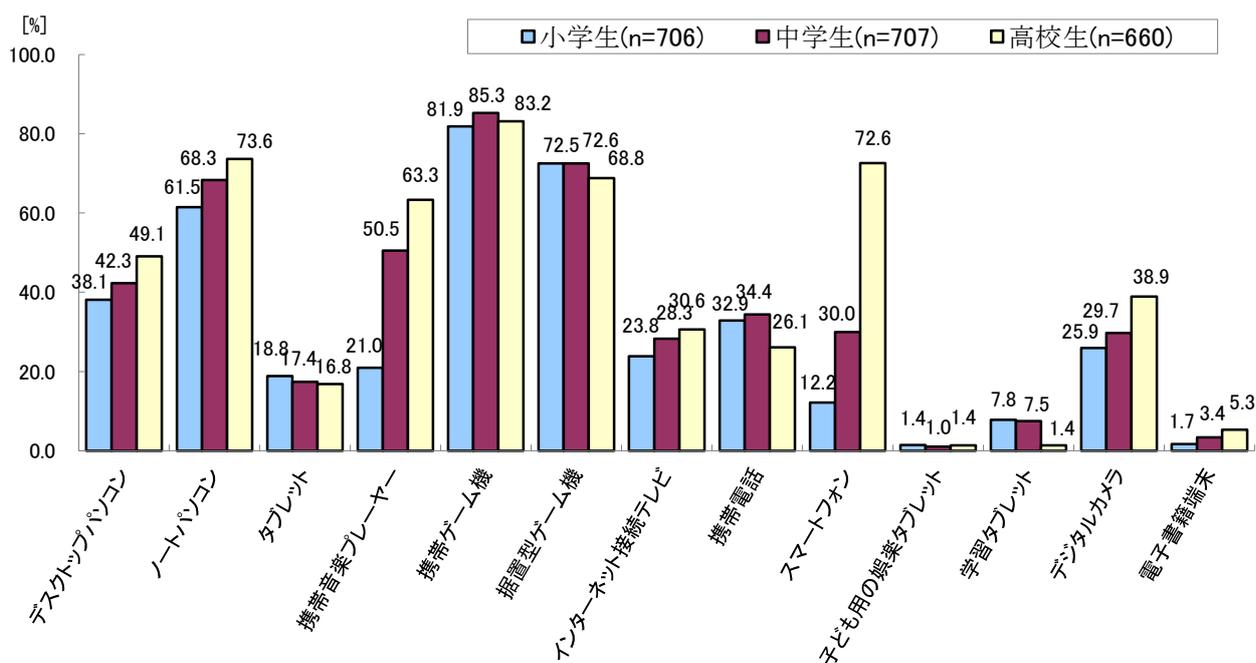
■ 子供専用の機器を持っている   ■ 家族と一緒に使う機器を持っている   ■ この機器を持っていない

自分専用の機器は小学生、中学生、高校生となるに従い、所有率が高まるものが多い。高校生の所有率と小学生の所有率とを比較すると、スマートフォンは17.6倍、携帯音楽プレーヤーが5.6倍、ノートパソコンが4.4倍、デスクトップパソコンが3.6倍となっている。

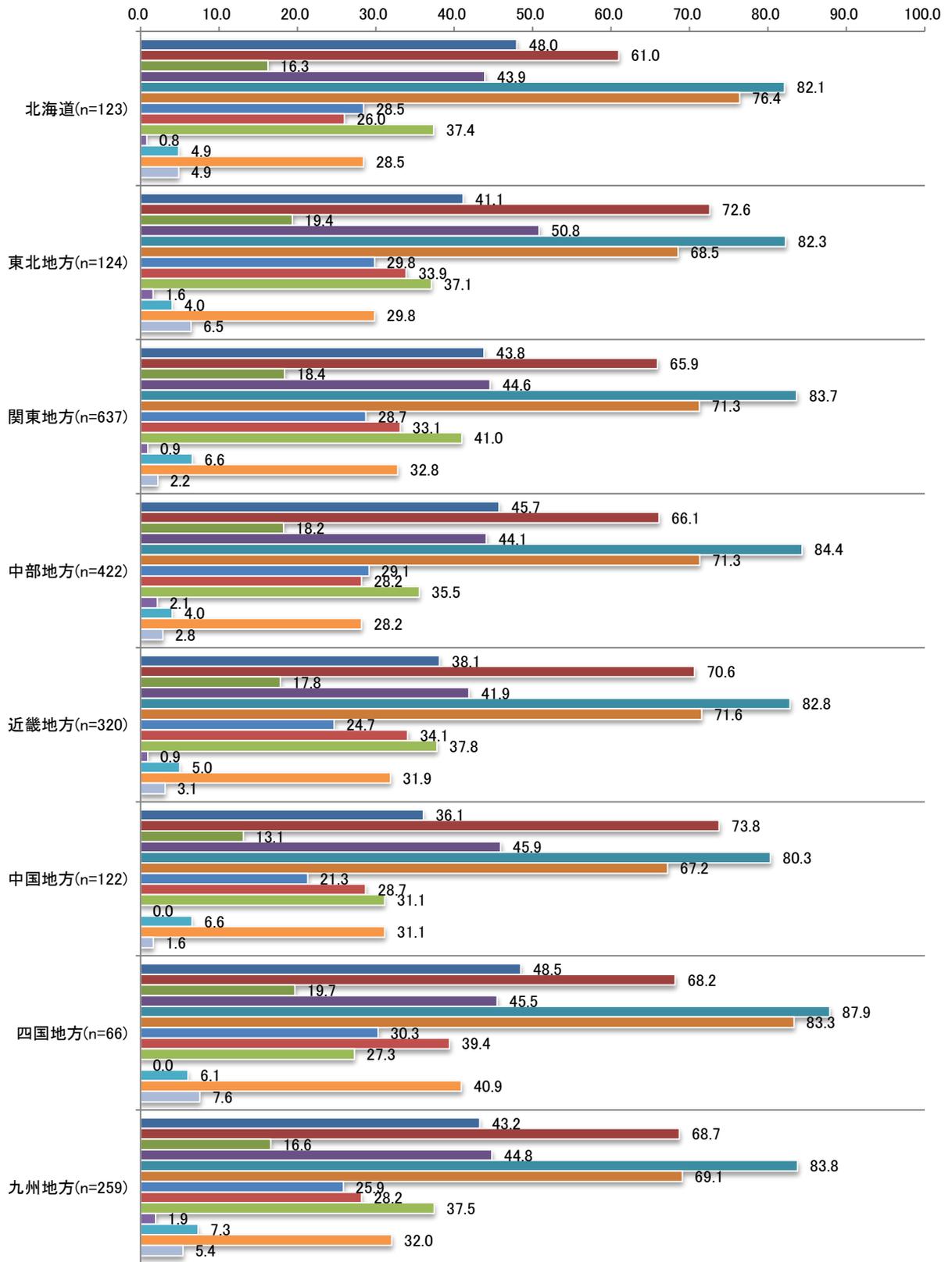
図表2-2-1.2 青少年の自分専用の機器の所有状況



図表2-2-1.3 青少年の家族と一緒に使う場合を含めた機器の所有状況



図表2-2-1.4 青少年の家族と一緒に使う場合を含めた機器の所持状況(居住地域別)



- デスクトップパソコン
- ノートパソコン
- タブレット
- 携帯音楽プレーヤー
- 携帯ゲーム機
- 据置型ゲーム機
- インターネット接続テレビ
- 携帯電話
- スマートフォン
- 子ども用の娯楽タブレット
- 学習タブレット
- デジタルカメラ
- 電子書籍端末

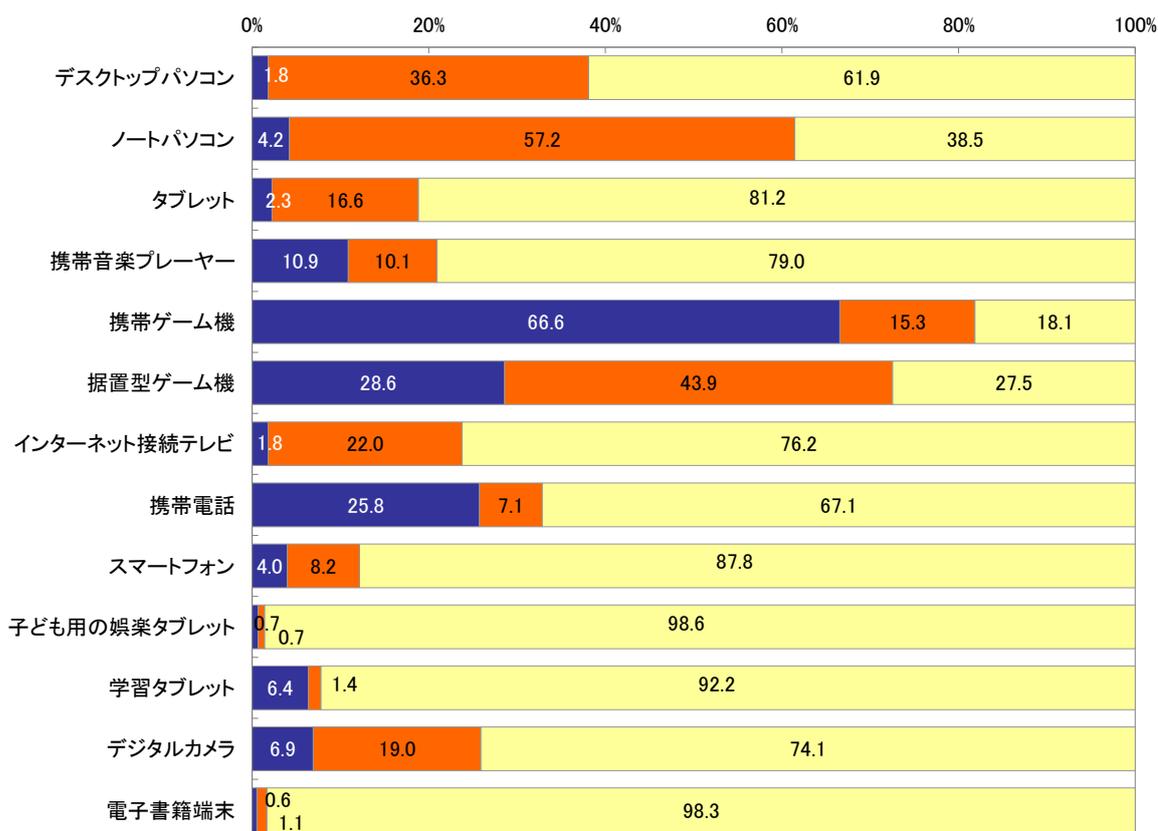
## (1) 小学生の機器の所有状況

自分専用の機器の所有率は、デスクトップパソコンが1.8%(2.5%)、ノートパソコンが4.2%(3.2%)、タブレットが2.3%(1.1%)、携帯音楽プレーヤーが10.9%(16.4%)、携帯ゲーム機が66.6%(67.2%)、据置型ゲーム機が28.6%(24.6%)、インターネット接続テレビが1.8%(1.0%)、携帯電話が25.8%(25.8%)、スマートフォンが4.0%(3.4%)、子ども用の娯楽タブレットが0.7%、学習タブレットが6.4%、デジタルカメラが6.9%(4.8%)、電子書籍端末が0.6%となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、デスクトップパソコンが38.1%(39.3%)、ノートパソコンが61.4(62.4)%、タブレットが18.9%(11.0%)、携帯音楽プレーヤーが21.0%(26.3%)、携帯ゲーム機が81.9%(84.3%)、据置型ゲーム機が72.5%(73.2%)、インターネット接続テレビが23.8%(23.7%)、携帯電話が32.9%(31.4%)、スマートフォンが12.2%(9.9%)、子ども用の娯楽タブレットが1.4%、学習タブレットが7.8%、デジタルカメラが25.9%(26.1%)、電子書籍端末が1.7%である。

※()内は昨年度の調査値

図表2-2-1(1) 小学生の機器の所有状況 (n=706)



■ 子供専用の機器を持っている ■ 家族と一緒に使う機器を持っている ■ この機器を持っていない

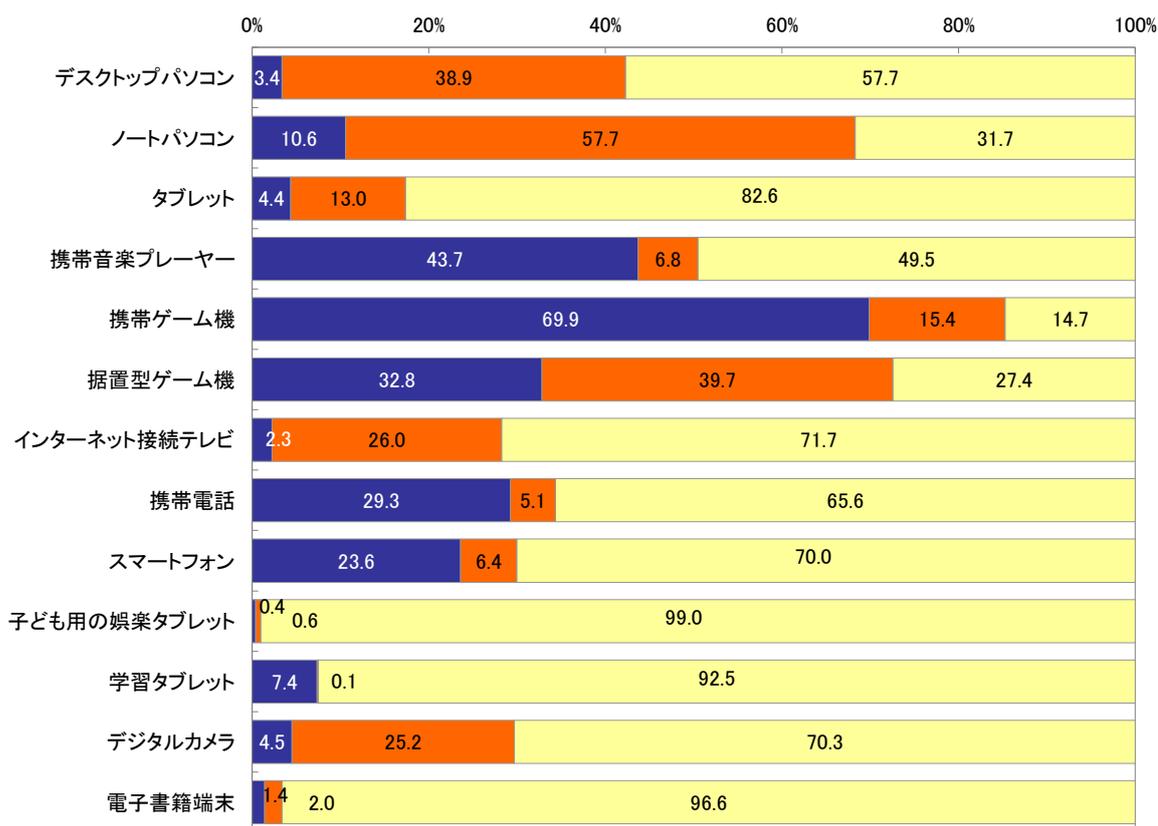
## (2) 中学生の機器の所有状況

自分専用の機器の所有率は、デスクトップパソコンが 3.4%(4.4%)、ノートパソコンが 10.6%(11.3%)、タブレットが 4.4%(3.1%)、携帯音楽プレーヤーが 43.7%(48.0%)、携帯ゲーム機が 69.9%(76.4%)、据置型ゲーム機が 32.8%(27.5%)、インターネット接続テレビが 2.3%(1.6%)、携帯電話が 29.3%(16.2%)、スマートフォンが 23.6%(16.2%)、子ども用の娯楽タブレットが 0.4%、学習タブレットが 7.4%、デジタルカメラが 4.5%(6.1%)、電子書籍端末が 1.4%となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、デスクトップパソコンが 42.3%(46.1%)、ノートパソコンが 68.3%(67.4%)、タブレットが 17.4%(12.4%)、携帯音楽プレーヤーが 50.5%(52.8%)、携帯ゲーム機が 85.3%(87.7%)、据置型ゲーム機が 72.5%(73.3%)、インターネット接続テレビが 28.3%(24.7%)、携帯電話が 34.4%(19.3%)、スマートフォンが 30.0%(19.3%)、子ども用の娯楽タブレットが 1.0%、学習タブレットが 7.5%、デジタルカメラが 29.7%(36.0%)、電子書籍端末が 3.4%である。

※()内は昨年度の調査値

図表2-2-1(2) 中学生の機器の所有状況 (n=707)



■ 子供専用の機器を持っている ■ 家族と一緒に使う機器を持っている ■ この機器を持っていない

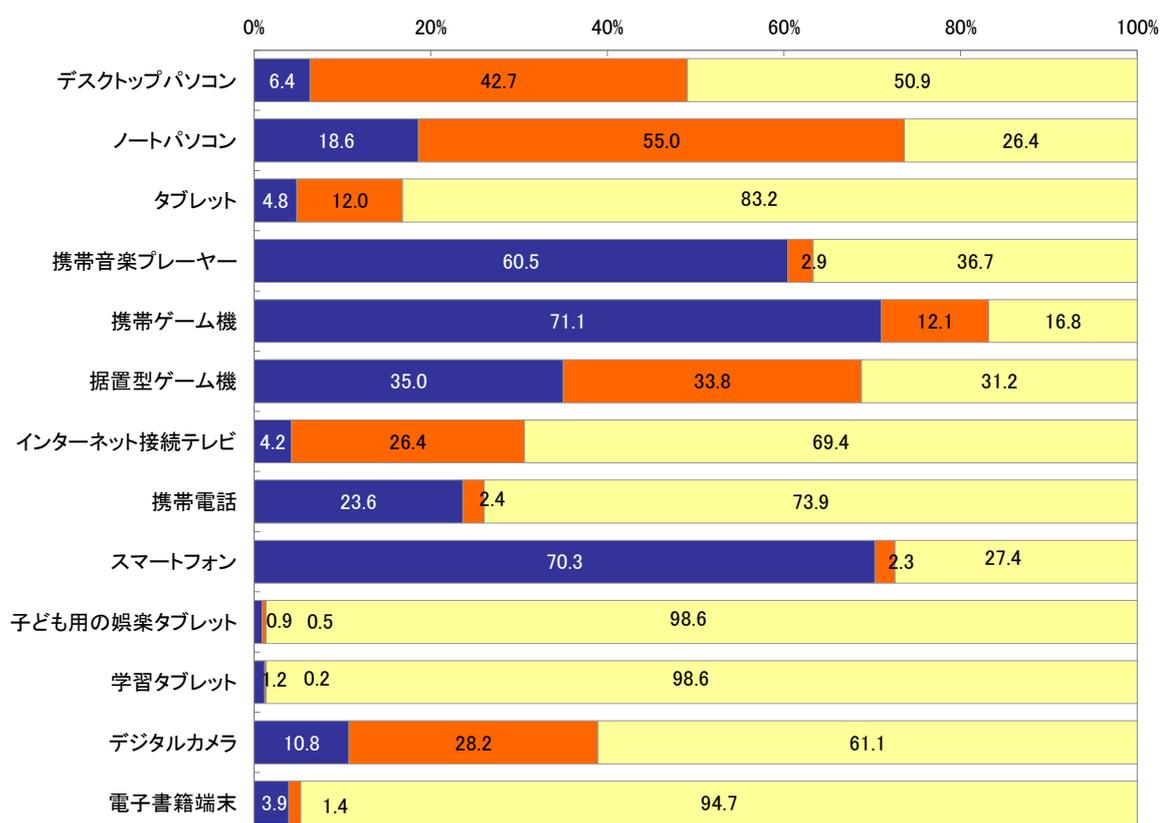
### (3) 高校生の機器の所有状況

自分専用の機器の所有率は、デスクトップパソコンが 6.4%(9.5%)、ノートパソコンが 18.6%(19.2%)、タブレットが 4.8%(2.0%)、携帯音楽プレーヤーが 60.5%(64.6%)、携帯ゲーム機が 71.1%(70.1%)、据置型ゲーム機が 35.0%(29.9%)、インターネット接続テレビが 4.2%(2.9%)、携帯電話が 23.6%(46.0%)、スマートフォンが 70.3%(49.8%)、子ども用の娯楽タブレットが 0.9%、学習タブレットが 1.2%、デジタルカメラが 10.8%(9.2%)、電子書籍端末が 3.9%となっている。

家族と一緒に使う場合を含めた所有率は、デスクトップパソコンが 49.1%(48.9%)、ノートパソコンが 73.6%(69.5%)、タブレットが 16.8%(9.5%)、携帯音楽プレーヤーが 63.4%(68.0%)、携帯ゲーム機が 83.2%(81.4%)、据置型ゲーム機が 68.8%(70.9%)、インターネット接続テレビが 30.6%(24.3%)、携帯電話が 26.0%(47.7%)、スマートフォンが 72.6%(52.3%)、子ども用の娯楽タブレットが 1.4%、学習タブレットが 1.4%、デジタルカメラが 39.0%(43.6%)、電子書籍端末が 5.3%である。

※ ()内は昨年度の調査値

図表2-2-1(3) 高校生の機器の所有状況 (n=660)



■ 子供専用の機器を持っている ■ 家族と一緒に使う機器を持っている ■ この機器を持っていない

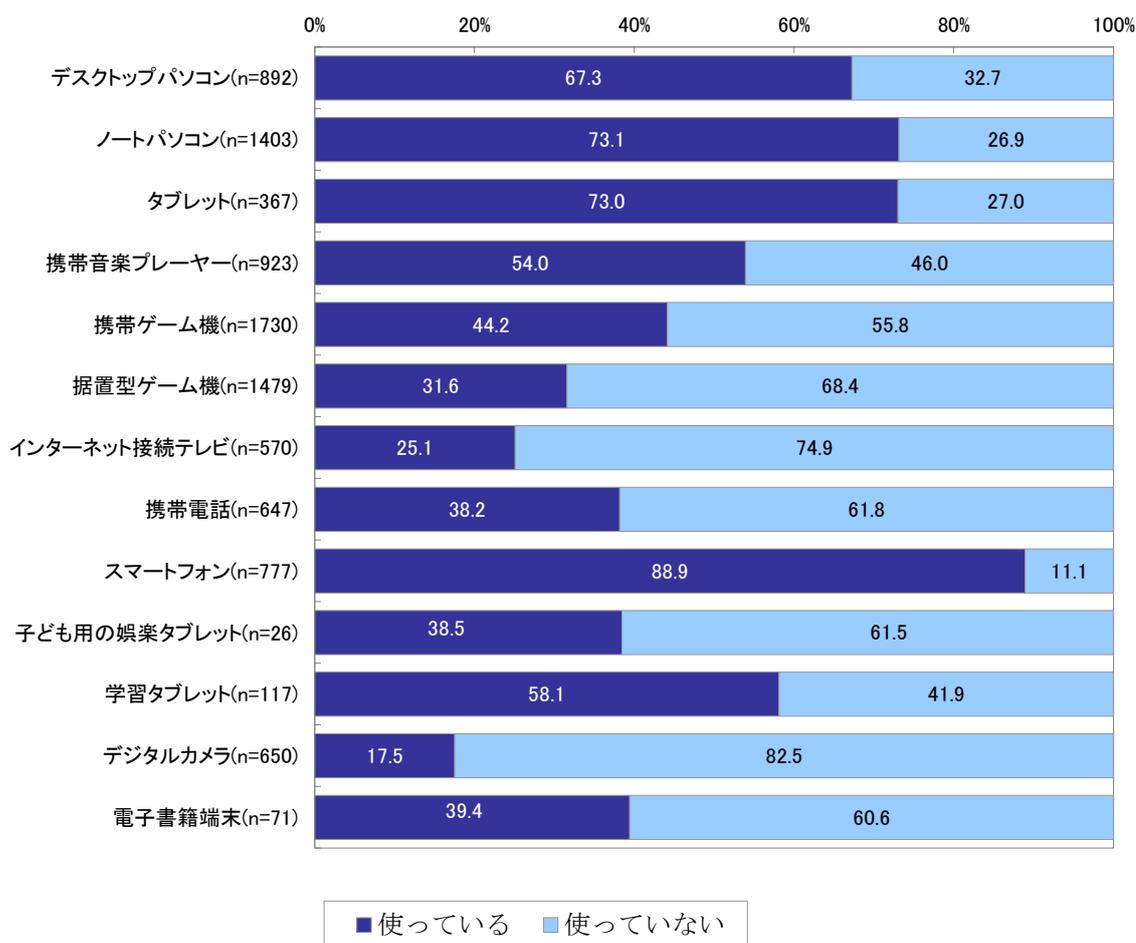
## 2-2-2 機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って、青少年が機器毎の公式サービス利用や、ブラウジングを含めたインターネットを利用している比率をみると、スマートフォンからの利用率が88.9%(87.4%)と最も高くなっている。次いでデスクトップパソコン、ノートパソコンでの利用率が70%前後となっている。

一方、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ、デジタルカメラでのインターネット利用率はそれぞれ31.6%(28.3%)、25.1%(21.2%)、17.5%(11.8%)と低くなっている。

※()内は昨年度の調査値

図表2-2-2.1 所有している機器を使ったインターネットの利用状況

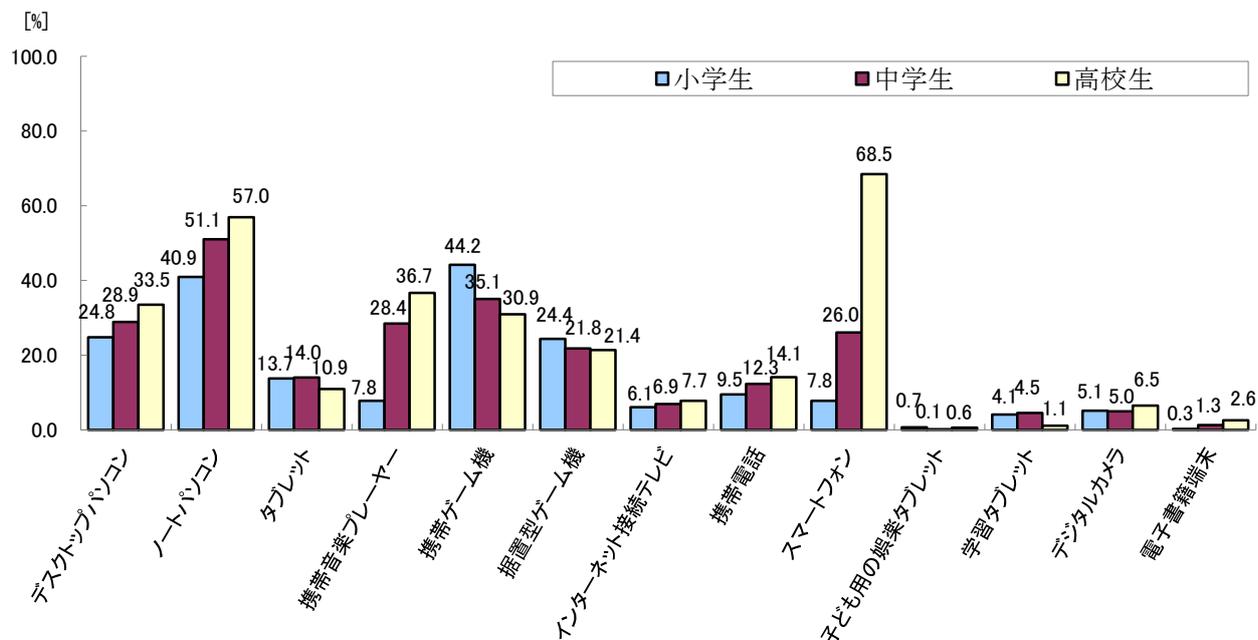


(注)集計対象は、各機器を所有している青少年

小学生、中学生、高校生全体でのインターネットの利用率は、デスクトップパソコン、携帯電話、スマートフォンでは、小学生から高校生になるに従って増加している。

一方、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機は、学校種別ごとに所有している機器ごとの利用率が減少している。タブレットとデジタルカメラの利用率はほぼ横ばいとなっていた。

図表2-2-2.2 所有している機器を使ったインターネットの利用状況

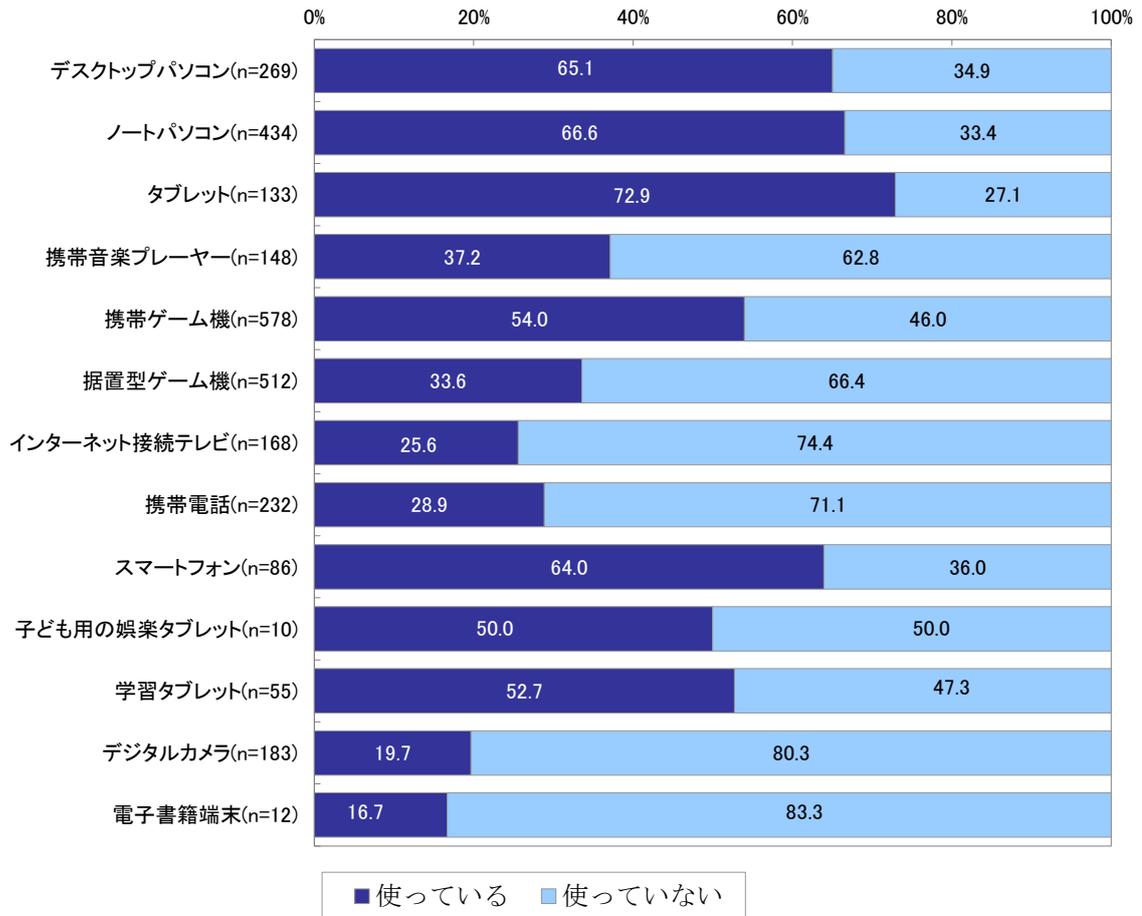


(注) 集計対象は、青少年全体。各機器を所有していない青少年も含む。

## (1) 小学生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って小学生がインターネットを利用している比率は、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンでは所有者の約 2/3 がインターネットを利用している。また、携帯電話の所有者におけるインターネットの利用率は 28.9%に留まっている。

図表2-2-2(1) 小学生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

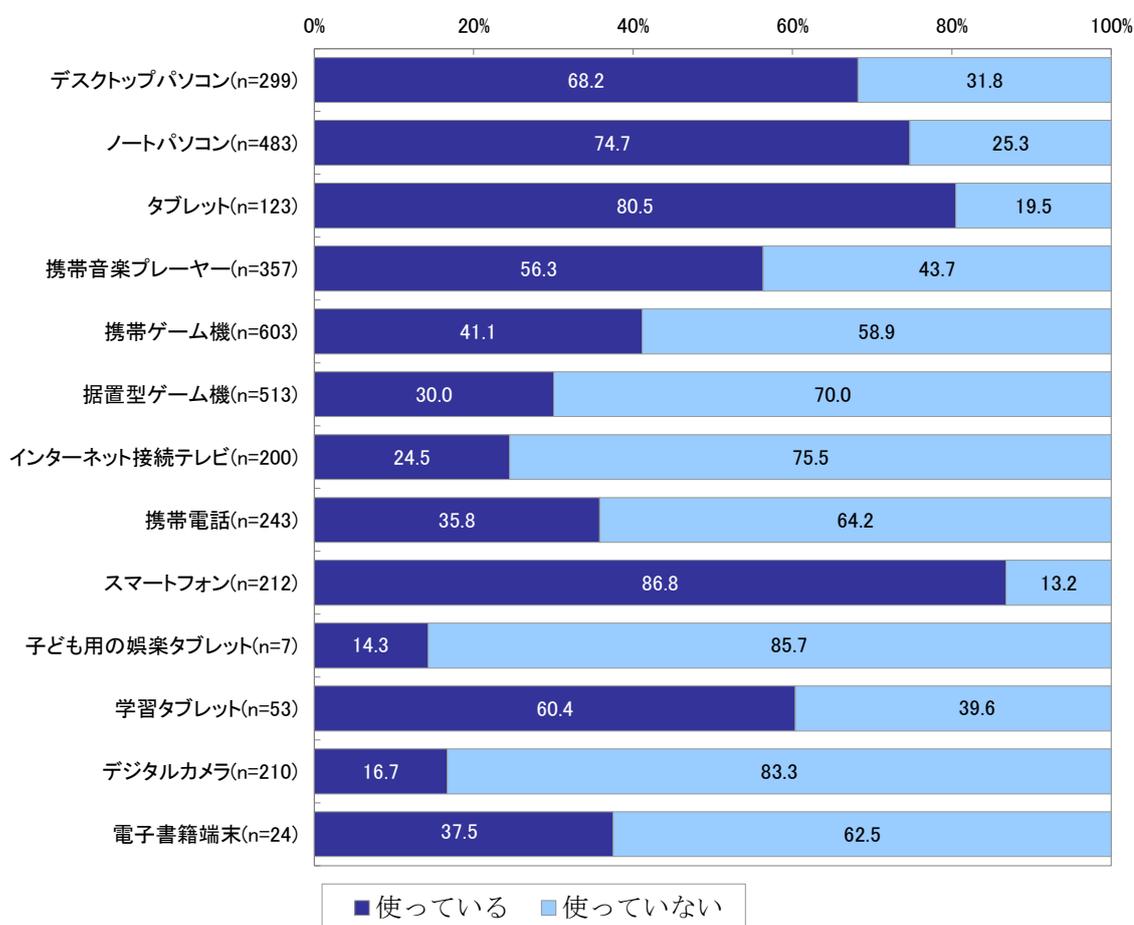
## (2) 中学生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って中学生がインターネットを利用している比率は、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンでは70%を超えている。

小学生と比較すると、スマートフォン(22.8%増)、携帯電話(6.9%増)、ノートパソコン(8.1%増)、デスクトップパソコン(3.1%増)、タブレット(7.6%増)、携帯音楽プレーヤー(19.1%増)、電子書籍端末(20.8%増)のインターネットの利用率が高まっている。

一方、携帯ゲーム機(12.9%減)、インターネット接続テレビ(1.1%減)の利用率は下がっている。

図表2-2-2(2) 中学生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



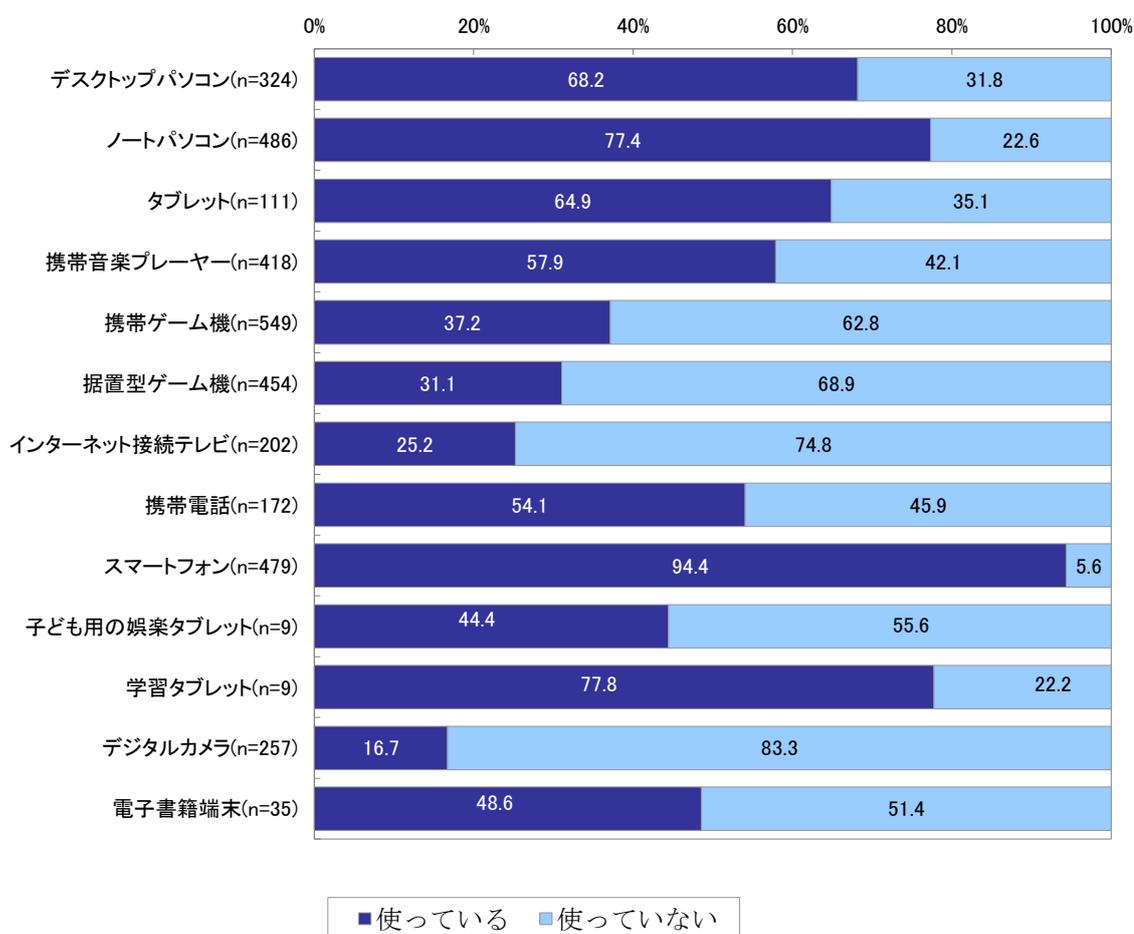
(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

### (3) 高校生の機器ごとのインターネット利用状況

所有している機器を使って高校生がインターネットを利用している比率は、スマートフォンで94.4%となっており、ノートパソコン、学習タブレットで70%を超えている。

中学生と比較すると、携帯電話(18.3%増)、スマートフォン(7.6%増)、電子書籍端末(11.1%増)の利用率が高まり、携帯ゲーム機(3.9%減)、タブレット(15.6%減)、インターネット接続テレビ(0.7%減)のインターネット利用率が減少した。

図表2-2-2(3) 高校生の所有している機器ごとのインターネット利用状況



(注) 集計対象は、各機器を所有している青少年

### 2-2-3 機器の所有状況とインターネットの利用状況

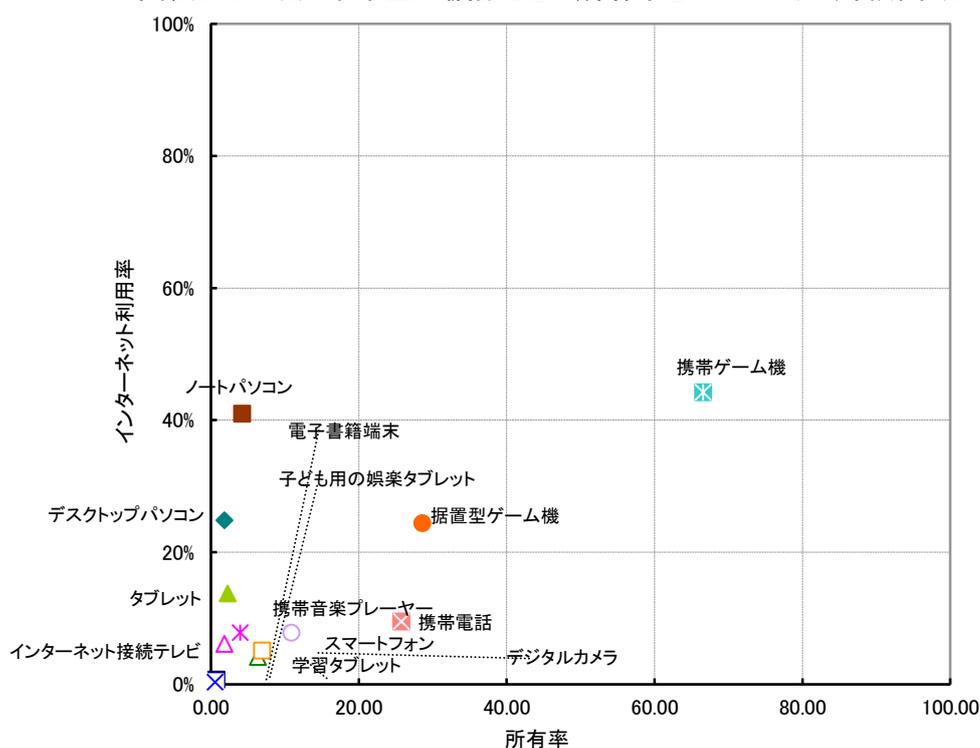
機器ごとに、所有率と所有している機器を使って、青少年が機器毎の公式サービス利用や、ブラウジングを含めたインターネットの利用率をみると、小学生、中学生、高校生となるに従って、ノートパソコン、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー、電子書籍端末は所有率・インターネット利用率ともに増加していることがわかる。

所有率・インターネット利用率の増加について、携帯音楽プレーヤーは小学校から中学校にかけて大きく増加し、スマートフォンは小学校、中学校、高校のすべての学校種別間において大きく増加していた。

## (1) 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

小学生において所有率とインターネット利用率が比較的高いのは、携帯ゲーム機である。また、ノートパソコンでの利用率も高く、据置型ゲーム機の所有率が高い。

図表2-2-3(1) 小学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=706)

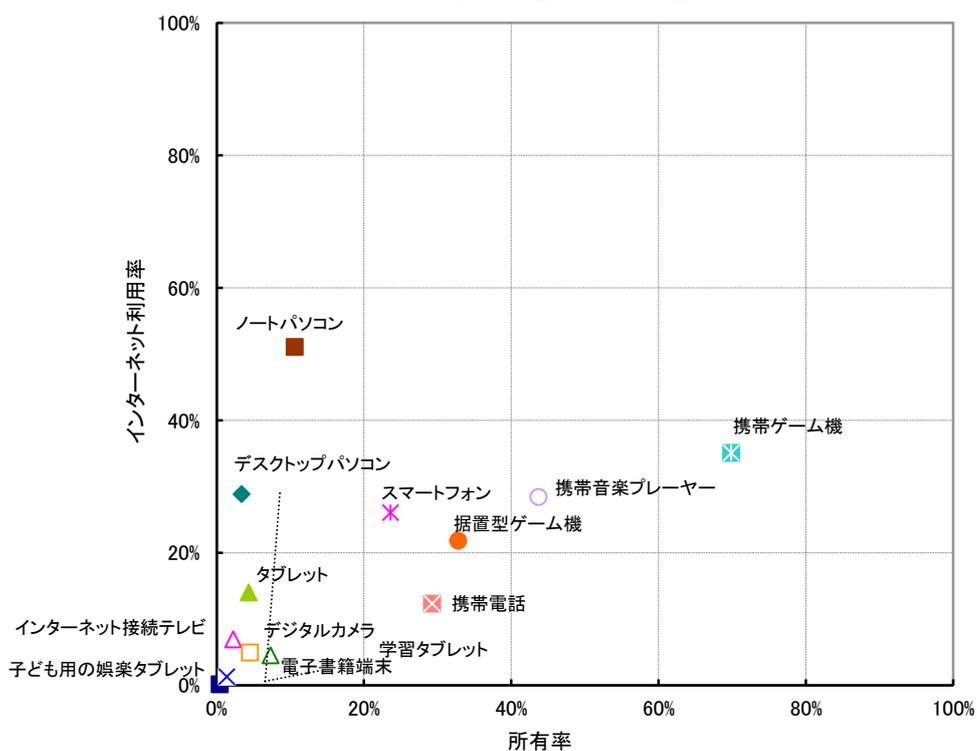


	所有率	インターネット利用率(専用サイト含む)
デスクトップパソコン	1.8%	24.8%
ノートパソコン	4.2%	40.9%
タブレット	2.3%	13.7%
携帯音楽プレーヤー	10.9%	7.8%
携帯ゲーム機	66.6%	44.2%
据置型ゲーム機	28.6%	24.4%
インターネット接続テレビ	1.8%	6.1%
携帯電話	25.8%	9.5%
スマートフォン	4.0%	7.8%
子ども用の娯楽タブレット	0.7%	0.7%
学習タブレット	6.4%	4.1%
デジタルカメラ	6.9%	5.1%
電子書籍端末	0.6%	0.3%

## (2) 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

中学生において所有率とインターネット利用率が比較的高いのは、小学生と同様、携帯ゲーム機であるが、携帯音楽プレーヤー所有率は約4倍となり、スマートフォンでは所有率が約6倍であり、インターネット利用率は約4倍であった。

図表2-2-3(2) 中学生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=707)

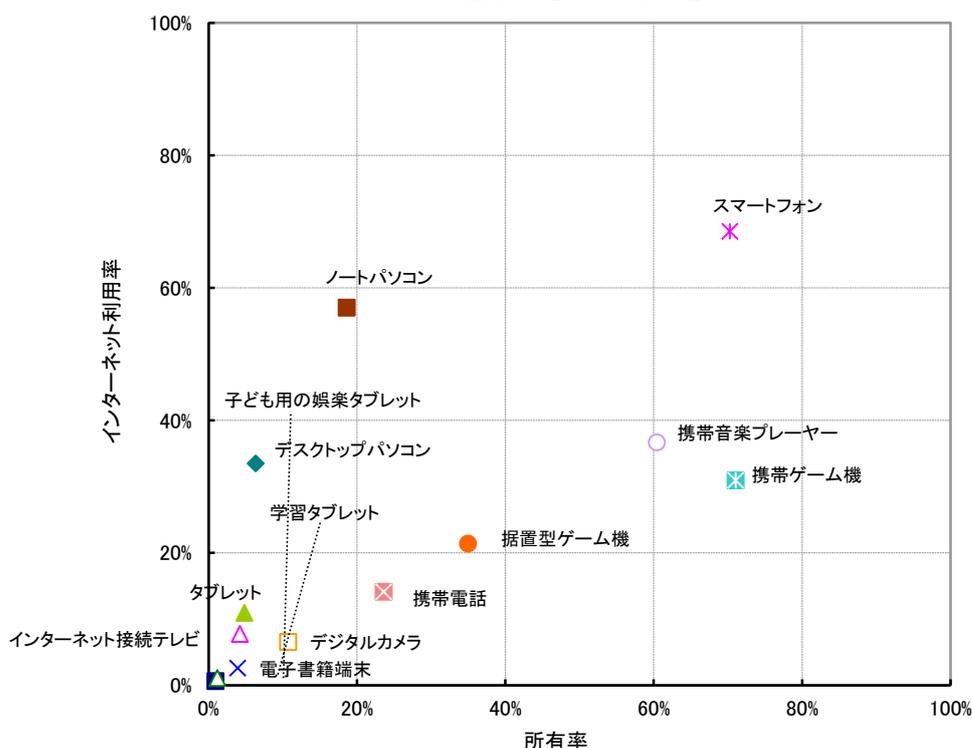


	所有率	インターネット利用率(専用サイト含む)
デスクトップパソコン	3.4%	28.9%
ノートパソコン	10.6%	51.1%
タブレット	4.4%	14.0%
携帯音楽プレーヤー	43.7%	28.4%
携帯ゲーム機	69.9%	35.1%
据置型ゲーム機	32.8%	21.8%
インターネット接続テレビ	2.3%	6.9%
携帯電話	29.3%	12.3%
スマートフォン	23.6%	26.0%
子ども用の娯楽タブレット	0.4%	0.1%
学習タブレット	7.4%	4.5%
デジタルカメラ	4.5%	5.0%
電子書籍端末	1.4%	1.3%

### (3) 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率

高校生において所有率とインターネット利用率が高いのは、スマートフォン、ノートパソコン、携帯音楽プレーヤーである。小中学生と比較して、スマートフォンの所有率及びインターネット利用率が大きく増加している。

図表2-2-3(3) 高校生の機器ごとの所有率とインターネット利用率(n=660)



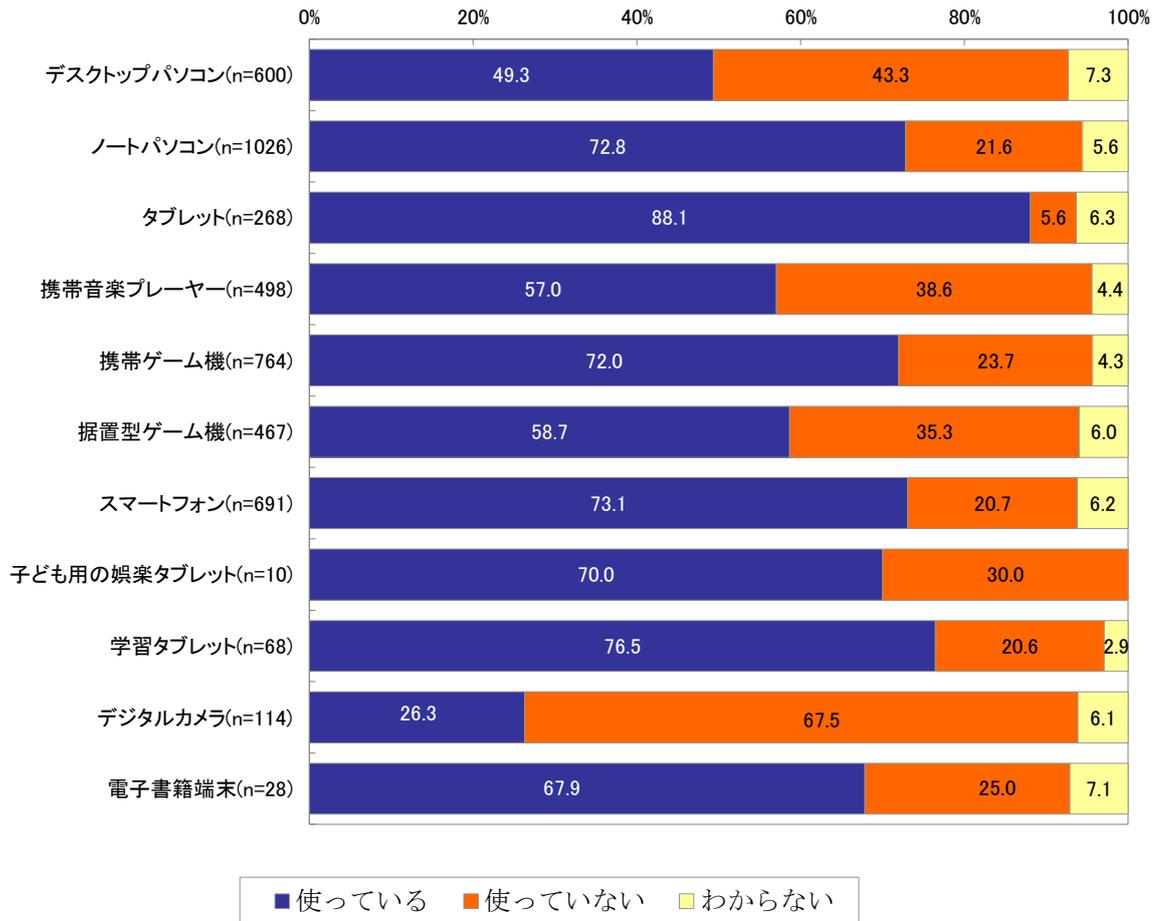
	所有率	インターネット利用率(専用サイト含む)
デスクトップパソコン	6.4%	33.5%
ノートパソコン	18.6%	57.0%
タブレット	4.8%	10.9%
携帯音楽プレーヤー	60.5%	36.7%
携帯ゲーム機	71.1%	30.9%
据置型ゲーム機	35.0%	21.4%
インターネット接続テレビ	4.2%	7.7%
携帯電話	23.6%	14.1%
スマートフォン	70.3%	68.5%
子ども用の娯楽タブレット	0.9%	0.6%
学習タブレット	1.2%	1.1%
デジタルカメラ	10.8%	6.5%
電子書籍端末	3.9%	2.6%

## 2-2-4 無線 LAN を利用したインターネットの利用状況

ポータブルな機器であるノートパソコンやタブレット、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、スマートフォンを使ってインターネットを利用している青少年の内、無線 LAN を介してインターネットを利用している比率は、デジタルカメラを除いたすべての機器で 5 割以上となっている。

特にタブレットでの無線 LAN 使用比率は高く、88.1%となっている。

図表2-2-4.1 無線LANを介したインターネットの利用状況

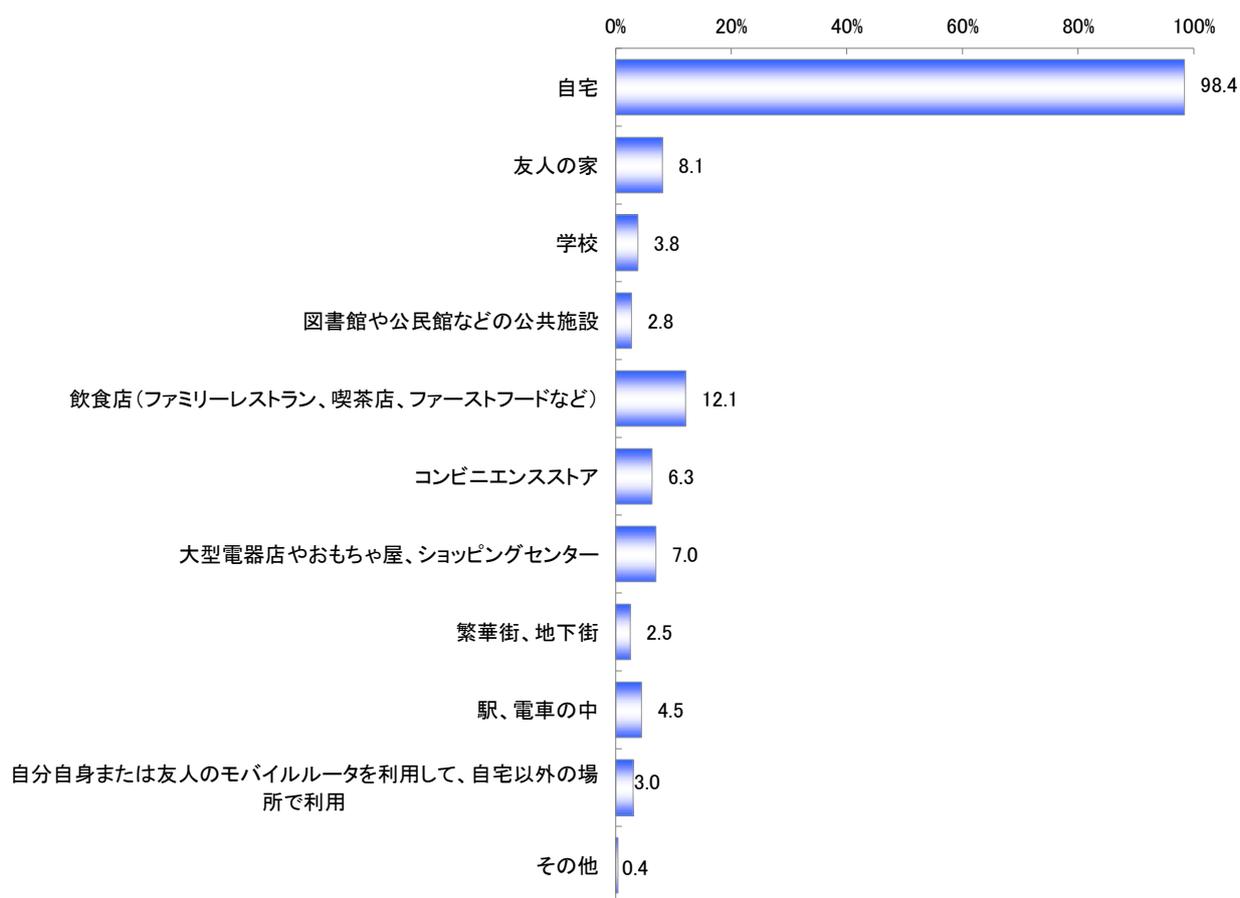


(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

無線 LAN を使っている場所では自宅が最も多い。

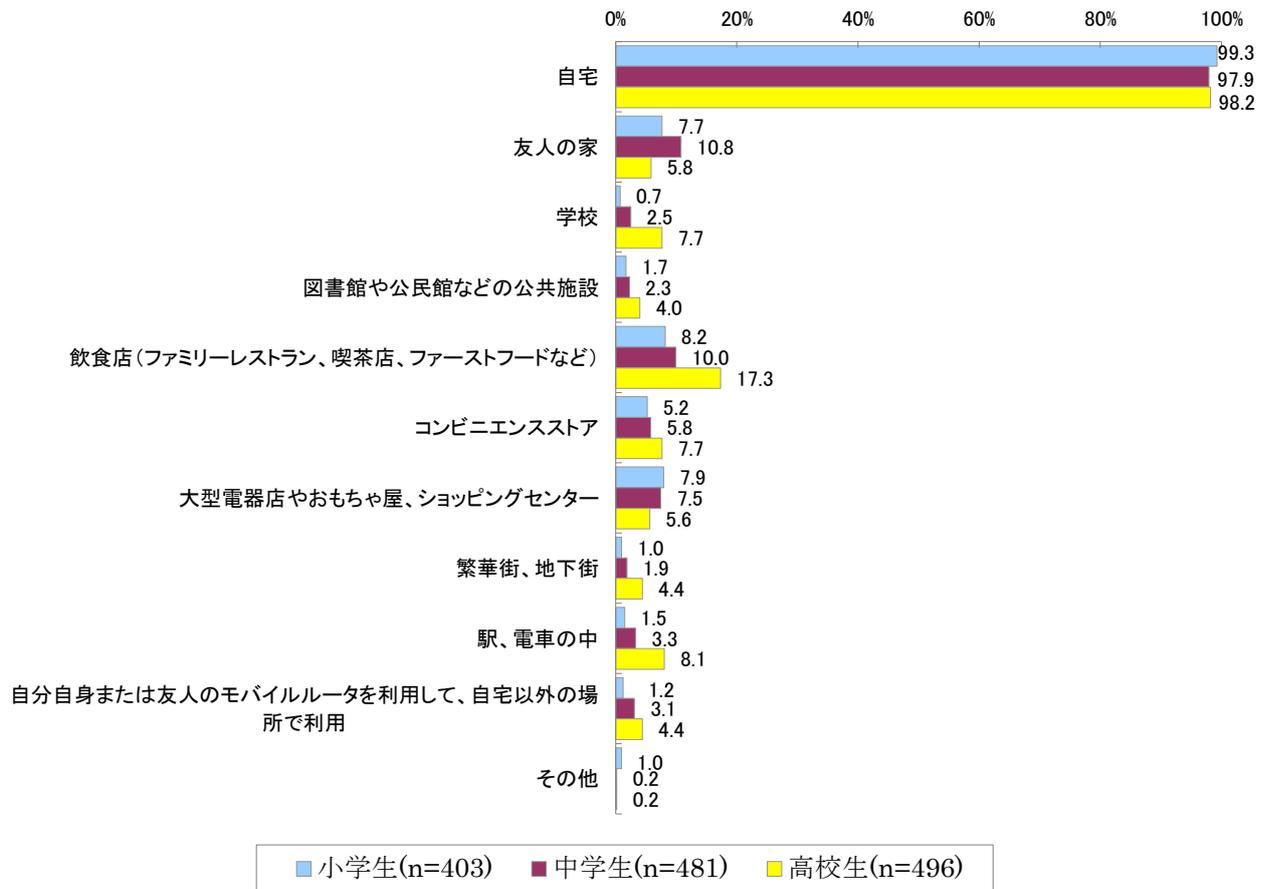
無線 LAN を利用している青少年の 98.4%が自宅で利用している。その他、飲食店が 12.1%、友人の家が 8.1%、大型電気店やおもちゃ屋、ショッピングセンターが 7.0%、コンビニエンスストアが 6.3%、電車の中が 4.5%、学校が 3.8%となっている。

図表2-2-4.2 無線LANを利用している場所(n=1380)



(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

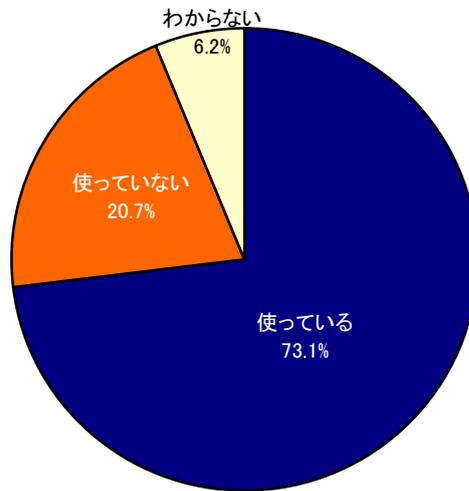
図表2-2-4.3 学校種別ごとの無線LANを利用している場所(n=1380)



(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

スマートフォンを使っている場合、無線 LAN(Wi-Fi)を経由してインターネットを利用する方が多く、73.1%となっていた。利用していないという回答は約 20%であった。

図表2-2-4.4 スマートフォンからの無線LANを介したインターネットの利用状況(n=691)



## 2-3 オープンサイトの利用状況

ゲーム機メーカー等によるクローズなサービスが提供されている携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビにおいて、一般的なサイト(オープンなサイト)と公式なサービス(クローズなサービス)の利用状況をみると、3割~4割程度の青少年は公式なサービスだけを利用しており、「公式サービスを使うことが多い」と合わせると、4割~6割程度となる。

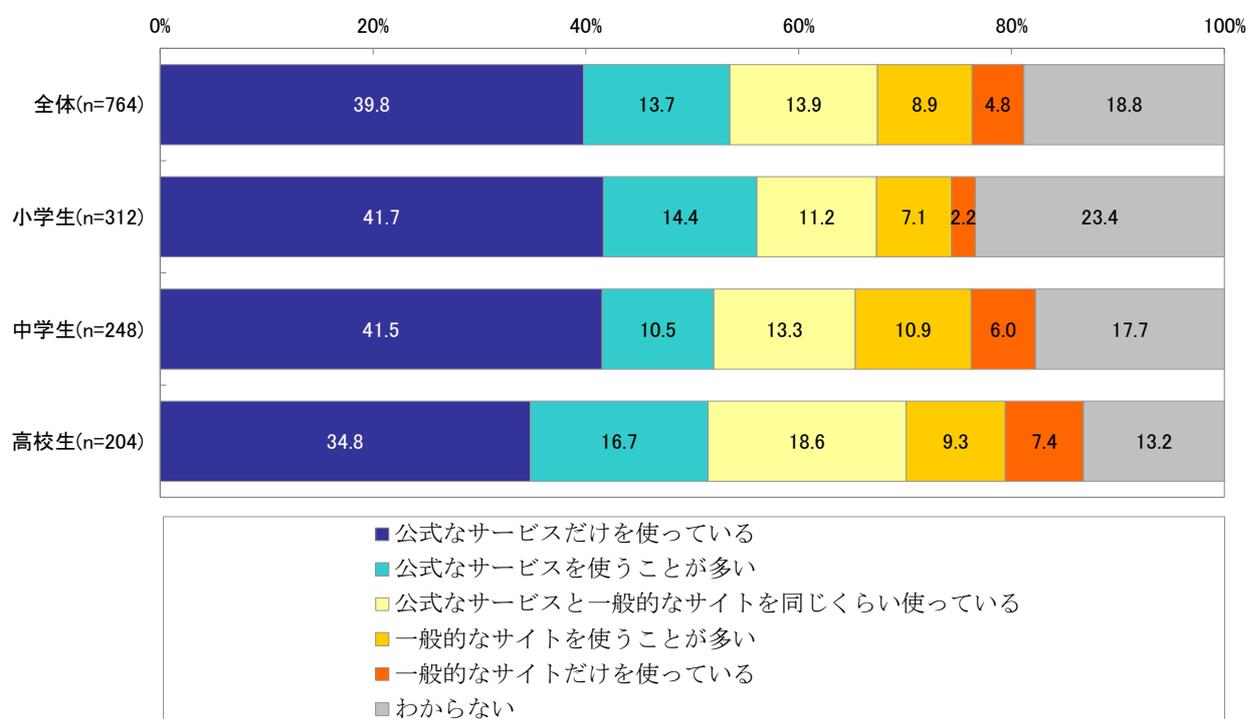
一方、1割程度の青少年は公式なサービスよりも、一般的なサイトを利用することの方が多いとしており、一般的なサイトしか利用しないという青少年も少数ながら存在している。

携帯ゲーム機では、年齢が高くなるに従って、公式なサービスだけを利用する者の比率が減少している。また、一般的なサイトだけを使っているという比率は中学生が最も高い。

据置型ゲーム機では公式なサービスだけを使っているという比率は年齢が高くなるに従って増加していた。「公式なサービスを使うことが多い」も含めると約6割となり、他の機器よりも公式なサービスの利用率が高く、特に中学生の利用率が高い。

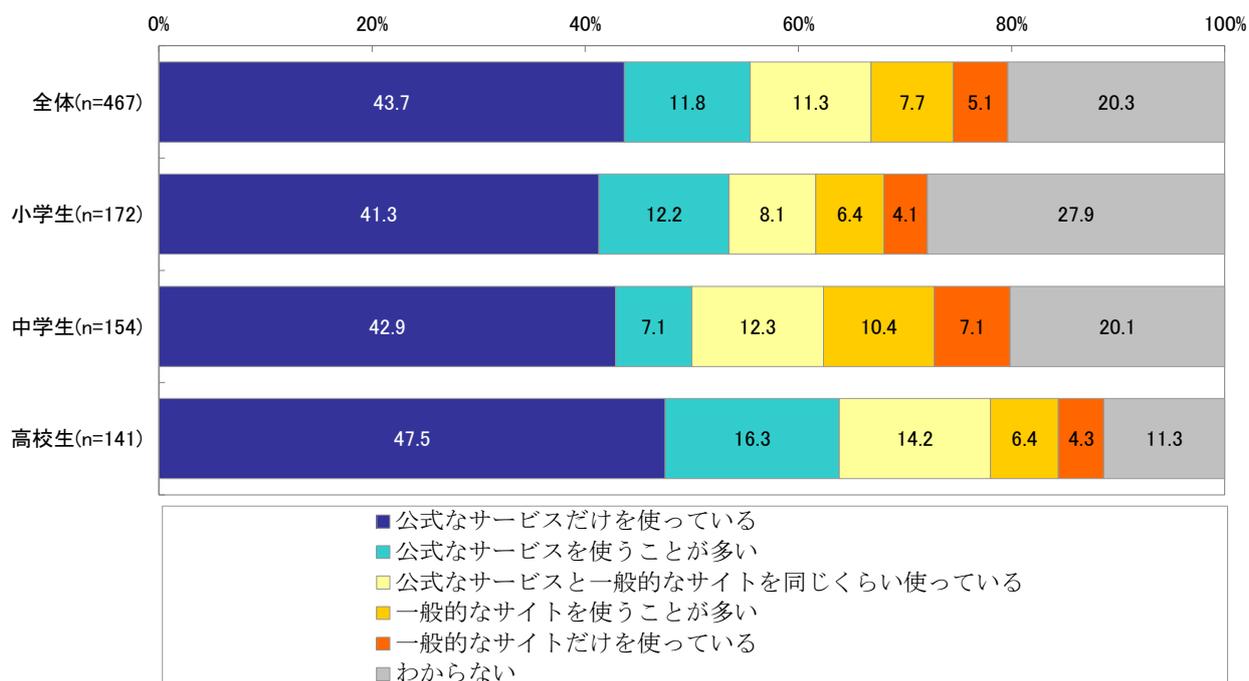
インターネット接続テレビでは「公式なサービスだけを使っている」と「公式サービスを使うことが多い」を合わせた比率は4割程度であり、他の機器よりも低い。年齢が高くなるに従って一般的なサイトを多く利用する比率が高くなっている。

図表2-3.1 携帯ゲーム機における公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



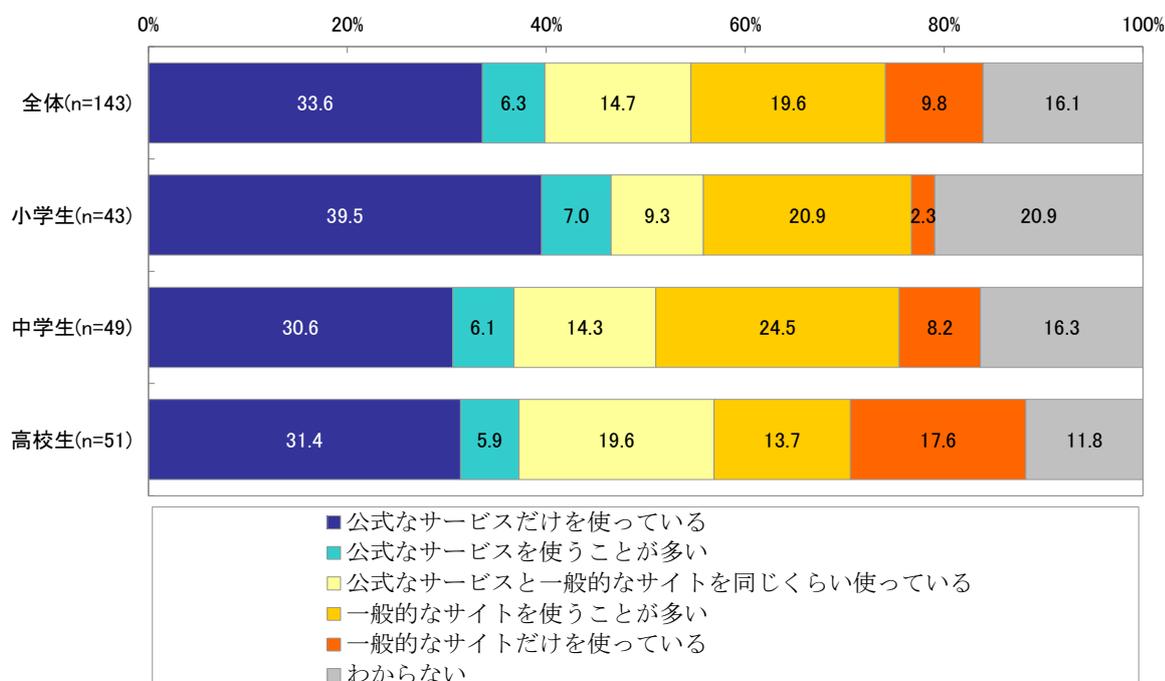
(注) 集計対象は、携帯ゲーム機でインターネットを利用している青少年

図表2-3.2 据置型ゲーム機における公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



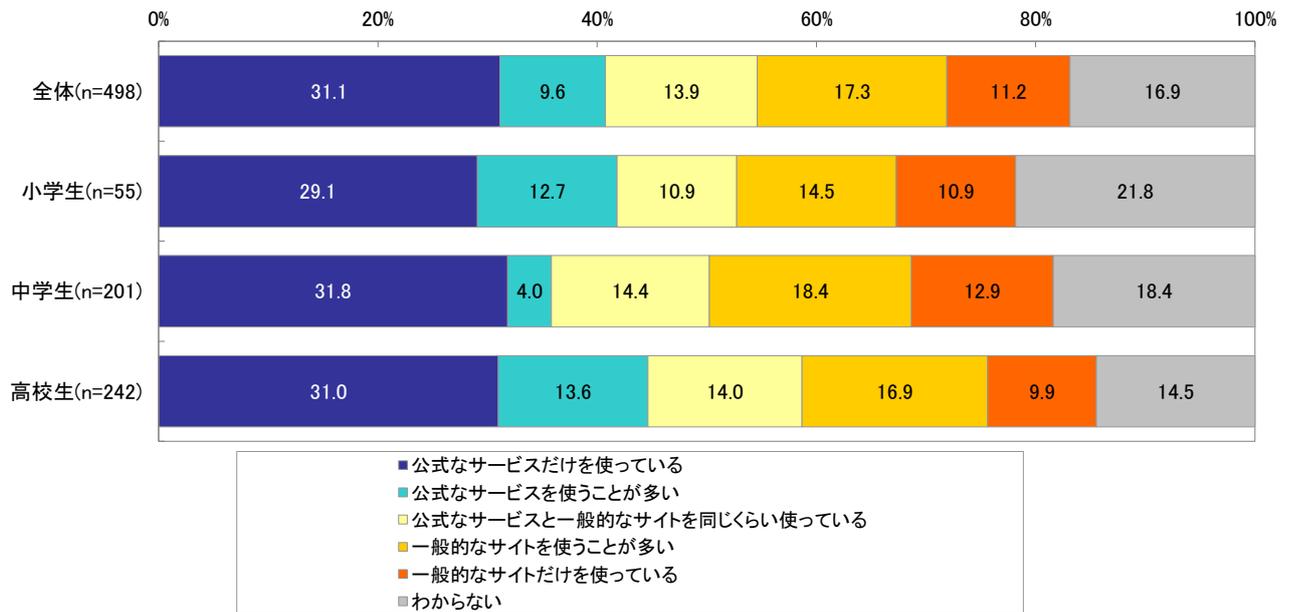
(注) 集計対象は、据置型ゲーム機でインターネットを利用している青少年

図表2-3.3 インターネット接続テレビにおける公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



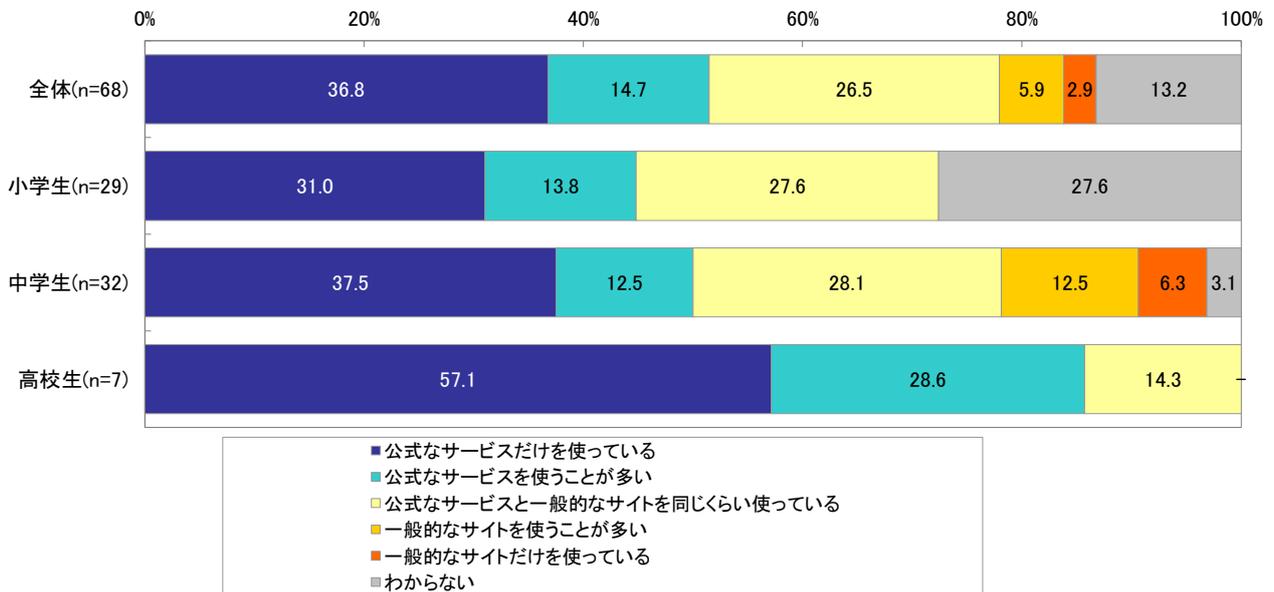
(注) 集計対象は、インターネット接続テレビでインターネットを利用している青少年

図表2-3.4 携帯音楽プレーヤーにおける公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



(注) 集計対象は、携帯音楽プレーヤーでインターネットを利用している青少年

図表2-3.5 学習タブレットにおける公式なサービスと一般的なサイトの利用状況



(注) 集計対象は学習タブレットでインターネットを利用している青少年

なお、調査においては、全7種類の利用状況を調査対象としたが、以下2機種は回答数が少なかつたため、本紙での掲載を省略した。

「電子書籍端末」(n=28)

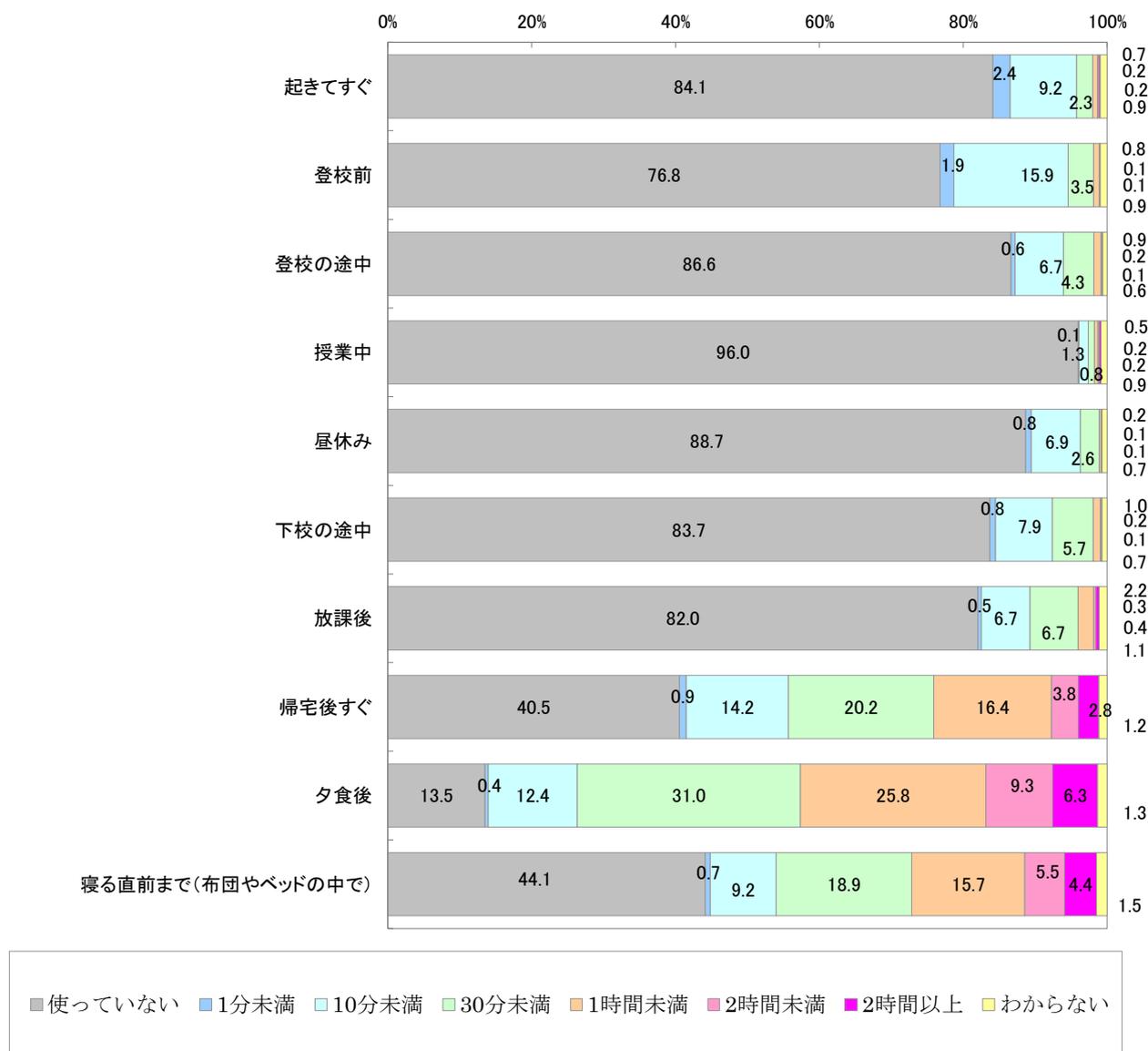
「子ども用娯楽タブレット」(n=10)

## 2-4 インターネットの利用時間

1日あたりのインターネット利用時間について時間ごとに調査したところ、他の時間と比べ帰宅後、夕食後、就寝前の比率が多くなっている。そのうち30分未満利用している者が最も多く、次いで1時間未満、2時間未満の割合が高くなっている。

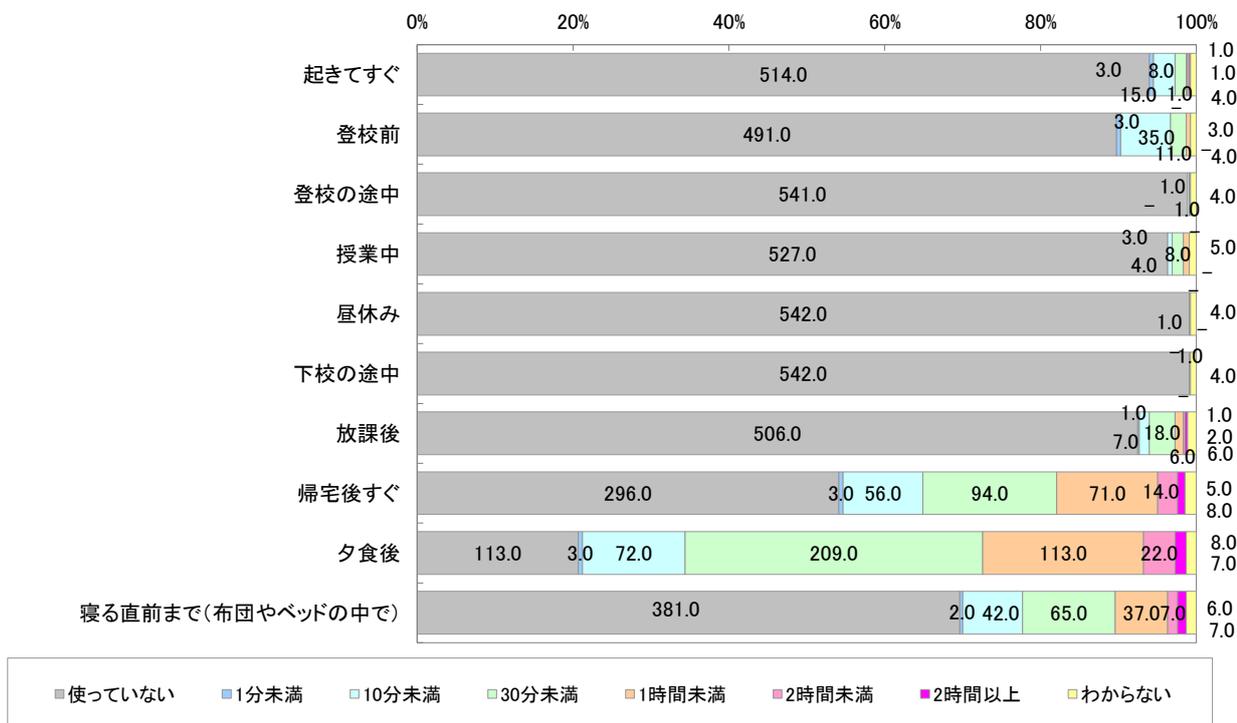
最も多くインターネットを利用している時間は夕食後であり、86.5%の利用率となっている。

図表2-4.1 時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間(n=1808)

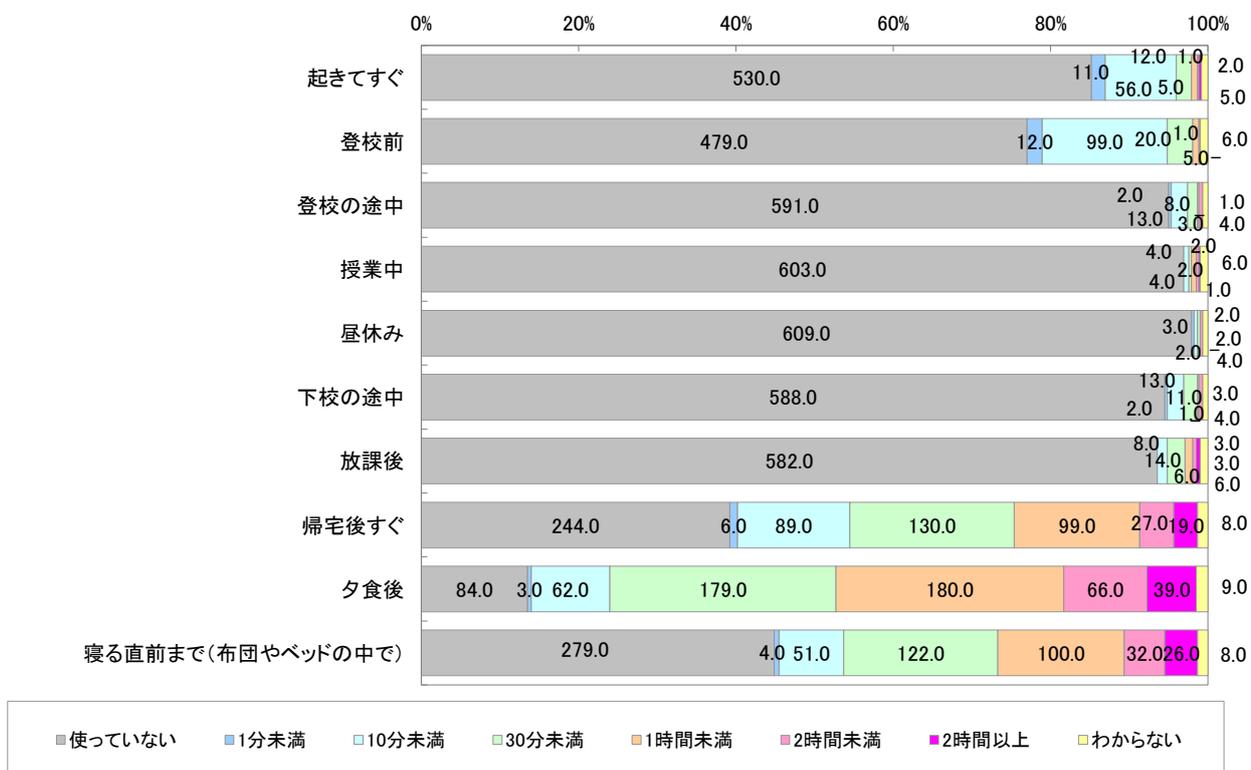


(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

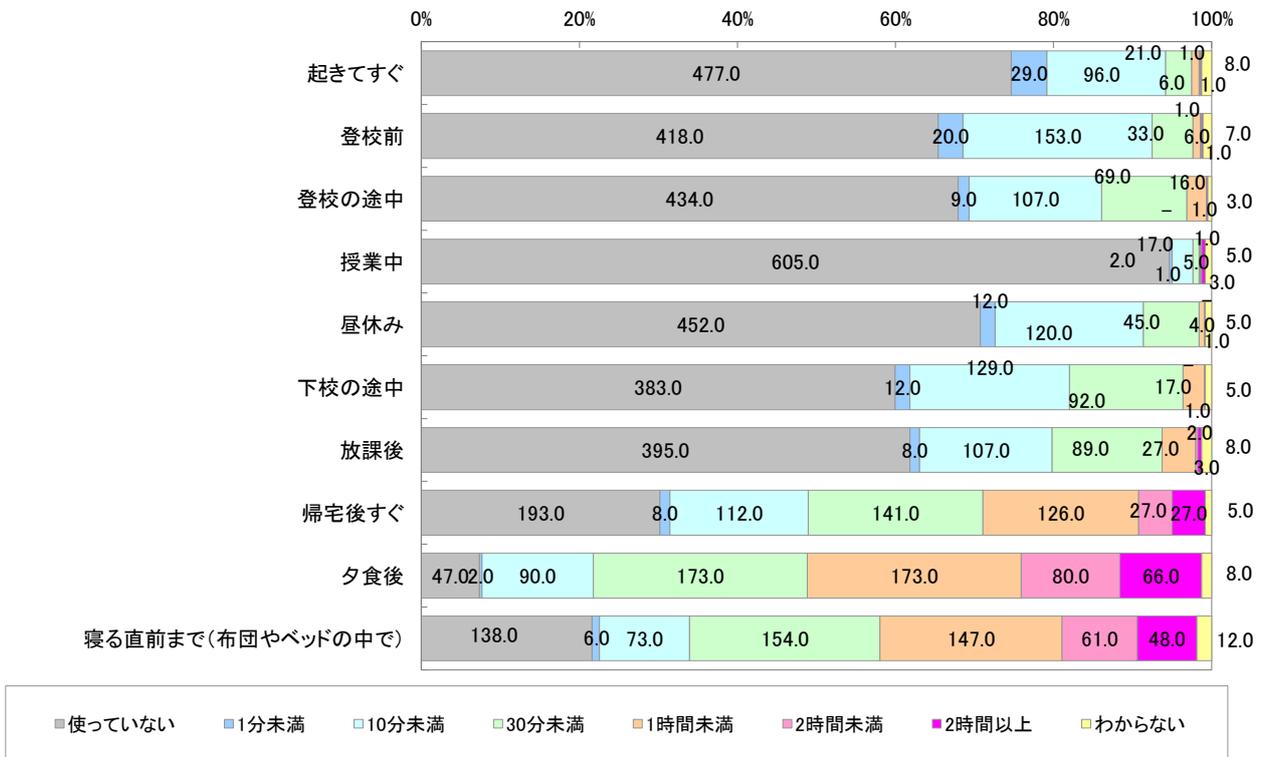
図表2-4.2 小学生の時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間  
(n=547)



図表2-4.3 中学生の時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間  
(n=622)



図表2-4.4 高校生の時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間(n=639)

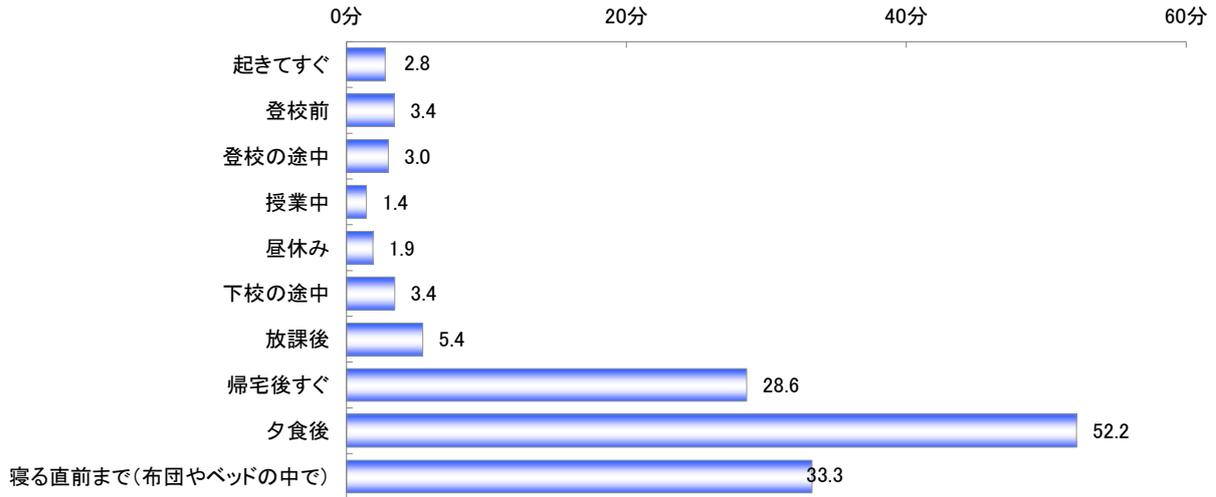


## 2-4-1 青少年単独でのインターネットの利用時間

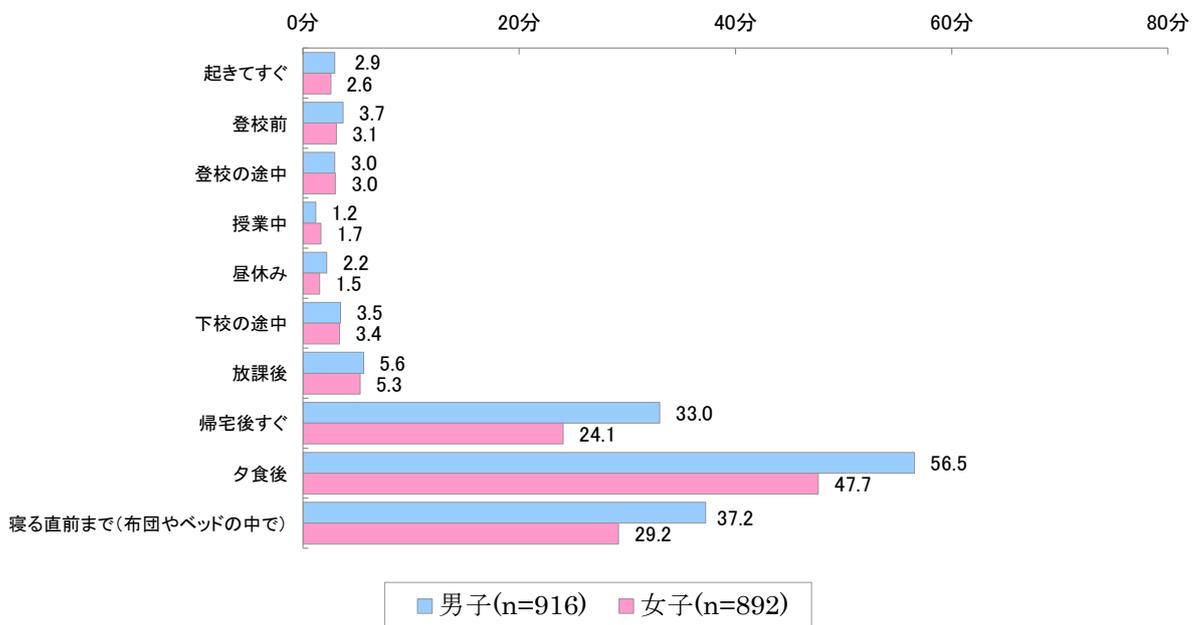
時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間を比較してみると夕食後にインターネットを利用している時間の比率は全体の5割強となっている。また、寝る直前までの利用時間率が3割強である。

男女比で比べると帰宅後については男子の方が女子に比べてインターネット利用率が全て高くなっている。

図表2-4-1.1 時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間(平均)(n=1808)



図表2-4-1.2 時間帯ごとの一日あたりのインターネット利用時間(平均)



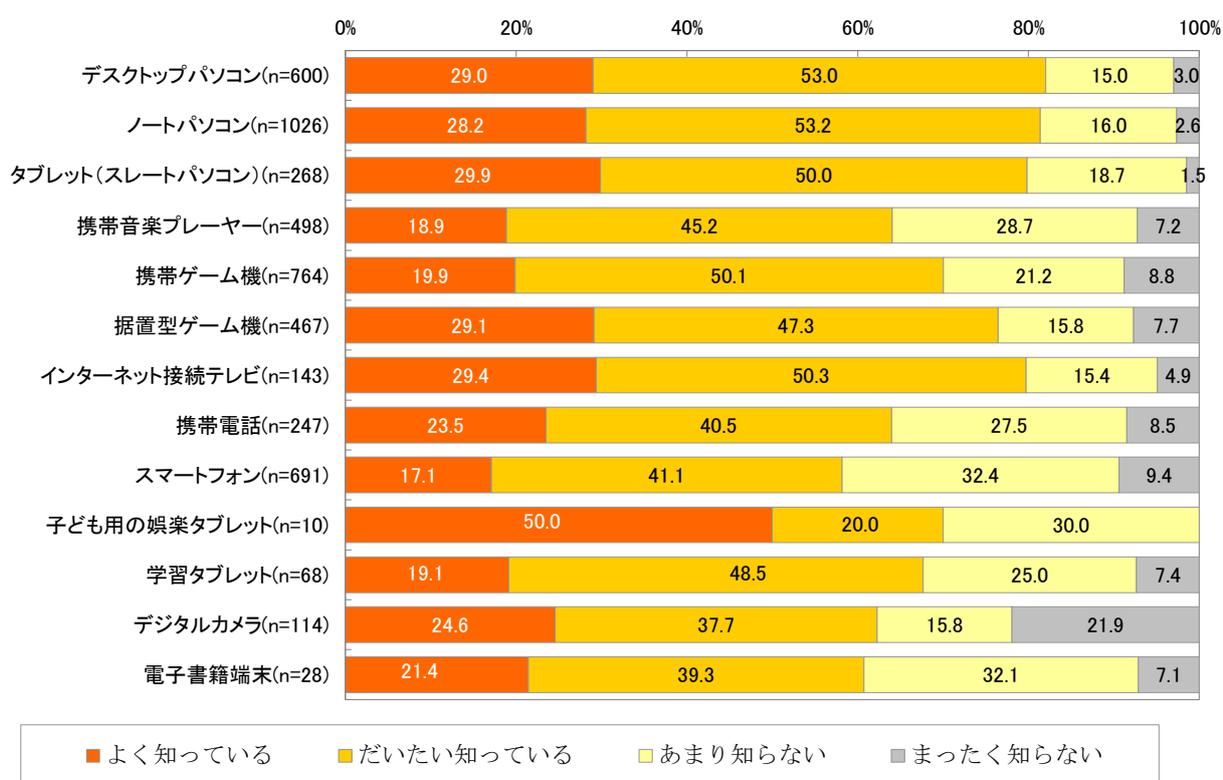
(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

## 2-4-2 青少年自身の利用状況に関する保護者の把握状況認識

青少年のインターネットの利用状況について、青少年に対して、自身の利用状況を保護者がどの程度把握していると考えているか調査したところ、パソコン、タブレット、インターネット接続テレビ、据置型ゲーム機に関しては約8割が「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している。

一方、携帯電話及びスマートフォンで「よく知っている」「だいたい知っている」との回答は6割程度に留まっている。

図表2-4-2.1 青少年のインターネット利用状況に関する保護者の把握状況に関する青少年の認識



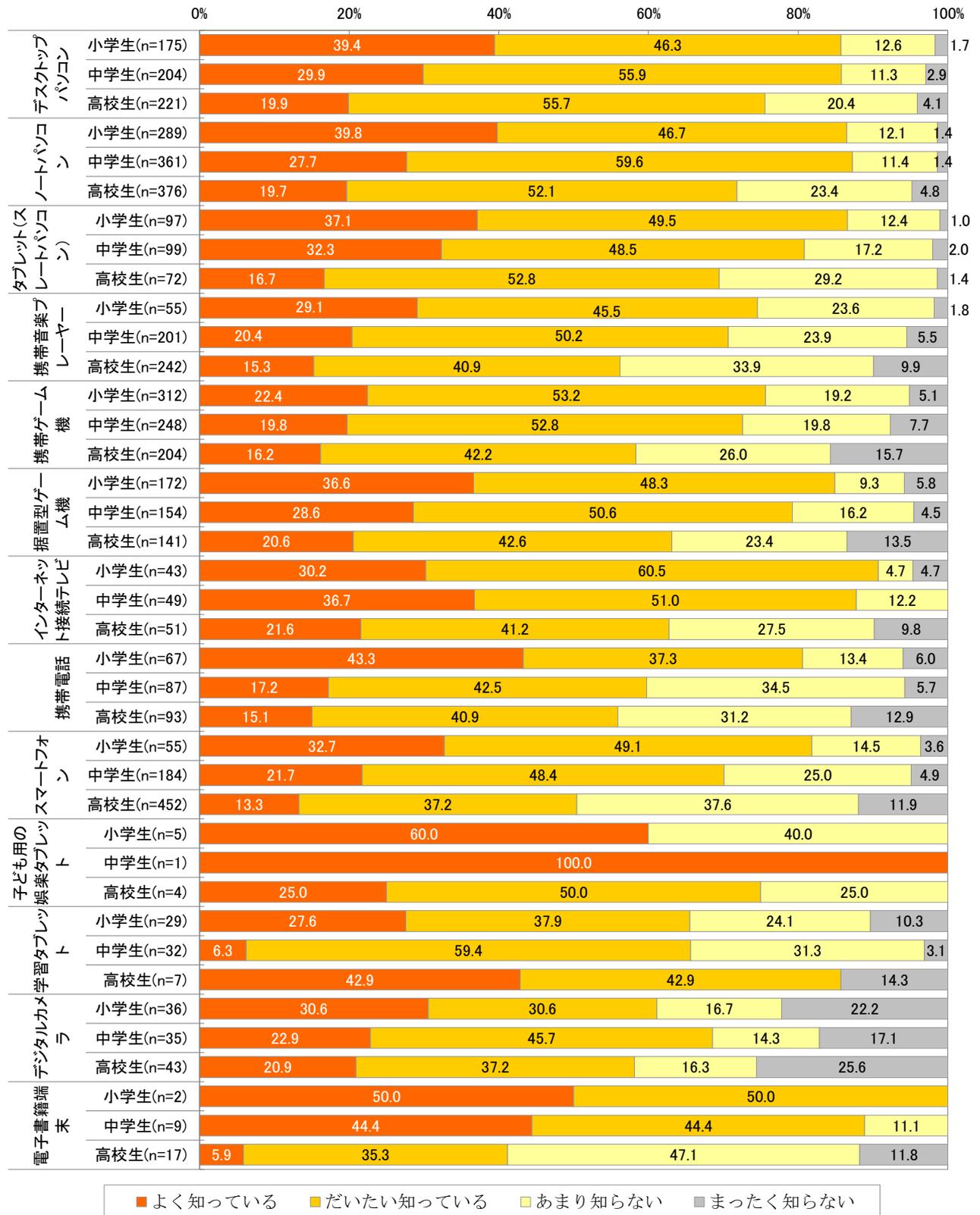
(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

保護者が利用状況について把握していると考える比率は、小学生、中学生に比べると高校生では減少している。

高校生でも、パソコン、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ、携帯電話の利用状況について保護者が「よく知っている」「だいたい知っている」と6割以上が回答している。

一方、スマートフォンに関して、保護者が「よく知っている」「だいたい知っている」とする高校生は、約5割であった。

図表2-2-2.2 青少年のインターネット利用状況に関する保護者の把握状況に対する青少年の認識(学校種別)



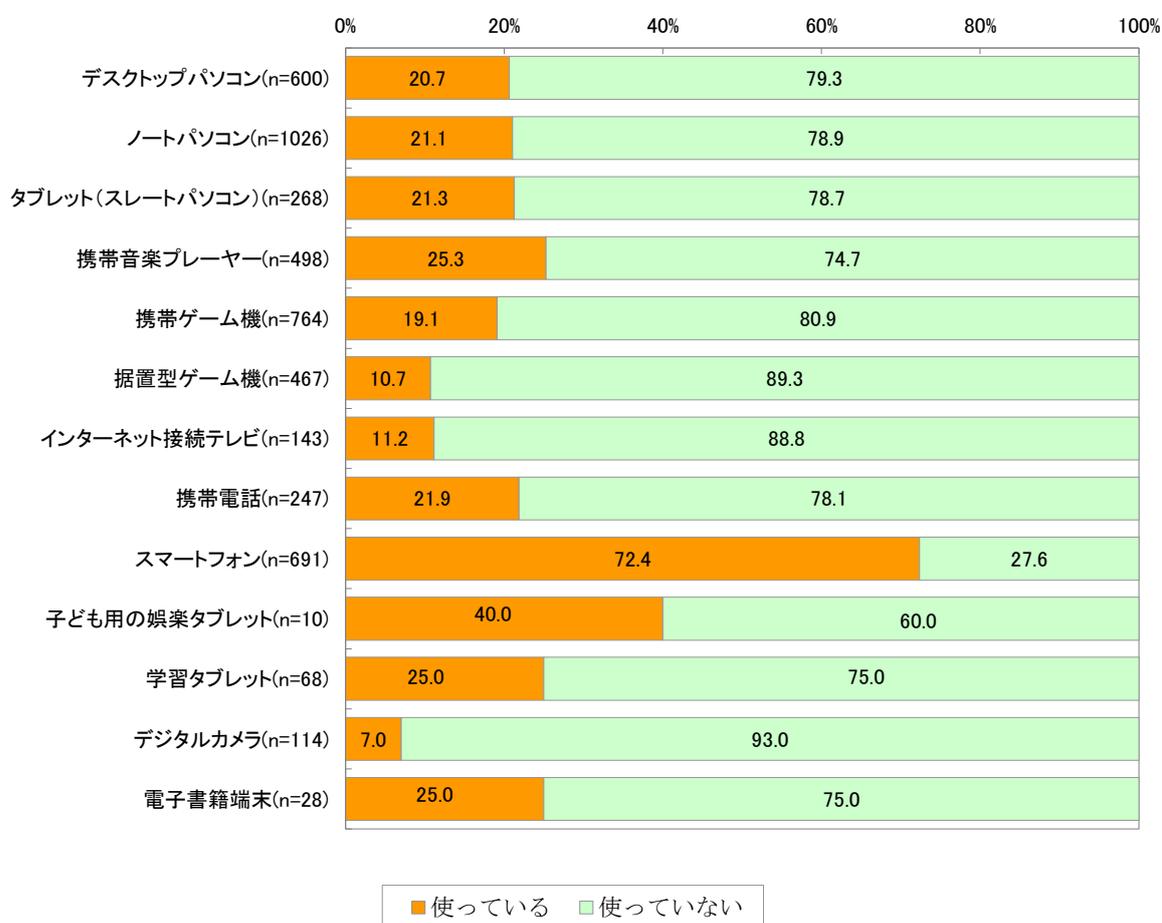
(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

## 2-5 コミュニティサイトの利用状況

### 2-5-1 コミュニティサイトの利用率

コミュニティサイトの利用率(当該機器所有者のうちコミュニティサイトを利用した経験がある青少年の割合)は、特にスマートフォンでの利用率が高く7割程度であった。携帯電話、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットでの利用率もそれぞれ2割程度であった。据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ、デジタルカメラでの利用率は1割程度であった。

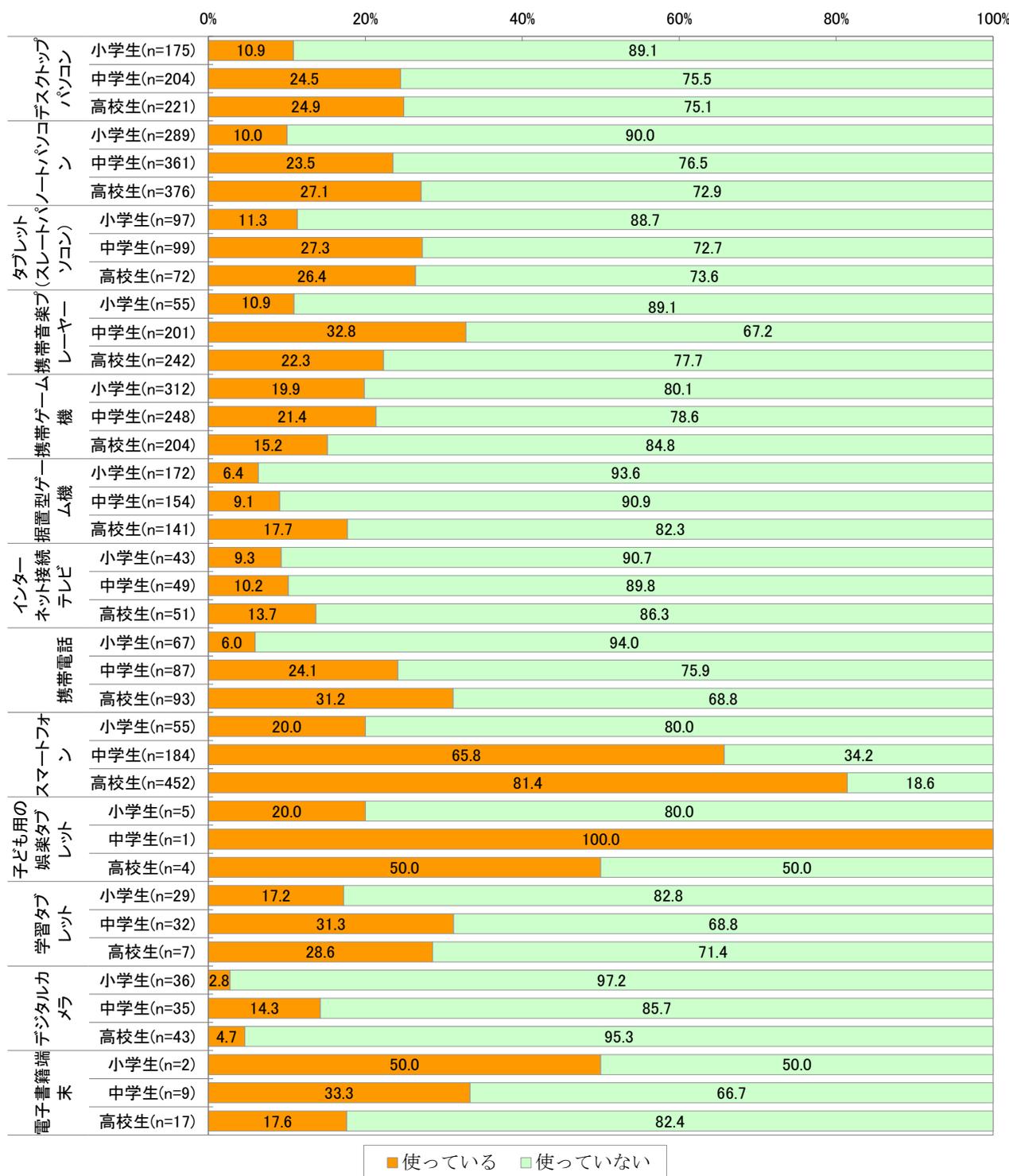
図表2-5-1.1 機器ごとのコミュニティサイト利用状況



(注) 集計対象は、各機器でコミュニティサイトを利用している青少年

デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットでは、小学生と中高生の間での利用率の差が大きくなっており、中学生になった時点で利用が増えている状況がうかがえる。また、タブレット、携帯音楽プレーヤーでは中学生の利用率が高校生を上回っている。

図表2-5-1.2 機器ごとのコミュニティサイト利用状況(学校種別)



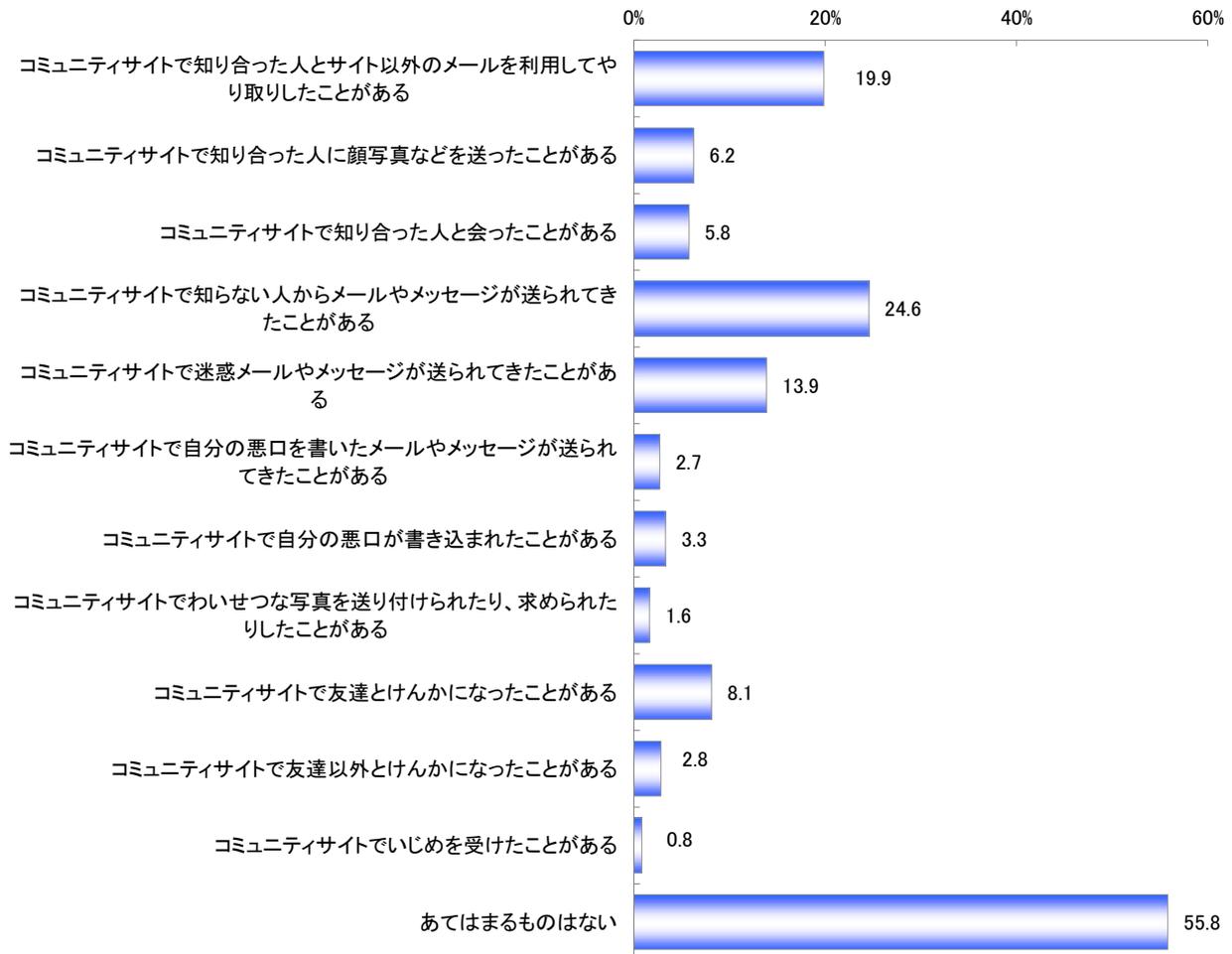
(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

## 2-5-2 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等

青少年の内、コミュニティサイトで知らない人からメールやメッセージが送られてきたことがある者は24.6%(19.5%)、知り合った人とサイト以外のメールを利用してやり取りをしたことがある者は、19.9%(44.4%)、迷惑メールやメッセージが送られてきた経験がある者は13.9%(13.1%)、友達とけんかになったことがある経験があるものは8.1%(4.1%)である。

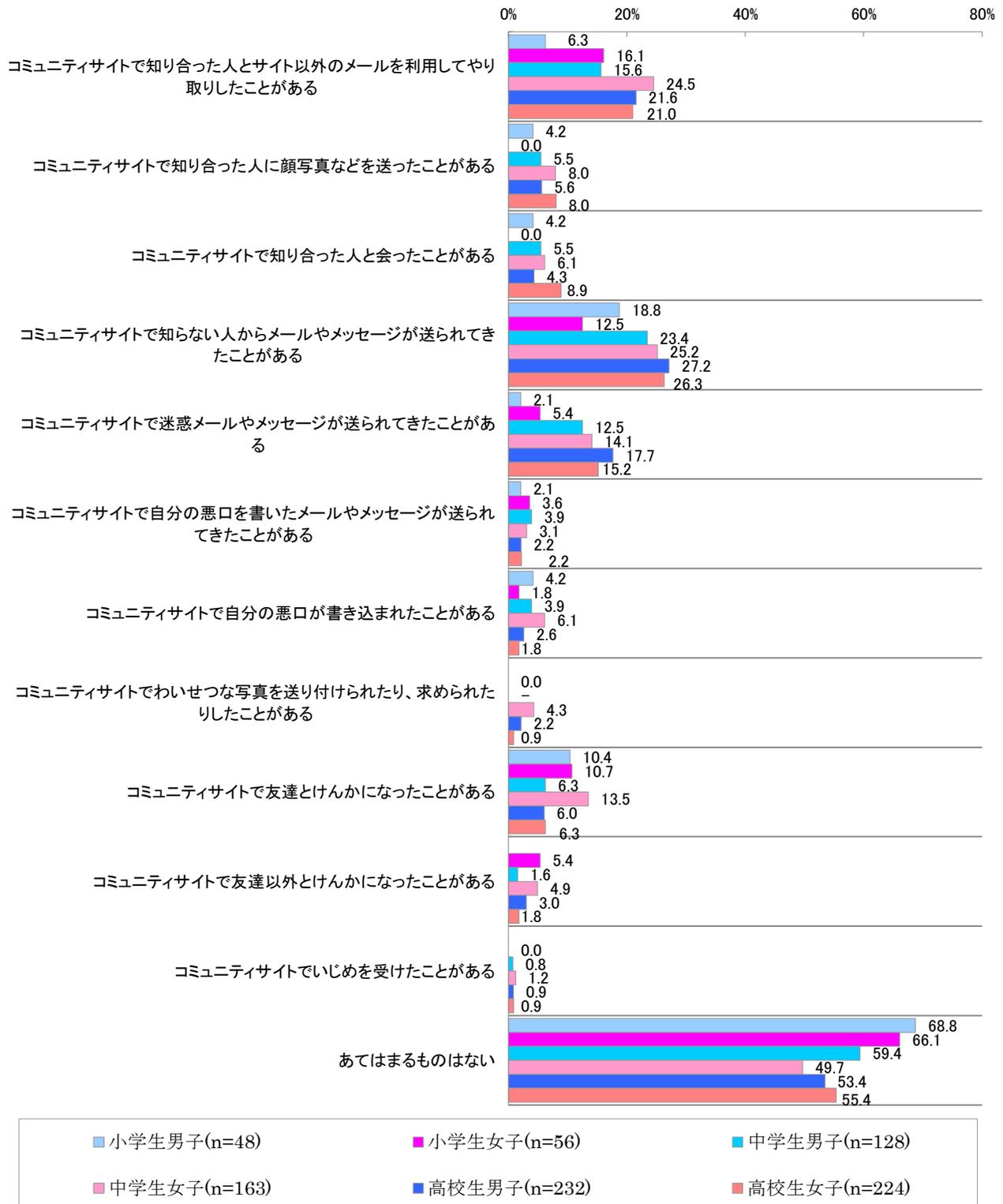
※()内は昨年度の調査値

図表2-5-2.1 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等(n=851)



(注)集計対象は、コミュニティサイトを利用している青少年

図表2-5-2.2 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等(学校種別・性別)



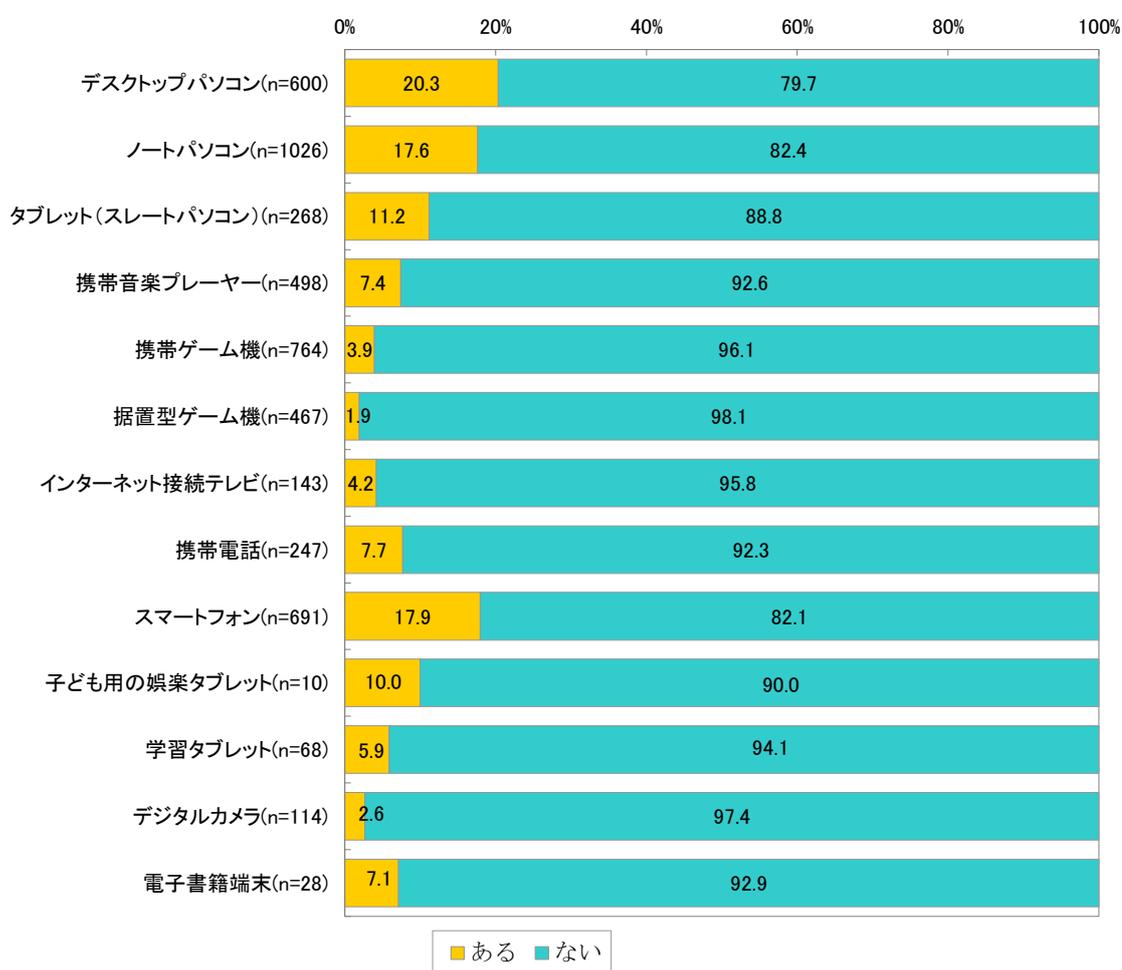
(注)集計対象は、コミュニティサイトを利用している青少年

## 2-6 違法・有害情報への遭遇状況

インターネットを利用している際に、わいせつな画像や気持ちの悪い画像、自殺や家出、麻薬などの情報等を、思いがけず見てしまうといったトラブルの経験は、デスクトップパソコン、ノートパソコン及びスマートフォンでは約2割が経験している。携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビでは、こうした画像や情報等を思いがけず見てしまうという経験をした青少年は比較的少ない。

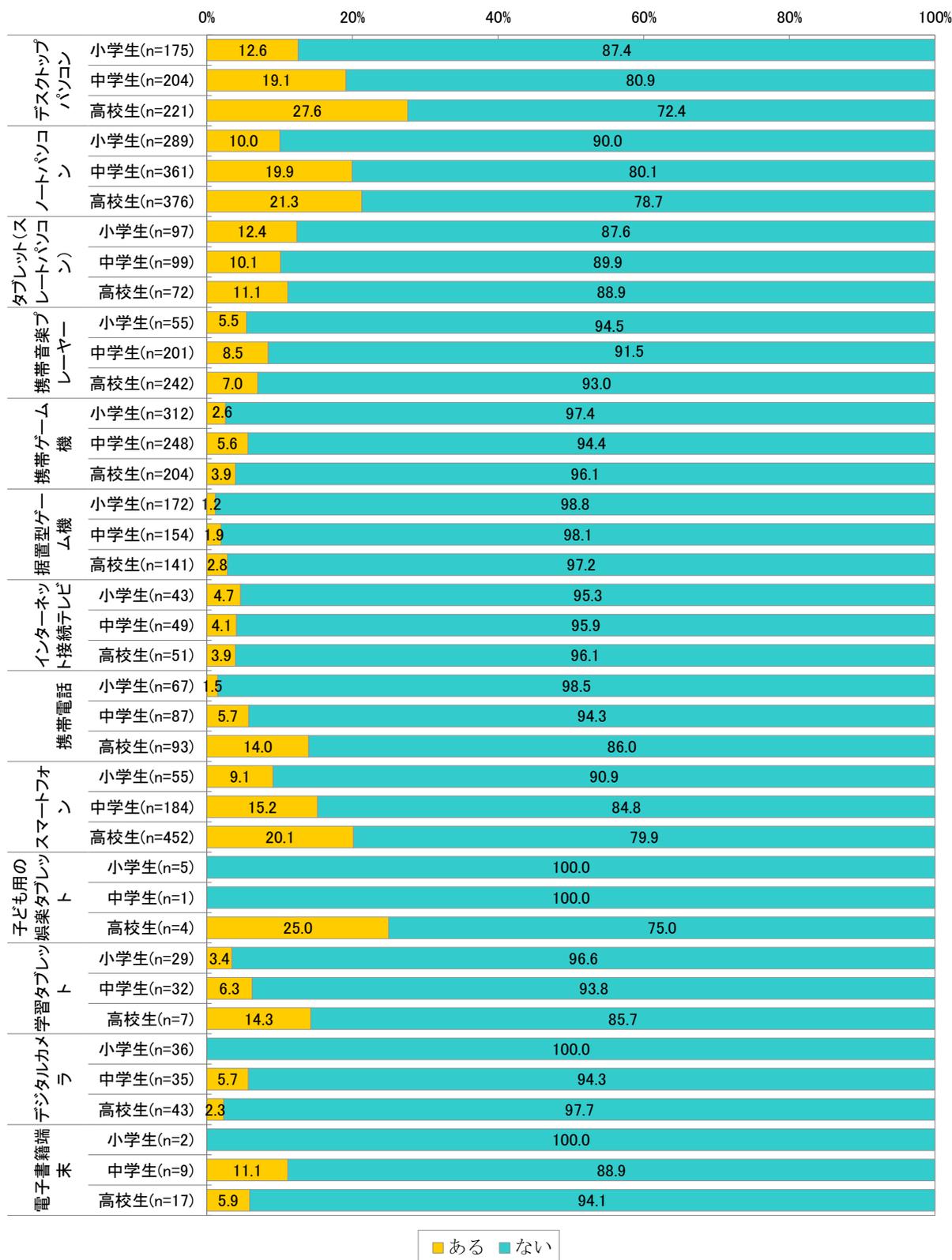
小学生、中学生、高校生となるに従って、違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブルを経験する比率は高くなる傾向がみられる。

図表2-6.1 違法・有害情報を思いがけず見る等のトラブル経験



(注)集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

図表2-6.2 違法・有害情報等を思いがけず見る等のトラブル経験(学校種別)



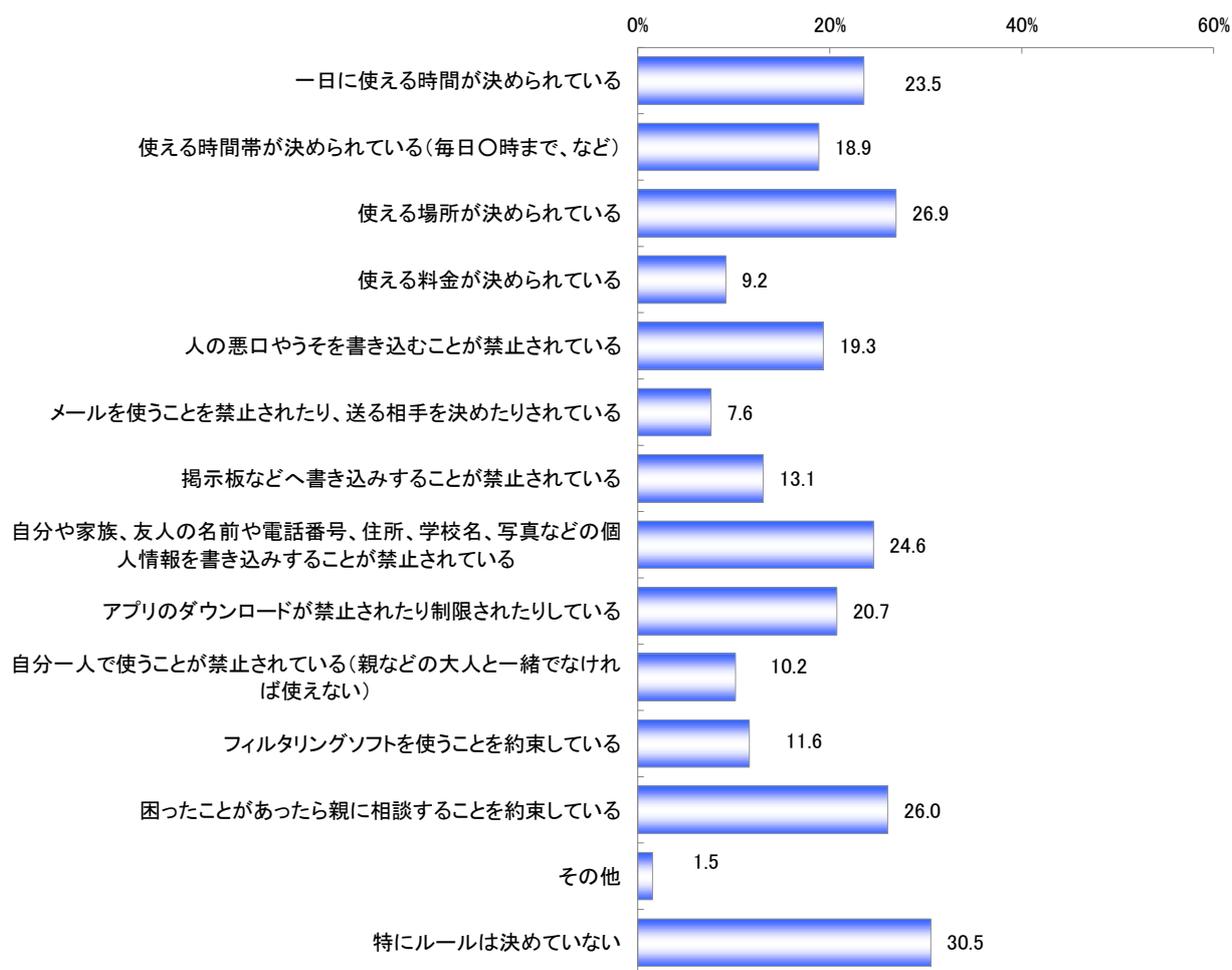
(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年

## 2-7 インターネットを利用する際のルール

青少年の約7割は、インターネットを利用するにあたり保護者と何らかのルールを決めている。

決めているルールとして多いのは、「使える場所」26.9%、「困った際に親に相談」26.0%、「個人情報の書込禁止」24.6%、「一日に使える時間」23.5%。「アプリのダウンロードの禁止・制限」20.7%等である。また、約3割が「特にルールは決めていない」となった。

図表2-7.1 インターネットを利用するにあたり定めているルール(n=2073)

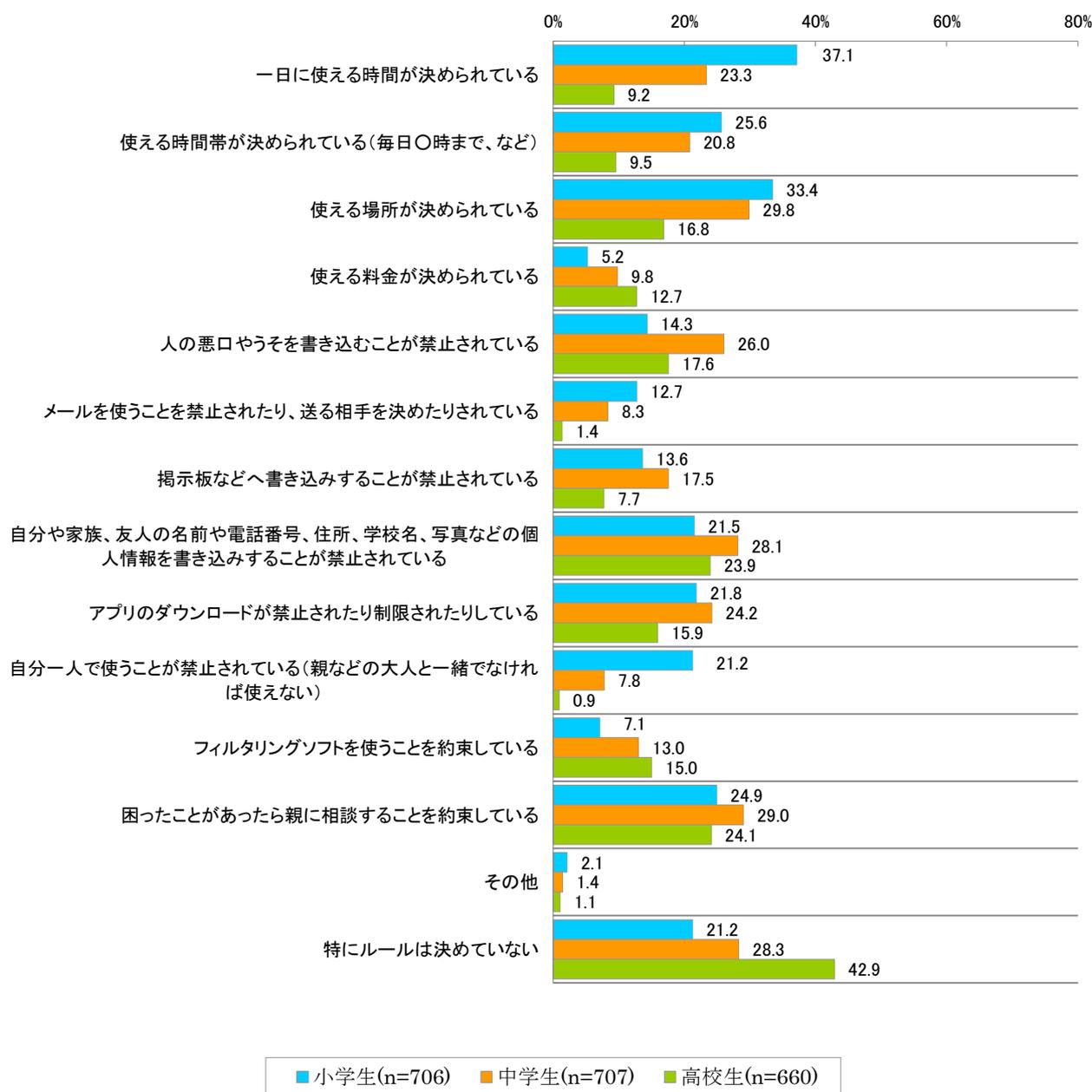


何らかのルールを設定している比率は小学生で78.8%(81.5%)、中学生で71.7%(74.9%)、高校生で57.1%(64.1%)であり、年齢が高くなるに従い減少している。設定しているルールの内容としては、小学生、中学生とも使用できる場所時間が決められている他では、「アプリのダウンロード」や「個人情報の書込」の禁止に関連するルール、「困ったことがあったら親に相談すること」が多くなっていることがわかる。

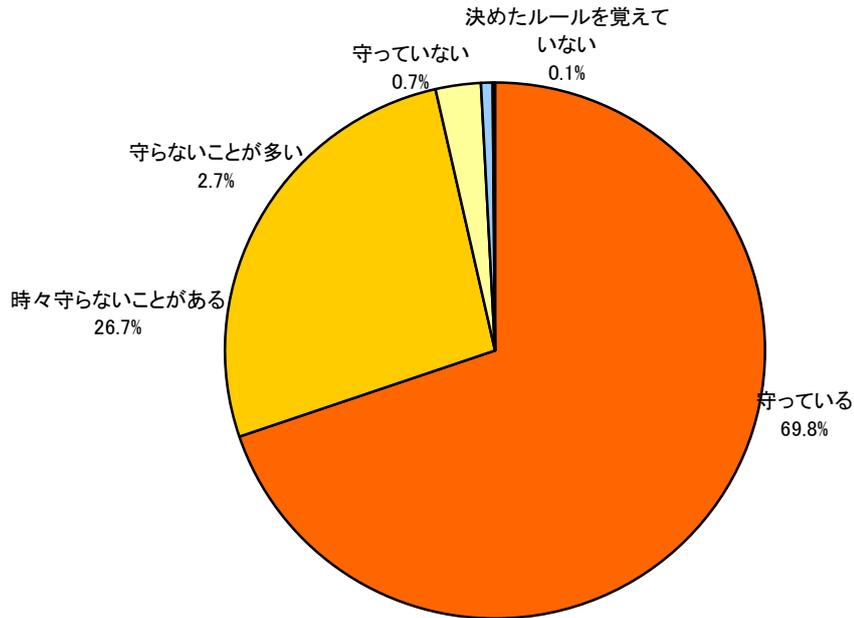
保護者と決めたルールを守っているかという状況について調査したところ、全体の69.8%が保護者と決めたルールを守っていると回答している。

※()内は昨年度の調査値

図表2-7.2 インターネットを利用するにあたり定めているルール(学校種別)

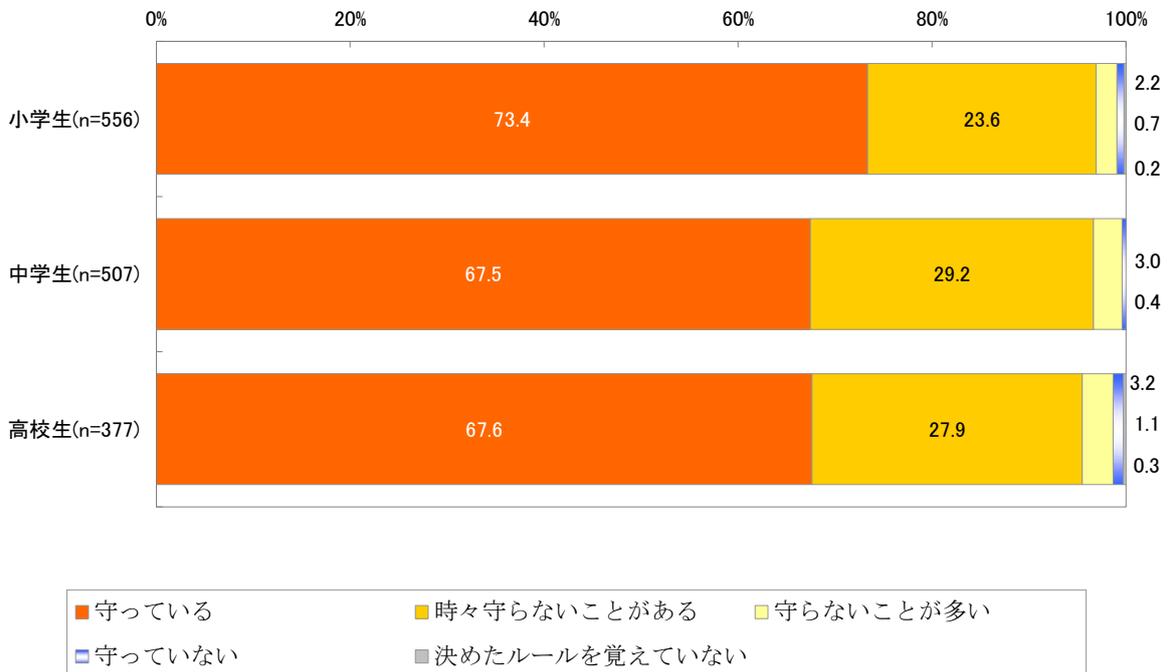


図表2-7.3 保護者と決めたルールへの遵守状況 (n=1440)



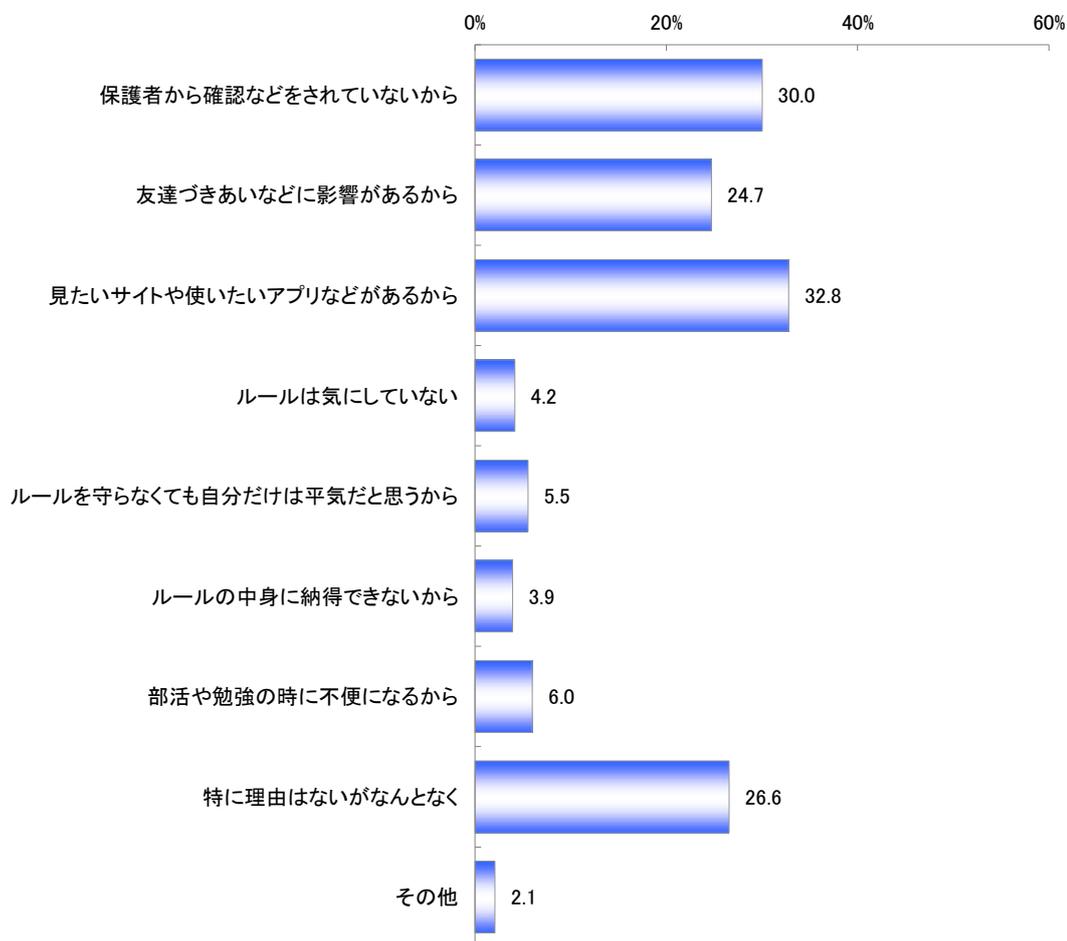
(注) 集計対象は、保護者と決めているルールがある青少年

図表2-7.4 保護者と決めたルールへの遵守状況(学校種別)



ルールを守っていない理由としては、「見たいサイトや使いたいアプリなどがあるから」が32.8%、「保護者から確認などをされていないから」が30.0%、「特に理由はないがなんとなく」が26.6%であった。

図表2-7.5 保護者と決めたルールを遵守していない理由 (n=433)



(注) 集計対象は、保護者と決めたルールを「時々守らないことがある」「守らないことが多い」「守っていない」と回答した青少年

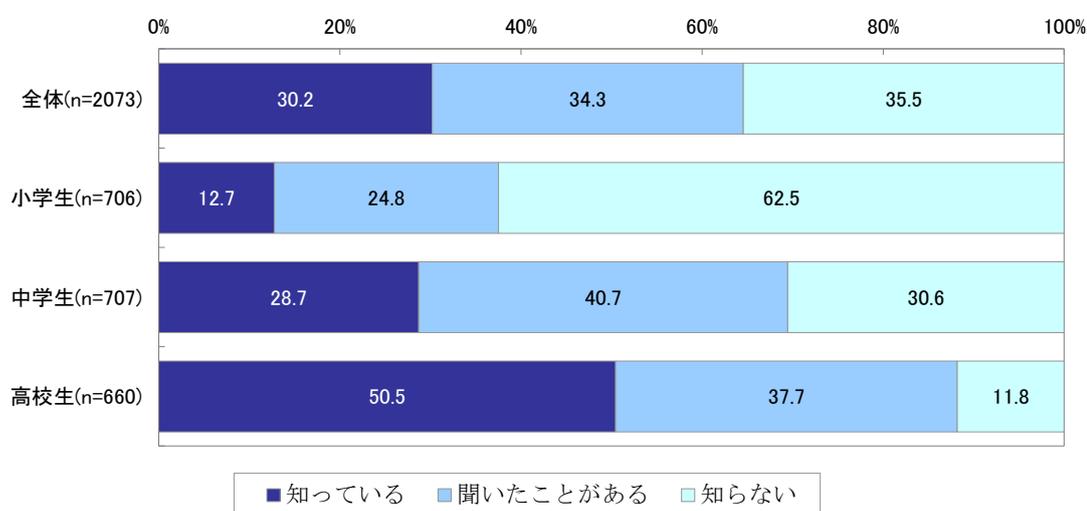
## 2-8 フィルタリングソフト

### 2-8-1 フィルタリングソフトの認知状況

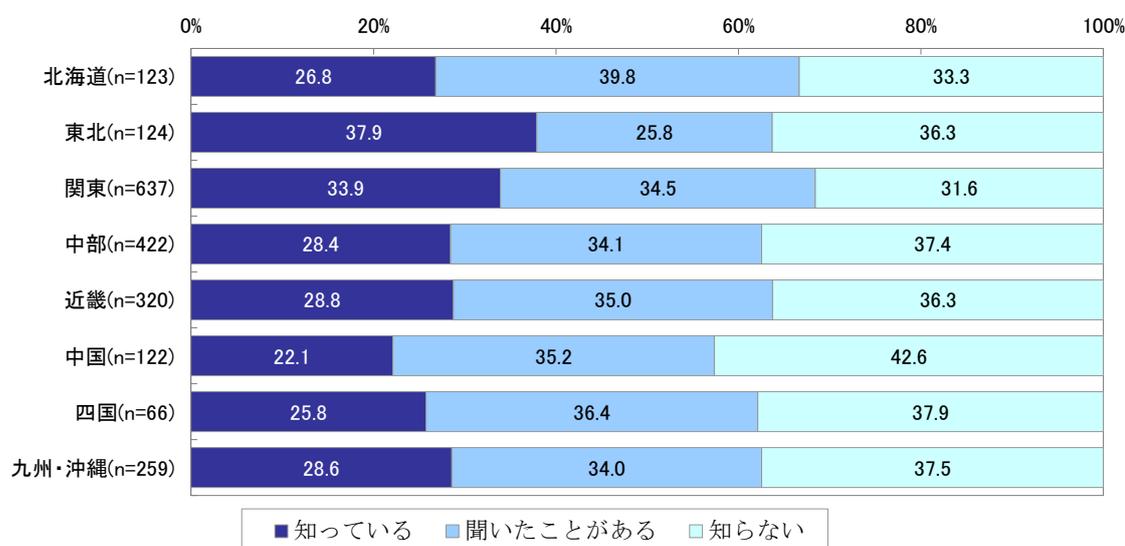
フィルタリングソフトについて、小学生は「知っている」「聞いたことがある」よりも、「知らない」とする割合が上回った。しかし高校生では5割強の割合で認知されていた。小学生では「知っている」が12.7%であり、「知らない」が62.5%となっている。中学生では「知っている」が28.7%であり、「知らない」が30.6%である。高校生では50.5%が「知っている」であり、「知らない」が11.8%である。

地域別にはあまり大きな差はないが、東北地方、関東地方での認知度が高めとなり、中国地方、四国地方での認知度が低めとなっていた。

図表2-8-1.1 フィルタリングの認知状況



図表2-8-1.2 フィルタリングの認知状況(居住地域別)



## 2-8-2 フィルタリングソフトの必要性

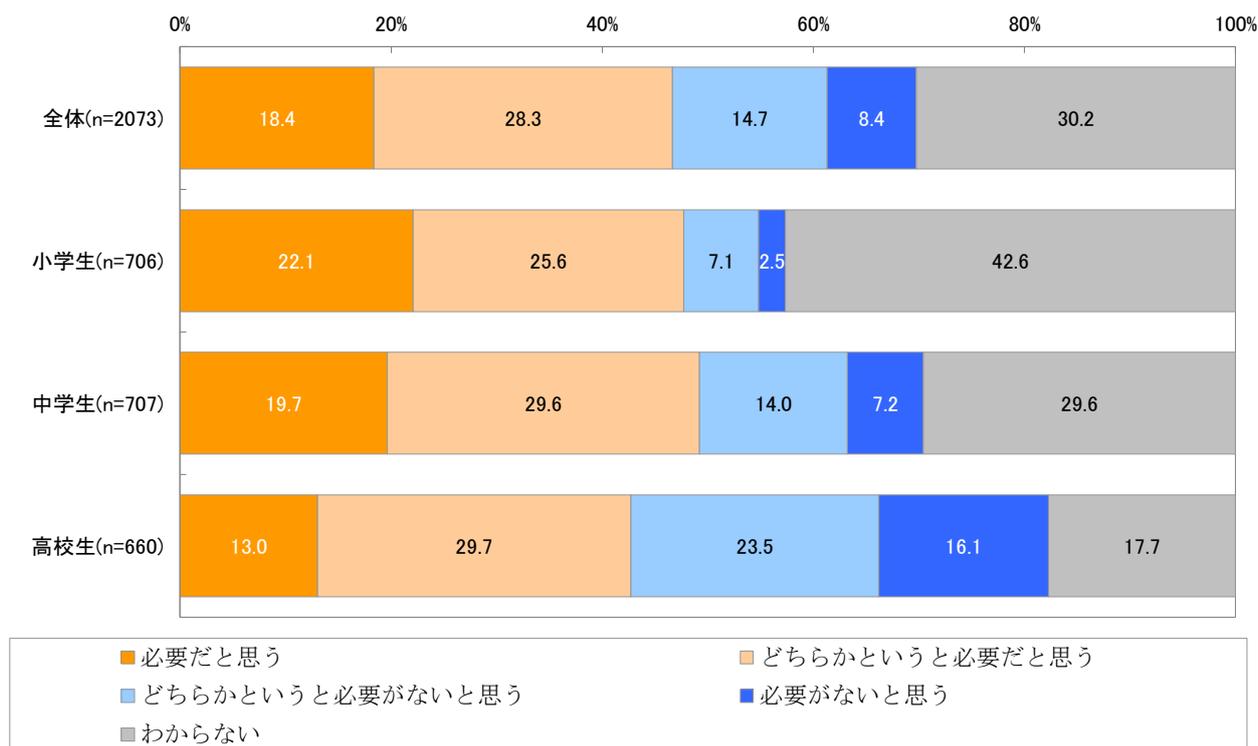
フィルタリングソフトが「必要」とする青少年は2割弱であり、「どちらかという必要」をあわせると約半数の青少年がフィルタリングソフトは必要であると考えている。一方、「どちらかという必要がない」「必要がない」とする青少年は2割程度であり、「わからない」とする青少年は約3割となっている。

フィルタリングソフトの必要性について「わからない」とする回答は、小学生では42.6%と高いが、一方で「必要」とする回答も18.4%と中学生よりも高くなっている。また、中学生、高校生となるに従って、「必要がない」「どちらかという必要がない」とする比率が高くなっている。

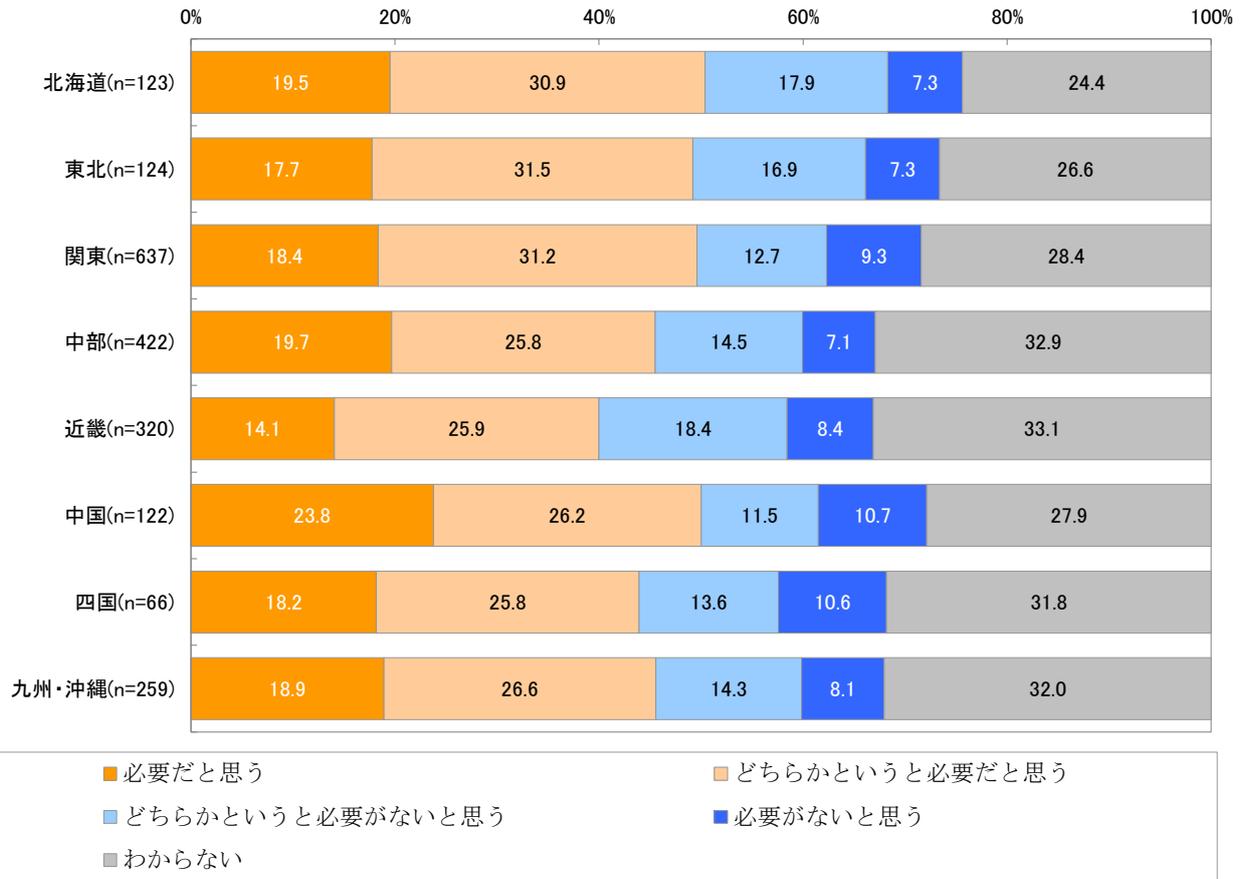
地域別にみても大きな差はない。「必要」とする回答が中部・中国・九州地方で高く、近畿で少なくなっている。

子ども自身のフィルタリングに対する意識を確認するため、「自分より低い学年にとってフィルタリングソフトは必要か」という調査(図表 2-44)を行った。その結果、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」と答えた割合は、自分自身にとって必要という回答をした割合(図表 2-42)を小学生で6.0%、中学生で19.3%、高校生で32.8%上回っていた。

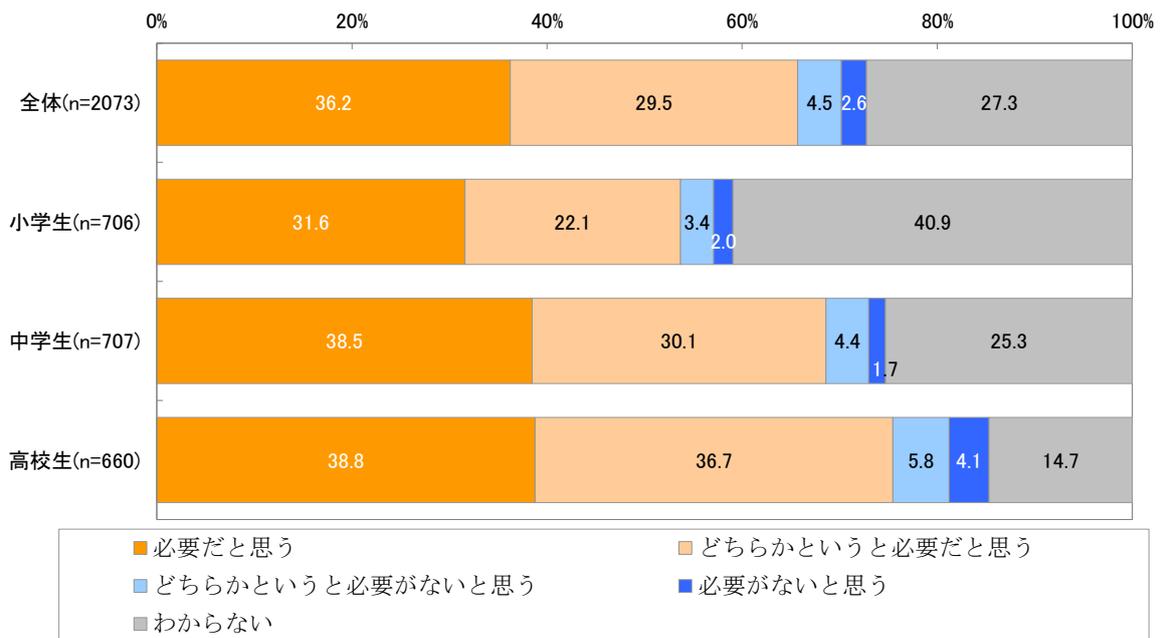
図表2-8-2.1 フィルタリングソフトの必要性



図表2-8-2.2 フィルタリングソフトの必要性(居住地域別)



図表2-8-2.3 自分より低い学年にとってのフィルタリングソフトの必要性



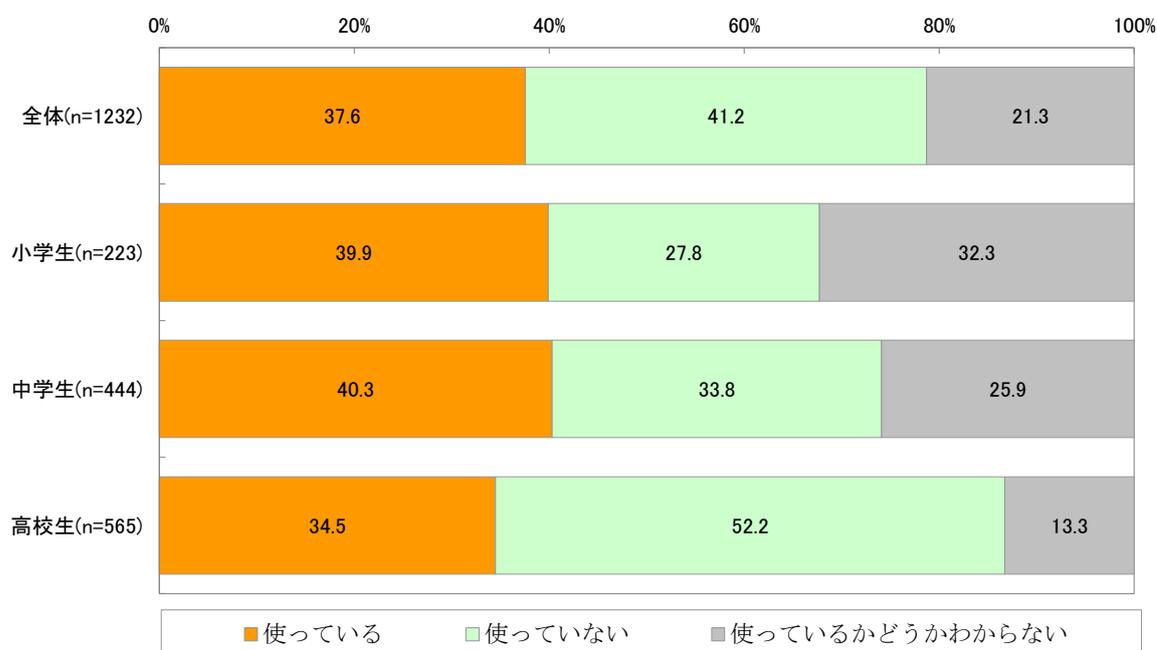
### 2-8-3 フィルタリングソフトの利用状況

全体でのフィルタリング利用率は 37.6% (25.4%)と昨年より上昇した。高校生のフィルタリング利用率は、小中学生よりも低く、「使っていない」と回答した高校生が 52.2% (57.5%)であった。

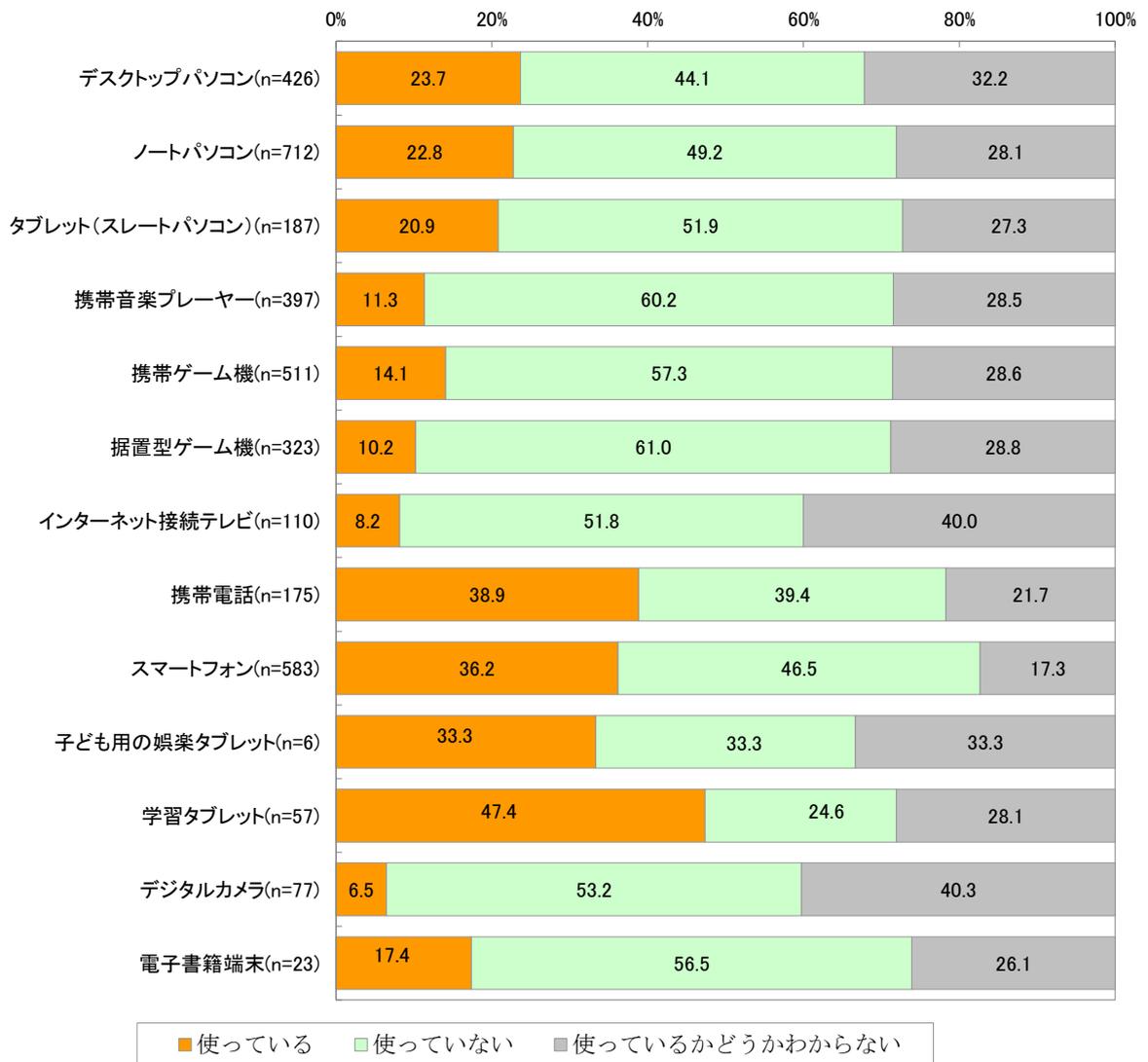
また、機器ごとでは、学習タブレットで 47.4%、携帯電話で 38.9% (42.8%)、スマートフォンで 36.2% (32.8%)、デスクトップパソコンでは 23.7% (25.4%)、ノートパソコンでは 22.8% (22.6%)、タブレットでは 20.9% (12.0%)、携帯ゲーム機では 14.1% (9.5%)、携帯音楽プレーヤーでは 11.3% (5.7%)、据置型ゲーム機では 10.2% (7.7%)、インターネット接続テレビでは 8.2%、デジタルカメラでは 6.5%でフィルタリングソフトが利用されていた。

※ ()内は昨年度の調査値

図表2-8-3.1 フィルタリングソフトの利用状況(学校種別)



図表2-8-3.2 機器ごとのフィルタリングソフトの利用状況



学校種別による差はあまり見られないが、小中学生は携帯電話での利用率がスマートフォンの利用率を上回り、高校生はスマートフォンでのフィルタリングソフトの利用率が携帯電話よりも高かった。

図表 2-8-3.3 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率(学校種別)(%)

	デスクトップパソコン	ノートパソコン	タブレット	携帯音楽プレーヤー	携帯ゲーム機	据置型ゲーム機	インターネット接続テレビ	携帯電話	スマートフォン	子ども用の娯楽タブレット	学習タブレット	デジタルカメラ	電子書籍端末
全体	23.7	22.8	20.9	11.3	14.1	14.1	14.1	38.9	36.2	33.3	33.3	6.5	17.4
小学生	22.4	24.2	32.6	17.2	27.9	21.5	12.5	43.8	36.7	0.0	45.5	5.9	50.0
中学生	31.3	25.5	20.5	13.2	11.9	10.3	10.5	45.3	46.1	100.0	53.6	14.3	50.0
高校生	18.6	20.1	13.6	9.3	5.9	3.1	4.2	31.6	32.8	25.0	28.6	2.6	0.0

地域別にみると、デスクトップパソコンのフィルタリング利用率では北海道、東北、関東が他の地域よりもやや高めとなっている。携帯電話での利用率は北海道が5割以上であった。スマートフォンでの利用率は、中部、四国が高くなっている。

図表 2-8-3.4 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率(居住地域別)(%)

	デスクトップパソコン	ノートパソコン	タブレット	携帯音楽プレーヤー	携帯ゲーム機	据置型ゲーム機	インターネット接続テレビ	携帯電話	スマートフォン	子ども用の娯楽タブレット	学習タブレット	デジタルカメラ	電子書籍端末
北海道	28.1	21.6	33.3	8.3	12.5	7.1	0.0	57.1	27.8	0.0	50.0	0.0	0.0
東北地方	28.6	26.1	6.7	19.2	9.7	10.0	0.0	41.2	37.5	0.0	33.3	14.3	0.0
関東地方	27.9	23.7	18.6	11.8	17.9	12.1	13.5	37.7	37.9	50.0	64.7	7.4	40.0
中部地方	24.4	24.3	23.5	15.4	12.0	5.3	8.7	42.9	43.1	0.0	44.4	7.1	0.0
近畿地方	19.1	24.6	23.3	7.4	15.2	16.7	6.3	40.0	29.0	0.0	37.5	10.0	50.0
中国地方	15.0	26.7	33.3	4.0	9.5	17.6	20.0	44.4	37.9	0.0	0.0	0.0	0.0
四国地方	6.3	11.5	33.3	7.7	4.8	0.0	0.0	25.0	54.5	0.0	50.0	0.0	0.0
九州・沖縄地方	18.9	14.5	14.3	10.0	12.5	3.3	0.0	30.0	30.0	100.0	50.0	0.0	16.7

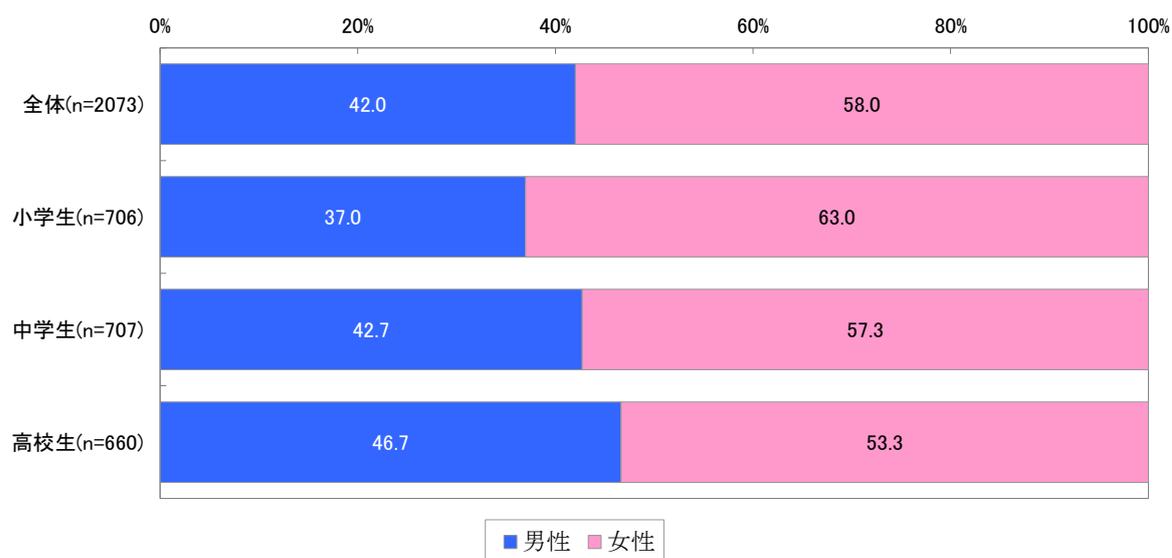
### 3. 保護者対象アンケート調査結果

#### 3-1 回答者属性

##### (1) 性別

保護者の性別は 42.0%が男性、58.0%が女性である。

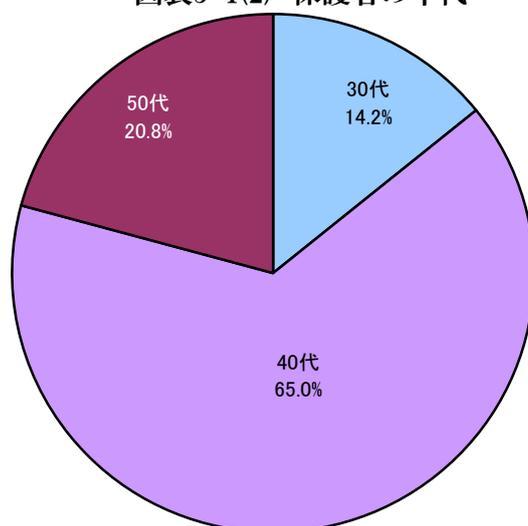
図表3-1(1) 保護者の性別



## (2) 年代

調査に回答した保護者の年代は40代が65.0%であり、過半を占めている。30代以下は14.2%、50代以上が20.8%となっている。

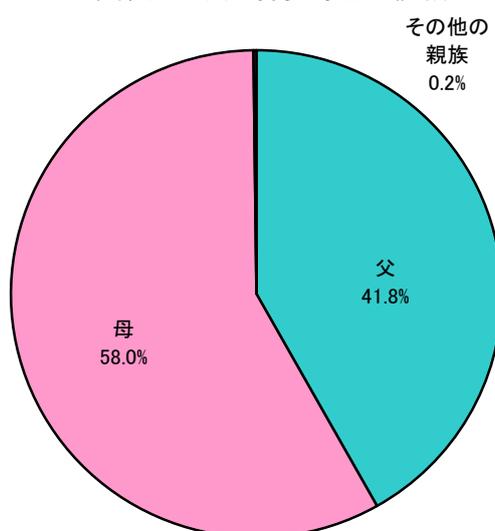
図表3-1(2) 保護者の年代



## (3) 青少年と保護者の続柄

回答した保護者と青少年との続柄は、41.8%が父、58.0%が母、その他が0.2%となっている。

図表3-1(3) 青少年との続柄

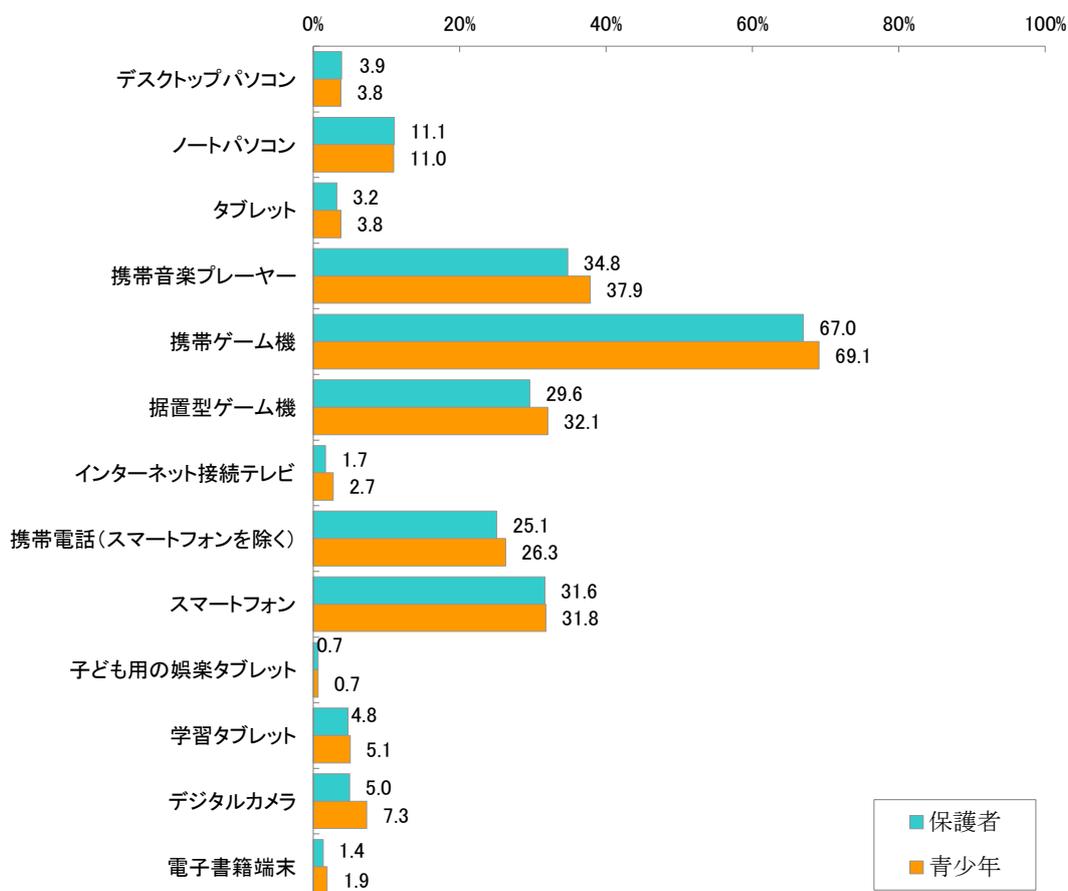


## 3-2 青少年の機器の所有状況、インターネットの利用状況の認識

### 3-2-1 機器の所有状況

保護者に青少年の機器の所有状況について調査したところ、概ね青少年の回答と同様の回答状況であった。しかしながら、学校種別ごとに見ていくと、高校生の保護者の認識と青少年の機器の所有状況について、若干の差があることがわかった。

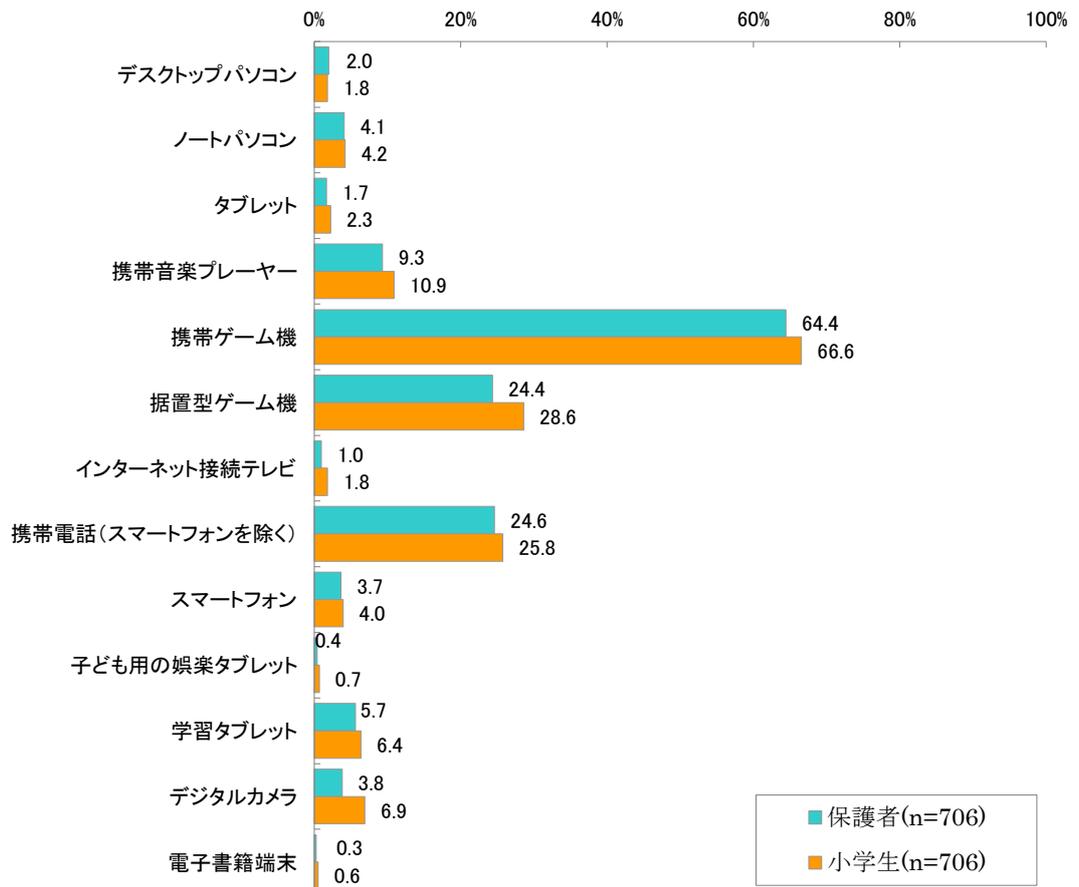
図表3-2-1 機器ごとの所有状況の認識(n=2073)



## (1) 小学生の機器の所有状況に関する認識

小学生が自分専用で使用する機器の所有状況について、小学生の保護者による回答と、小学生自身による回答とを比較した。ほぼ小学生の回答と保護者の回答とは等しくなっている。

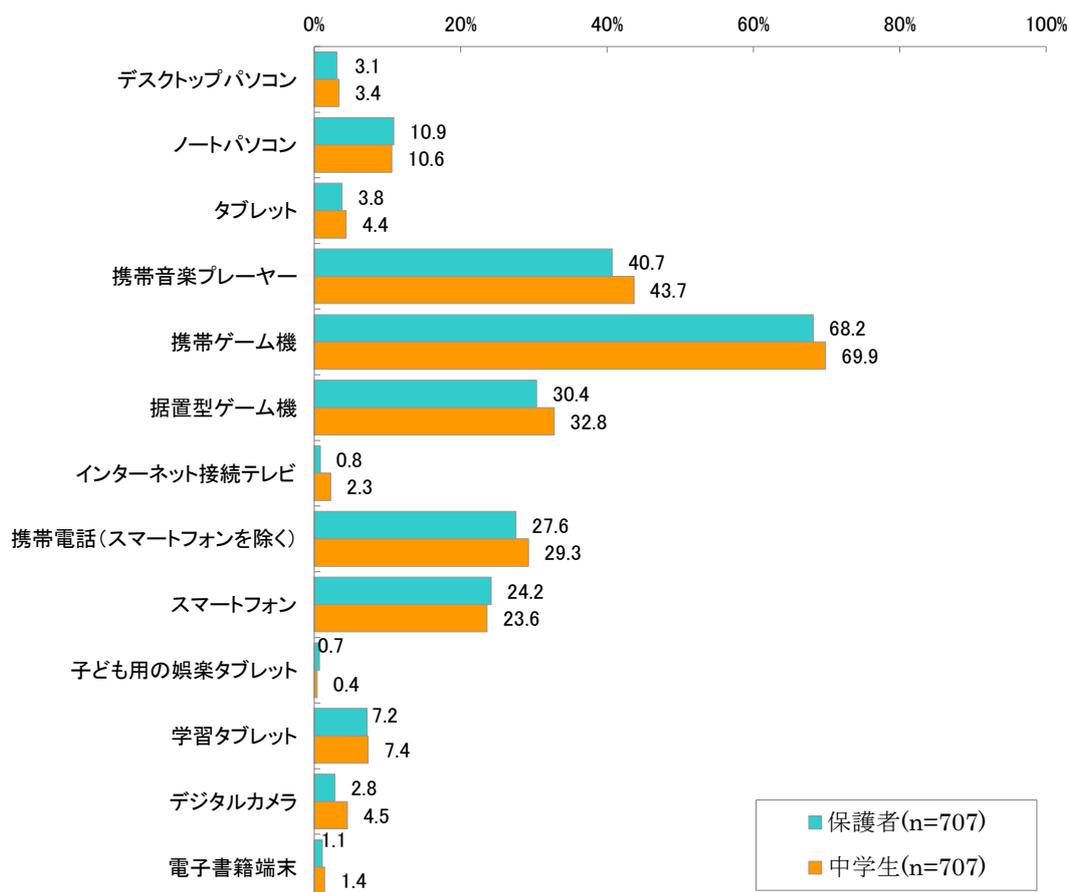
図表3-2-1(1) 小学生の機器ごとの所有状況の認識



## (2) 中学生の機器の所有状況に関する認識

中学生が自分専用で使用する機器の所有状況について、中学生の保護者による回答と、中学生自身による回答とを比較したところ、全体的に大きな差異は見られなかった。

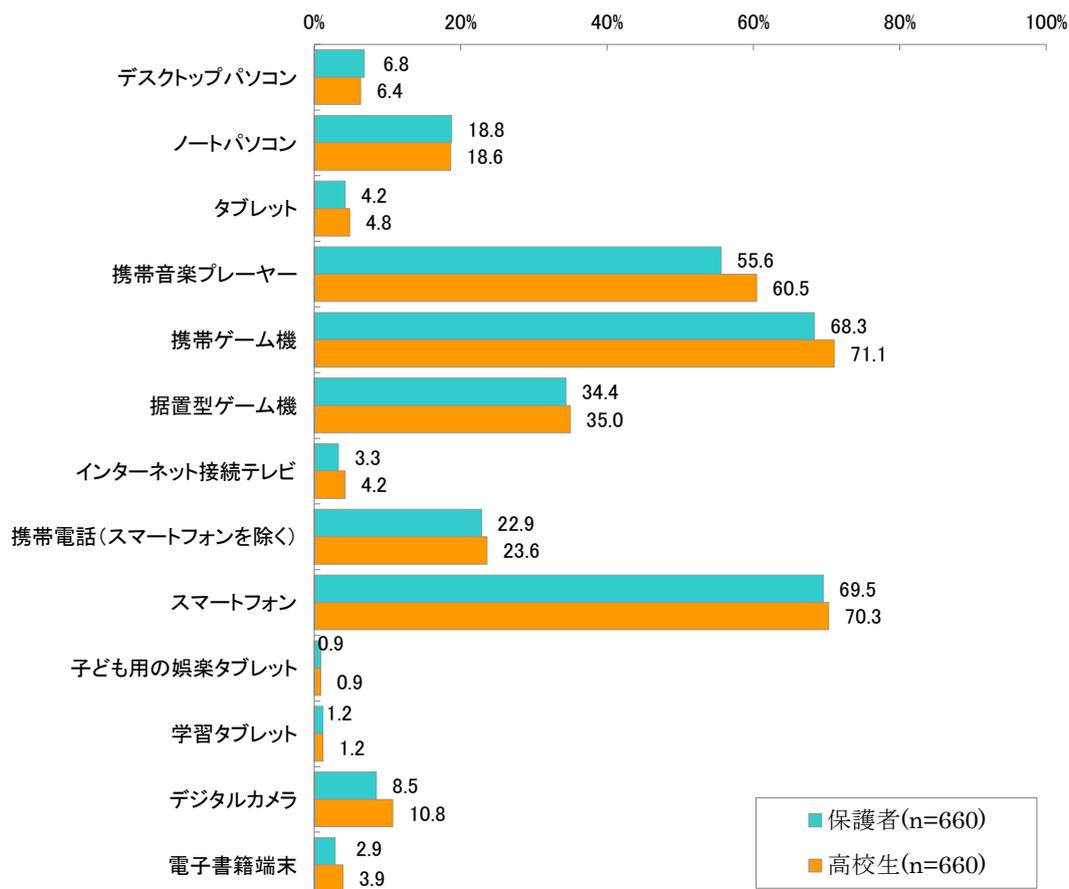
図表3-2-1(2) 中学生の機器ごとの所有状況の認識



### (3) 高校生の機器の所有状況に関する認識

高校生が自分専用で使用する機器の所有状況について、高校生の保護者による回答と、高校生自身による回答とを比較した。若干ながら、青少年の所有認識は保護者の認識を上回り、自分専用の端末であるという認識が多くなっていた。

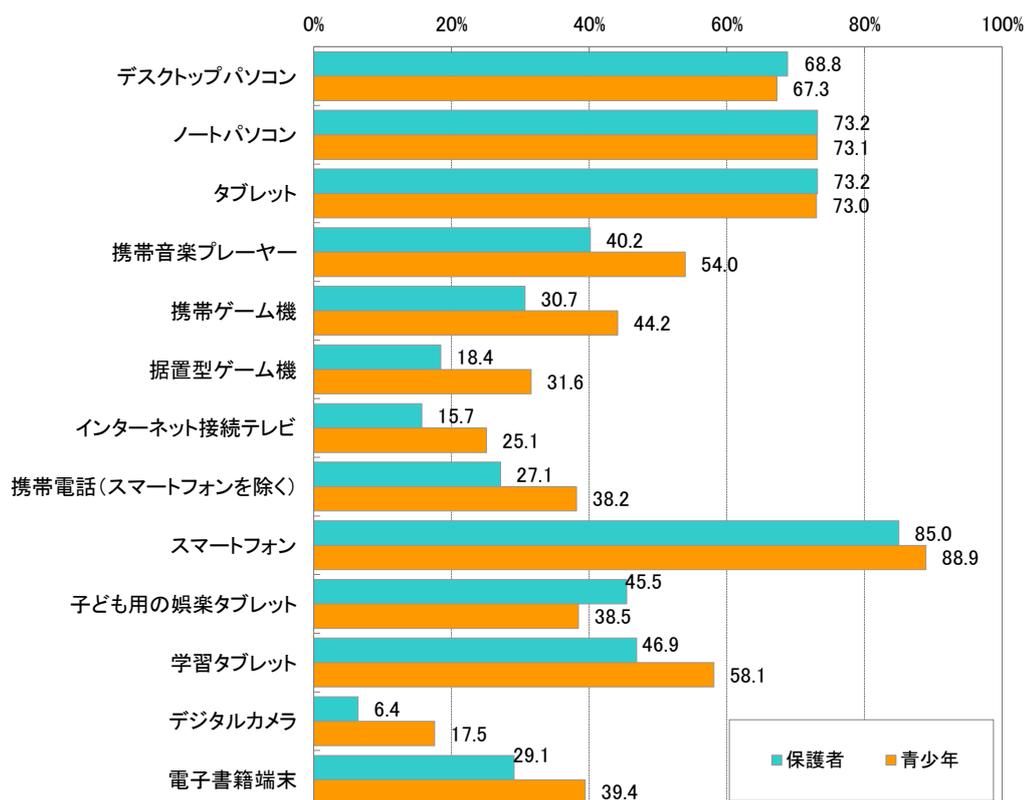
図表3-2-1(3) 高校生の機器ごとの所有状況の認識



### 3-2-2 機器ごとのインターネット利用状況

保護者に青少年の機器ごとのインターネットの利用状況について調査したところ、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、携帯電話、インターネット接続テレビ、学習タブレット、デジタルカメラ、電子書籍端末については、保護者の認識よりも実際の青少年の利用率は比較的高くなっている。

図表3-2-2 機器ごとのインターネット利用状況の認識

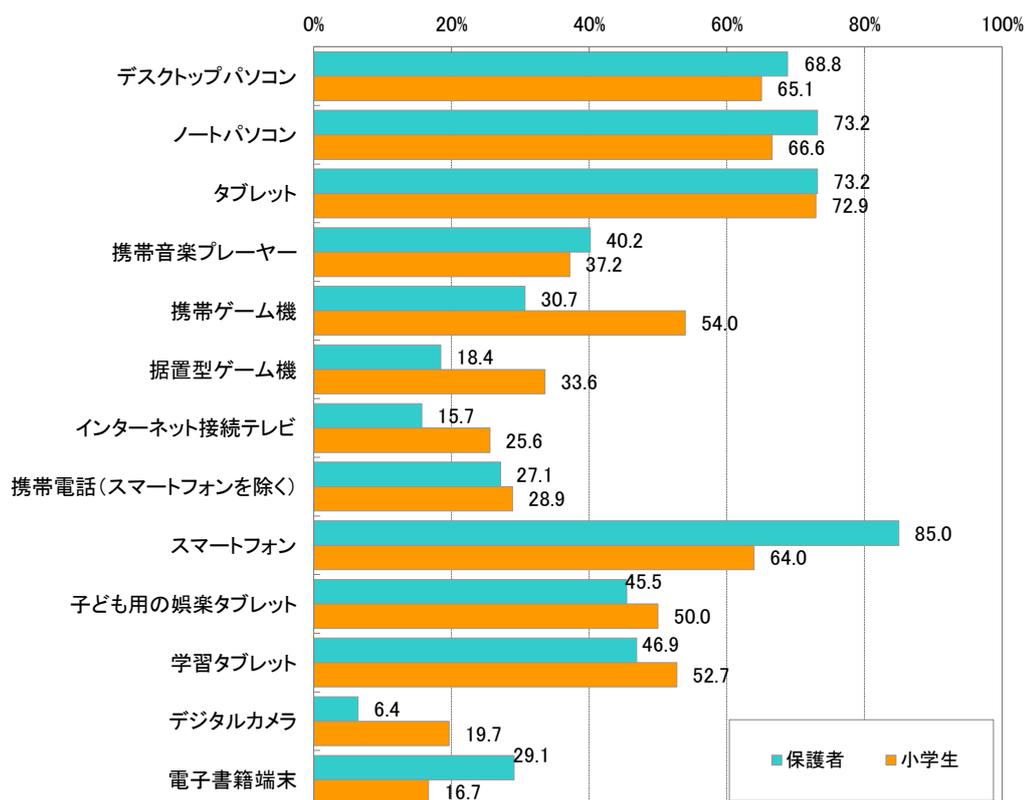


(注) 集計対象は、各機器を所持している青少年と保護者

## (1) 小学生の機器ごとのインターネット利用状況に関する認識

小学生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、ゲーム機、携帯電話、スマートフォンでの乖離が大きくなっている。携帯ゲーム機では23.3ポイント、据置型ゲーム機では15.2ポイント、スマートフォンでは21.0ポイントの差がある。

図表3-2-2(1) 機器ごとのインターネット利用状況の認識

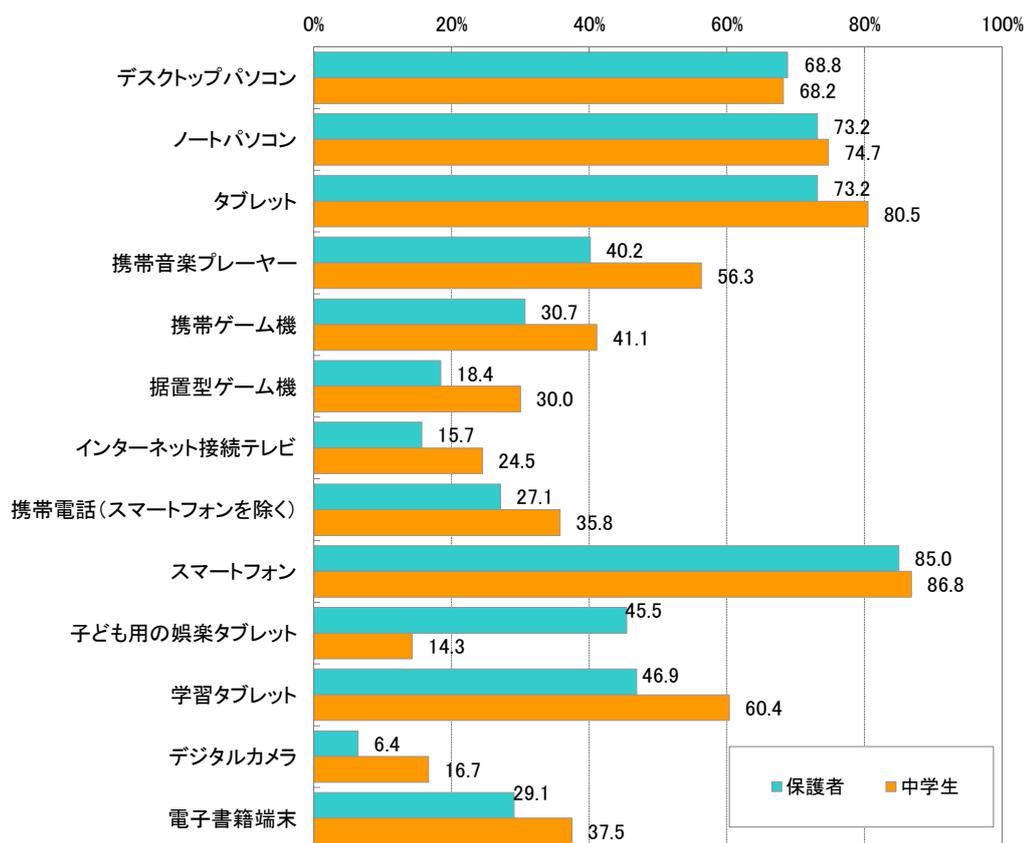


(注) 集計対象は、各機器を所持している小学生と保護者(保護者は全体)

## (2) 中学生の機器ごとのインターネット利用状況に関する認識

中学生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、携帯音楽プレーヤー、ゲーム機での乖離が大きい。携帯音楽プレーヤーで16.1ポイント、据置型ゲーム機で11.6ポイント、携帯ゲーム機で10.4ポイントの差があった。

図表3-2-2(2) 機器ごとのインターネット利用状況の認識

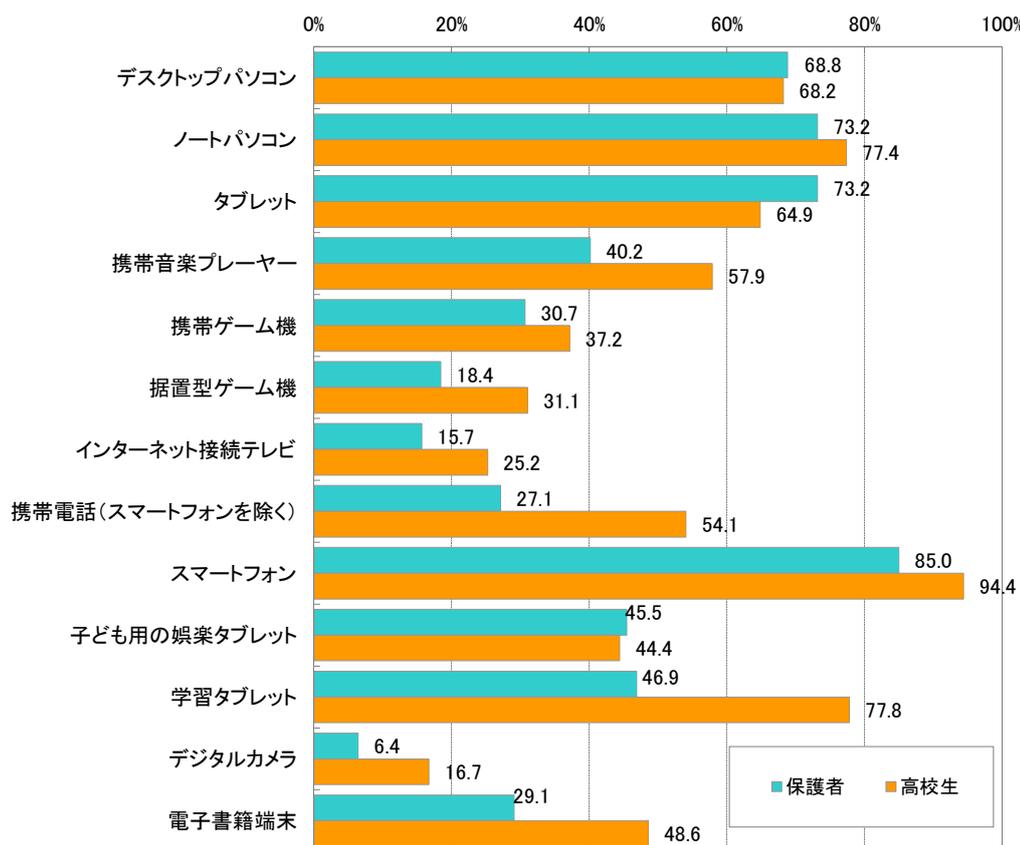


(注) 集計対象は、各機器を所持している中学生と保護者(保護者は全体)

### (3) 高校生の機器ごとのインターネット利用状況に関する認識

高校生のインターネット利用の状況に関する保護者の認識と、実際の利用状況とを比較すると、携帯音楽プレーヤーで17.7ポイント、据置型ゲーム機で12.7ポイント、携帯電話で27.0ポイント、学習タブレットで30.9ポイントの乖離がみられる。

図表3-2-2(3) 機器ごとのインターネット利用状況の認識

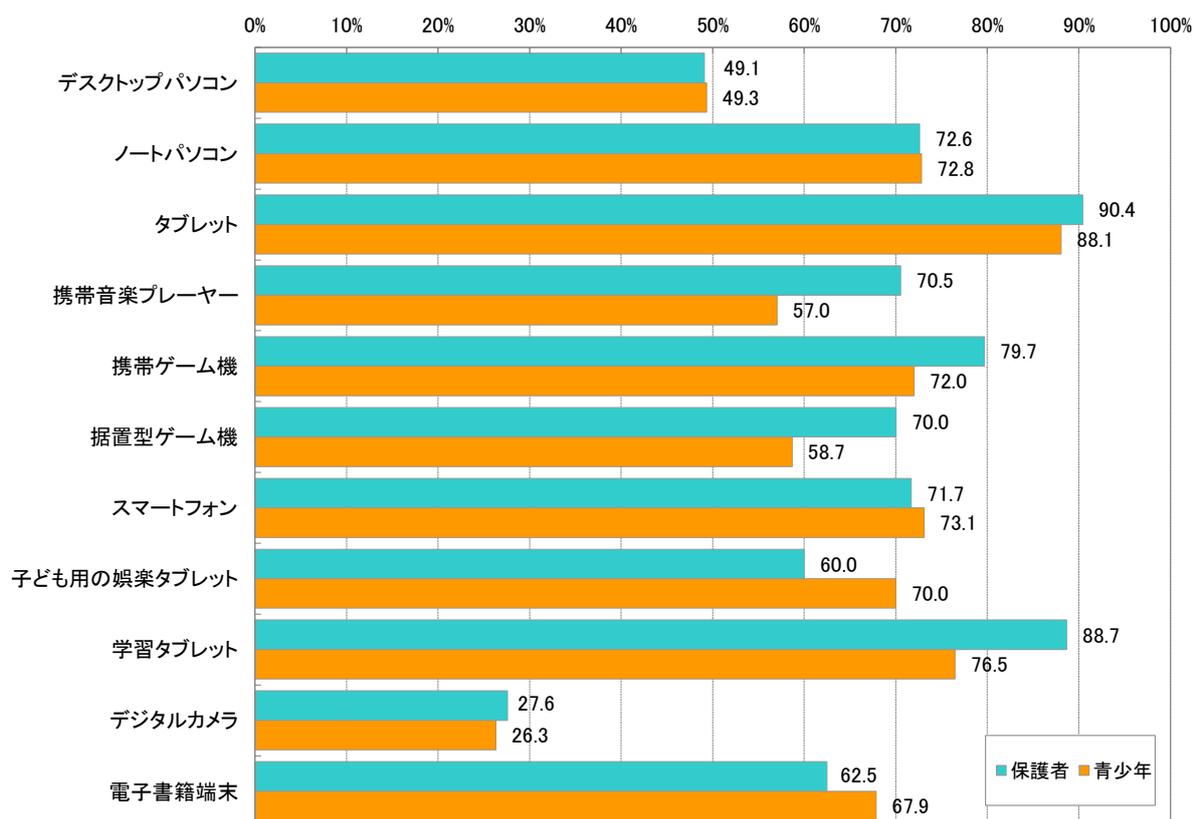


(注) 集計対象は、各機器を所持している高校生と保護者(保護者は全体)

### 3-2-3 青少年による無線 LAN の利用に関する把握状況

青少年の無線 LAN を介したインターネットの利用状況について、保護者に調査したところ、全体の傾向は青少年とほぼ同様であった。

図表3-2-3 青少年の無線LANを介したインターネットの利用率に関する保護者の把握状況



(注) 集計対象は、各機器でインターネットを利用している青少年と保護者の認識

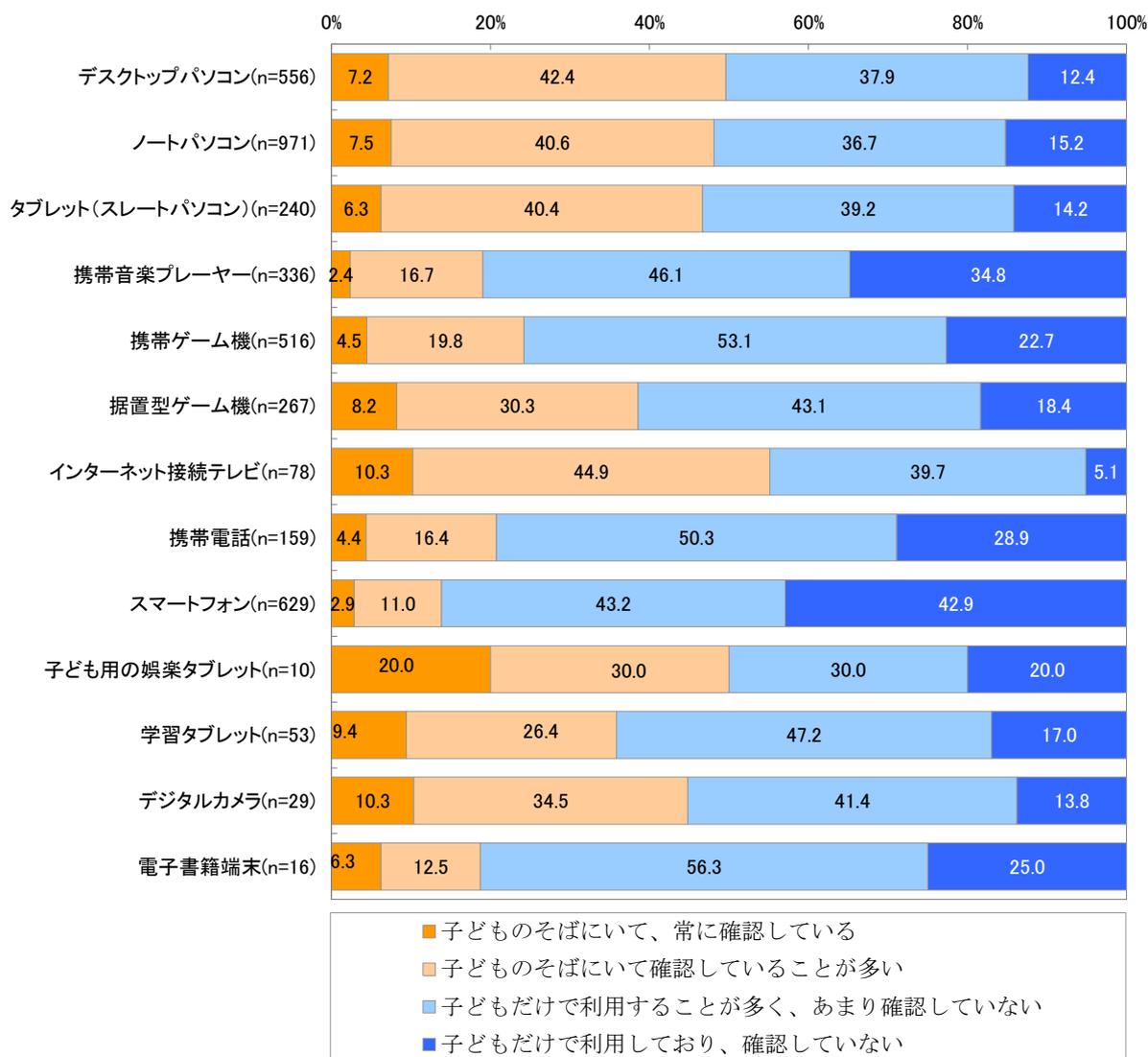
### 3-3 青少年のインターネット利用に関する確認状況

#### 3-3-1 青少年のインターネット利用に関する確認状況

青少年のインターネットの利用状況を保護者がどの程度子どもの側において確認しているか調査したところ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット、インターネット接続テレビに関しては約半数の保護者が「子どものそばにいて、常に確認している」「子どものそばにいて確認していることが多い」と回答している。

一方、携帯電話、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機では「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」が7割以上となっており、子供のそばで確認しているのは2割程度となっている。

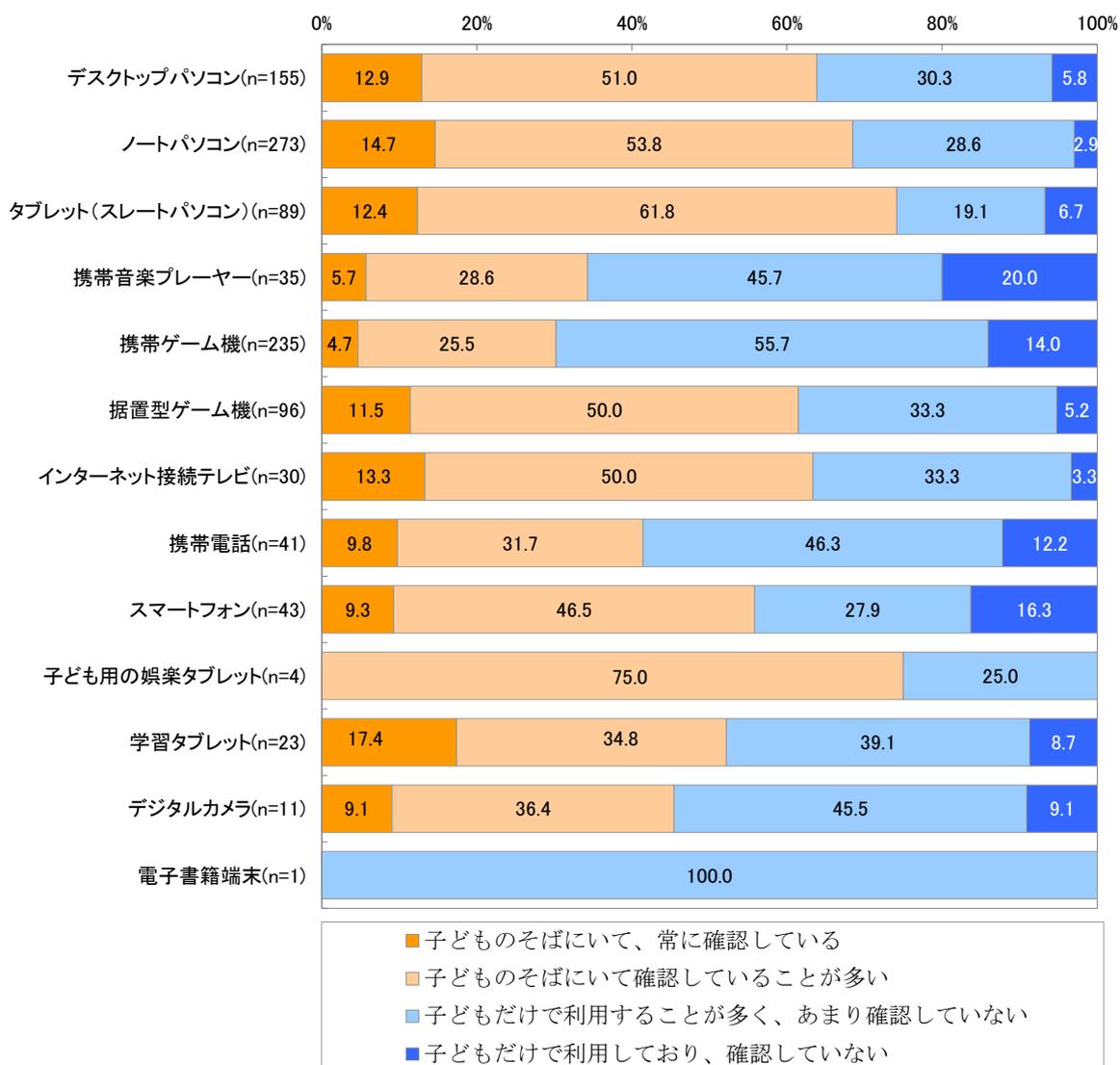
図表3-3-1 保護者による青少年のインターネット利用に関する確認状況



## (1) 小学生のインターネット利用に関する確認状況

「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答比率が5割以下の機器は、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ、スマートフォン、子供用の娯楽タブレット、学習タブレットであった。

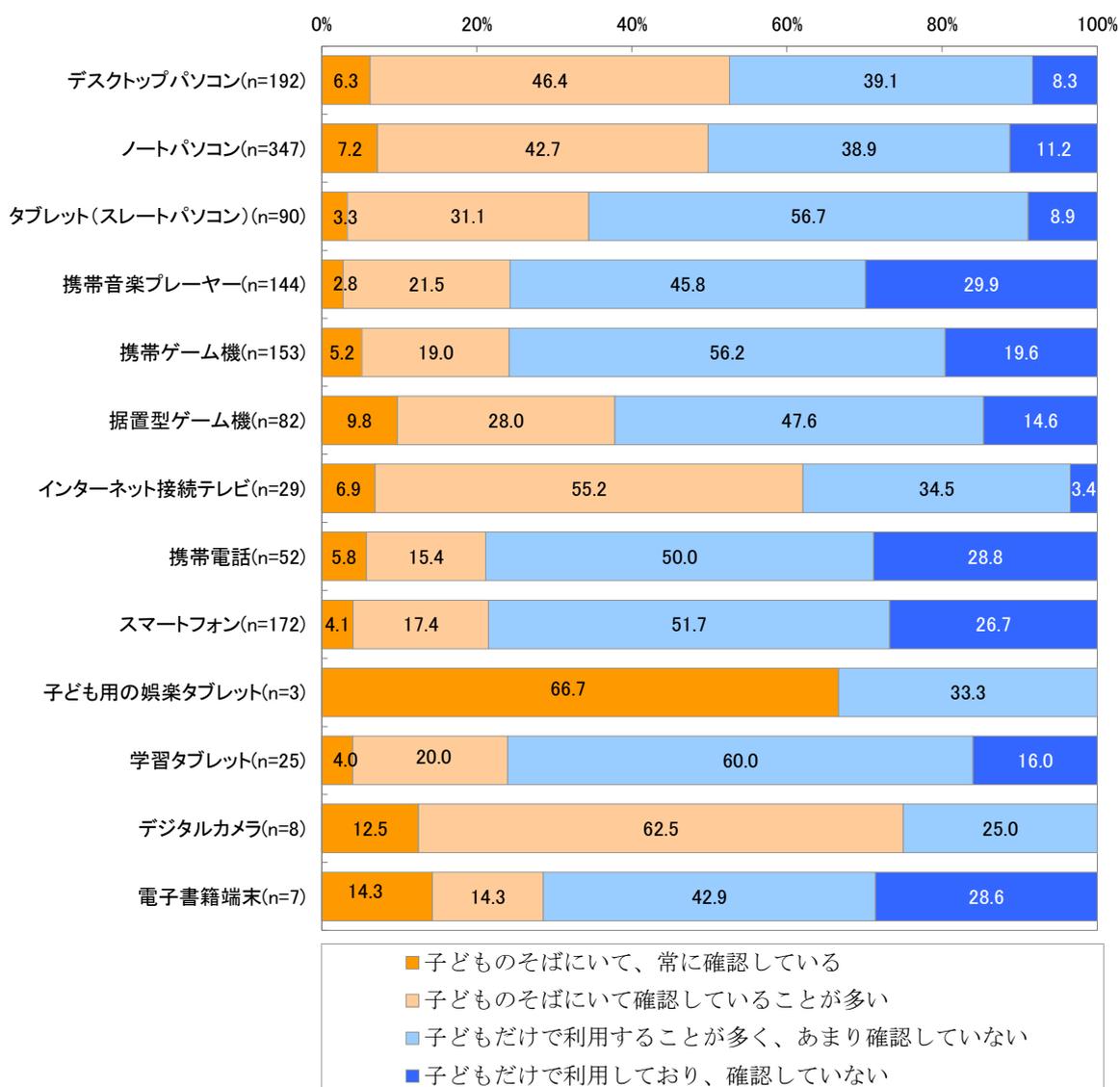
図表3-3-1(1) 保護者による小学生のインターネット利用に関する確認状況



## (2) 中学生のインターネット利用に関する確認状況

「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答比率が5割以下の機器は、デスクトップパソコンやインターネット接続テレビ、子供用の娯楽タブレット、デジタルカメラであった。小学生と異なり対象が携帯可能な機器だけではなくなっている。

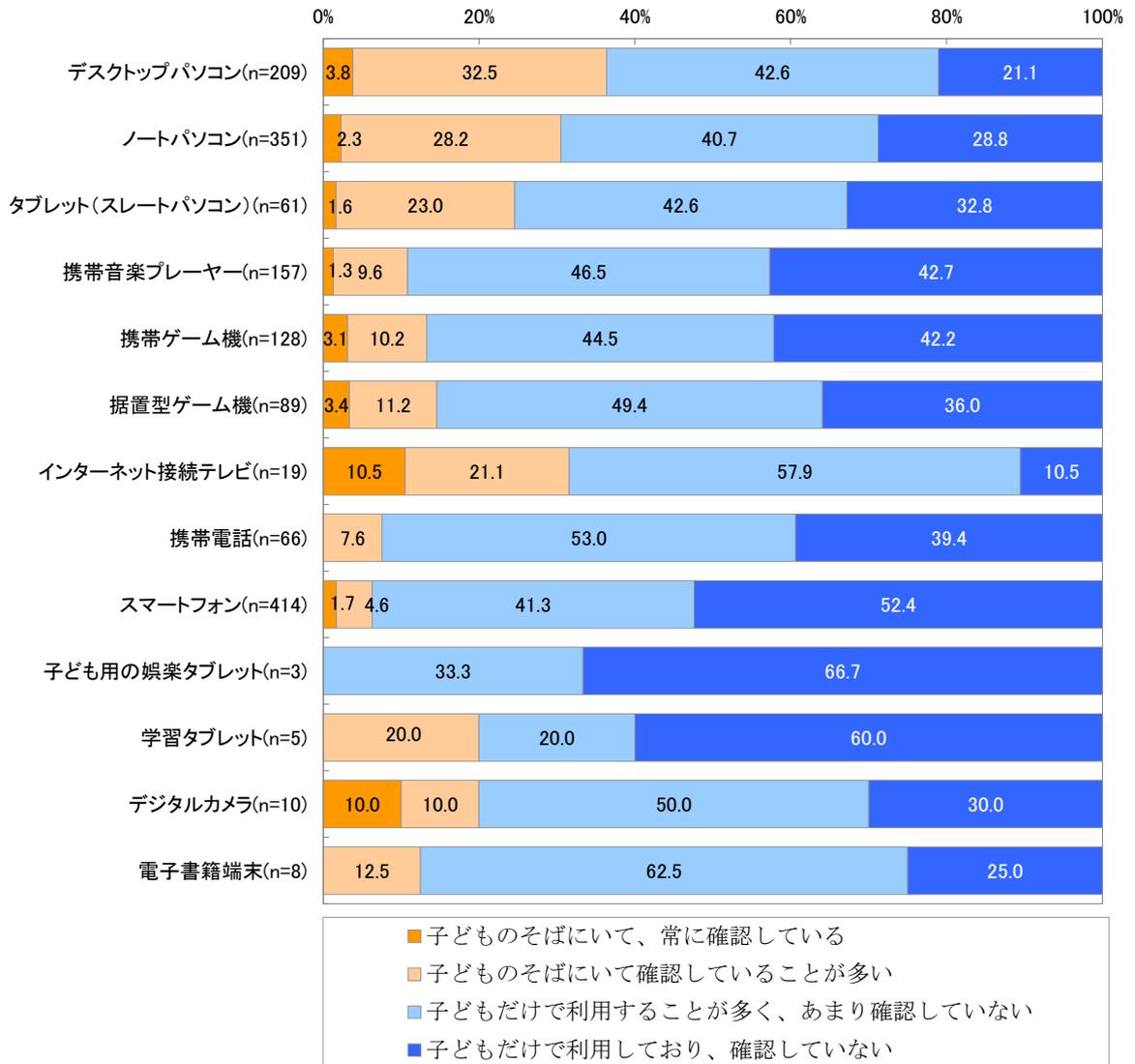
図表3-3-1(2) 保護者による中学生のインターネット利用に関する確認状況



### (3) 高校生のインターネット利用に関する確認状況

全ての機器にて「子供だけで利用しており、確認していない」、「子供だけで利用することが多く、あまり確認していない」の回答比率が5割以下だったスマートフォンや携帯電話、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、携帯音楽プレーヤーにおける回答比率が高かった。

図表3-3-1(3) 保護者による高校生のインターネット利用に関する確認状況



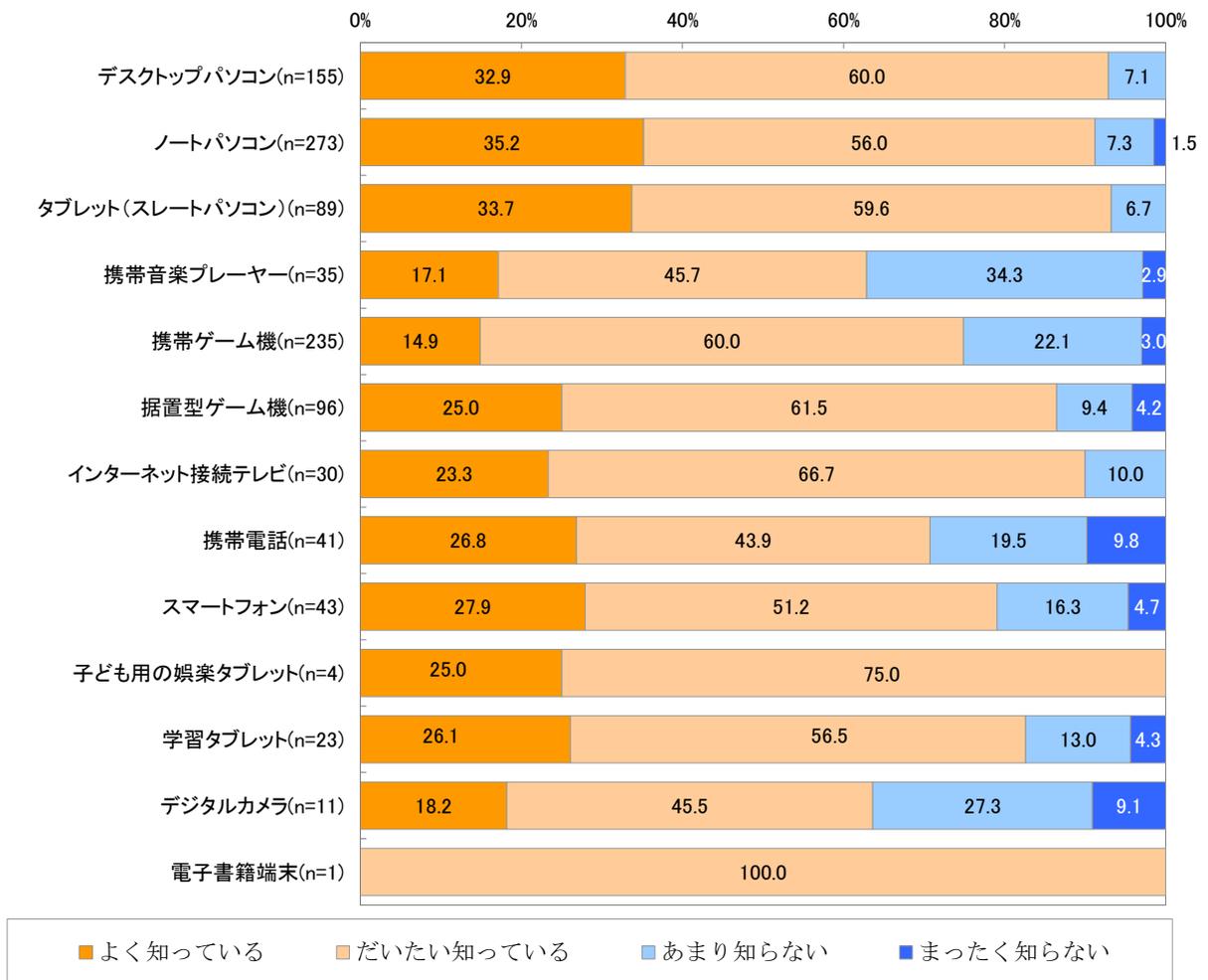
### 3-3-2 青少年のインターネット利用状況の把握状況

青少年がどのようなインターネットのサイトを使っているのか、どのくらいの時間インターネットを使っているのかなどについて、保護者がどの程度把握しているか調査したところ、青少年が小学生であるか、中学生であるか、高校生であるのかによって違いがみられた。

#### (1) 小学生のインターネット利用状況の把握状況

小学生のインターネット利用状況について「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、ほとんどの機器で8割を超えている。ただし、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、携帯電話、スマートフォン、デジタルカメラでは8割を切っている。

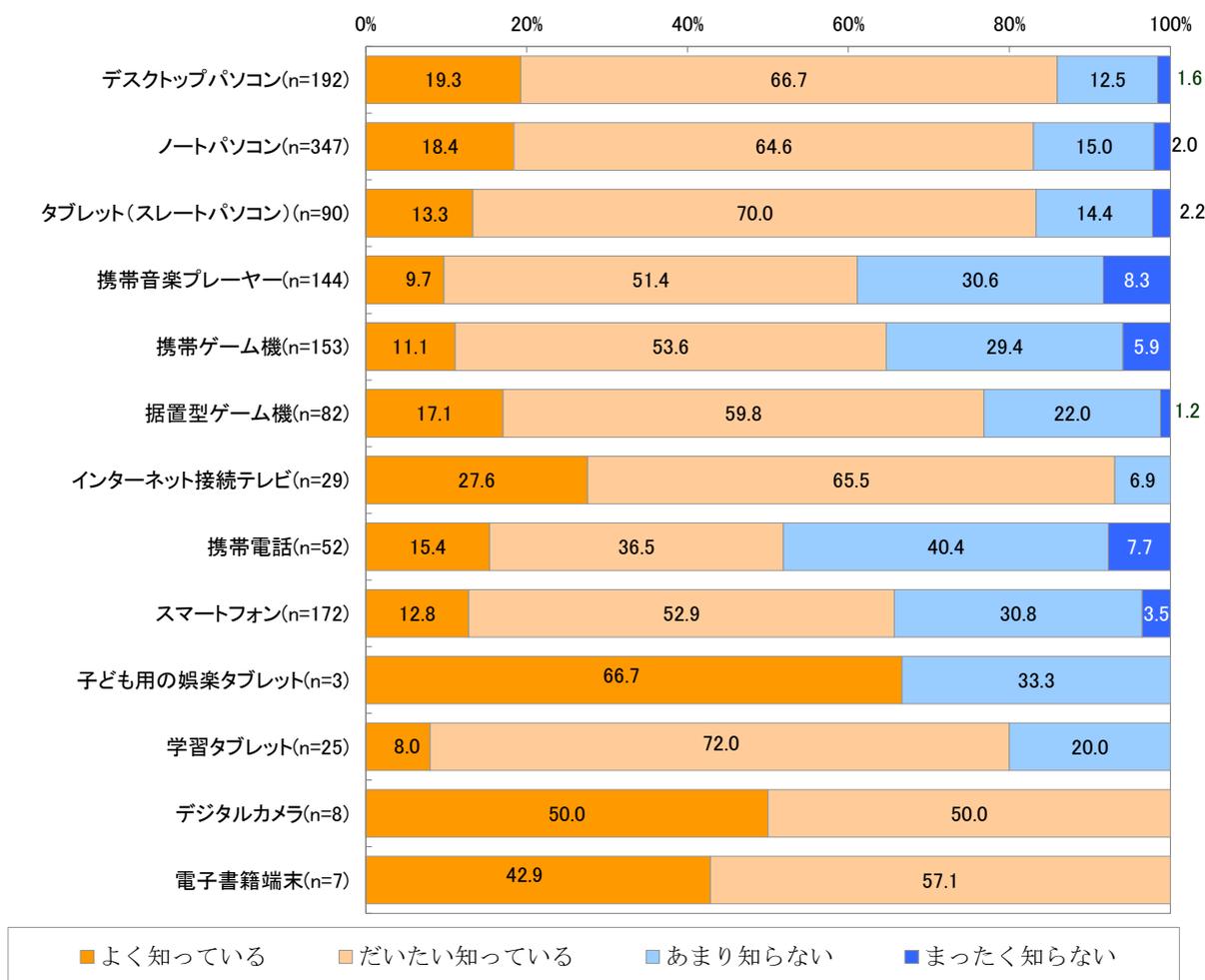
図表3-3-2(1) 小学生のインターネット利用に関する把握状況



## (2) 中学生のインターネット利用状況の把握状況

中学生のインターネット利用状況について「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、小学生と比較すると少なくなっている。特に携帯型の機器での比率が低くなっており、携帯音楽プレーヤーが61.1%、携帯電話が51.9%、となっている。

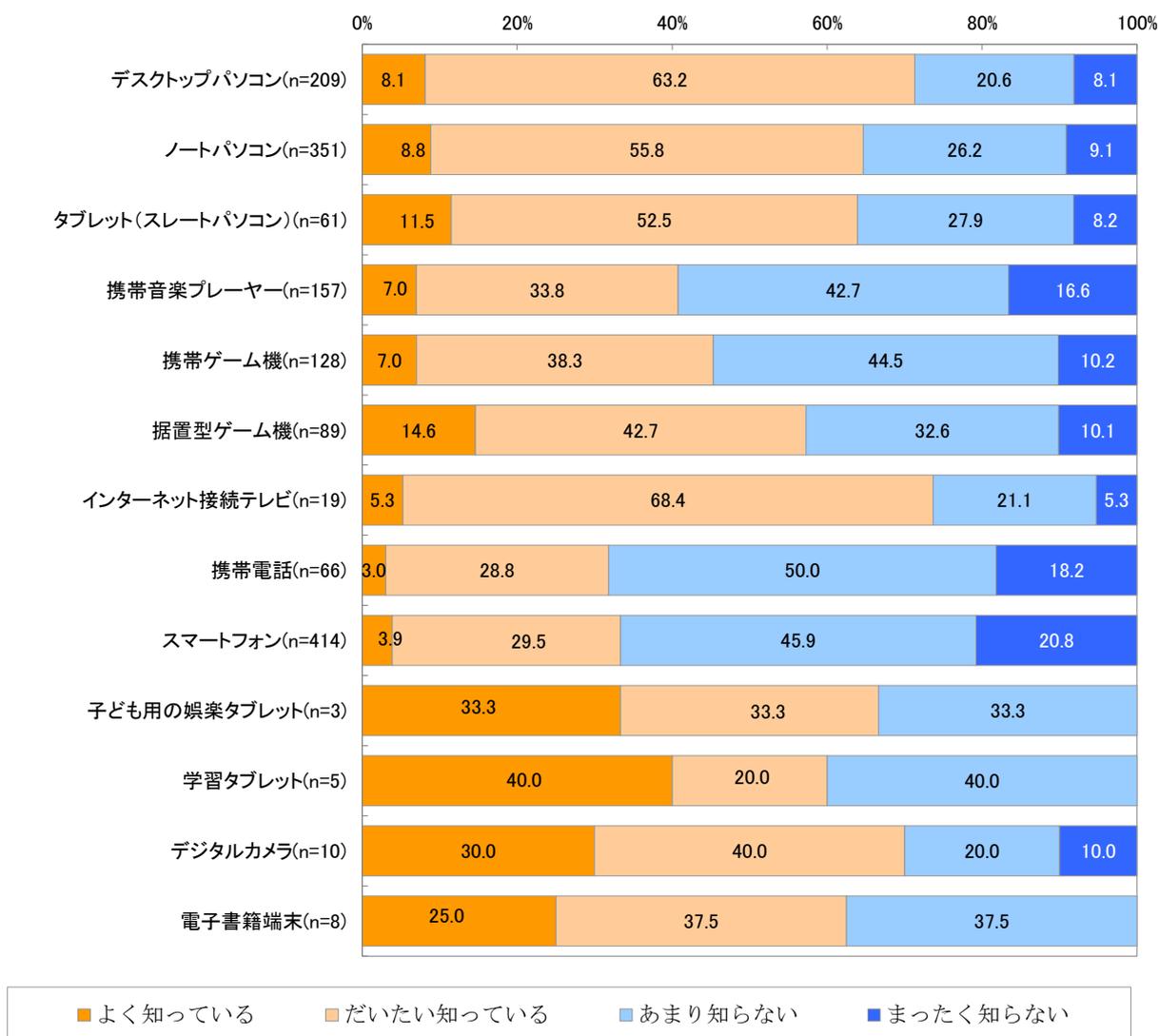
図表3-3-2(2) 中学生のインターネット利用に関する把握状況



### (3) 高校生のインターネット利用状況の把握状況

高校生のインターネット利用状況について「よく知っている」「だいたい知っている」と回答している保護者の比率は、小中学生と比較すると少なくなっている。「まったく知らない」「あまり知らない」とする回答もスマートフォン、携帯電話では6割以上を占めている。

図表3-3-2(3) 高校生のインターネット利用に関する把握状況



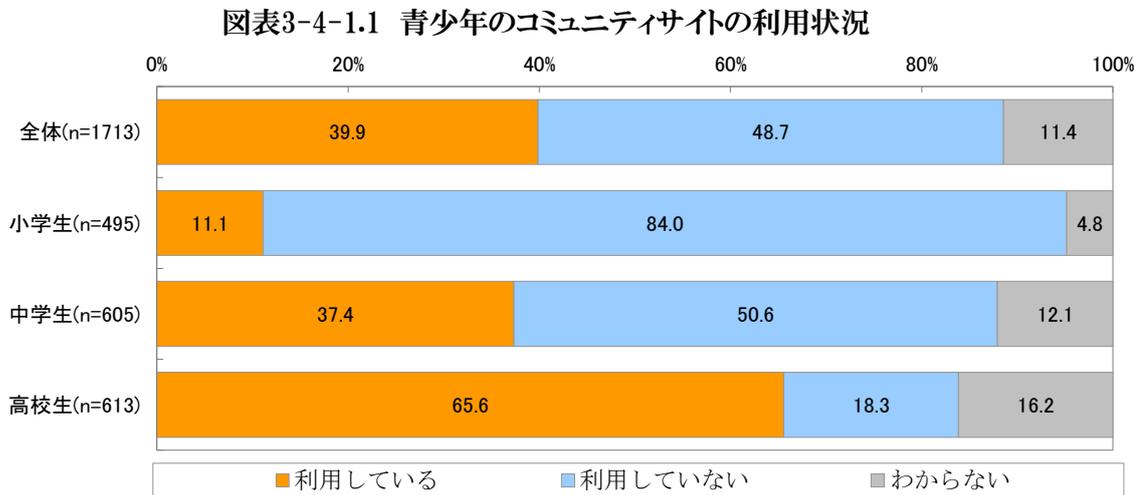
### 3-4 青少年のコミュニティサイトの利用状況

#### 3-4-1 コミュニティサイトの利用状況

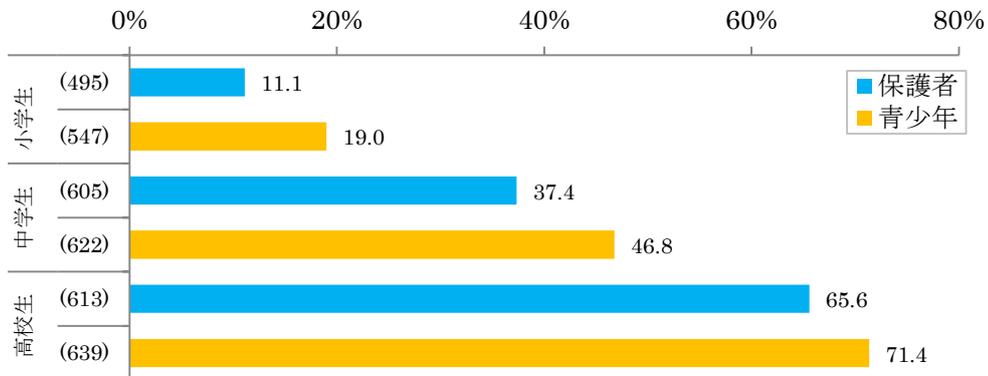
コミュニティサイトの利用に関して、「利用している」と回答した青少年の比率は、全体で 39.9% (31.9%) であった。利用率は昨年度よりも 8% 増加している。年齢が上がるに従って利用者も増加する結果となったが、小学生 11.1%(11.9%)、中学生 37.4%(32.1%)、高校生 65.6%(47.5%) と差が大きく、それぞれ 25% 以上の開きが見られた。

青少年のコミュニティサイトの利用と保護者による把握状況との違いについては、小学生では 7.9%(0.2) であるのに対し、中学生では 9.4%(2.9%)、高校生では 5.8%(20.6%) となっており、高校生で把握状況の差は縮まったが、中学生のコミュニティサイトの利用状況の把握が難しくなっている様子が見受けられた。

※ () 内は昨年度の調査値



図表3-4-1.2 インターネットを利用している人のうちの青少年のコミュニティサイトの利用状況と保護者の把握状況の比較

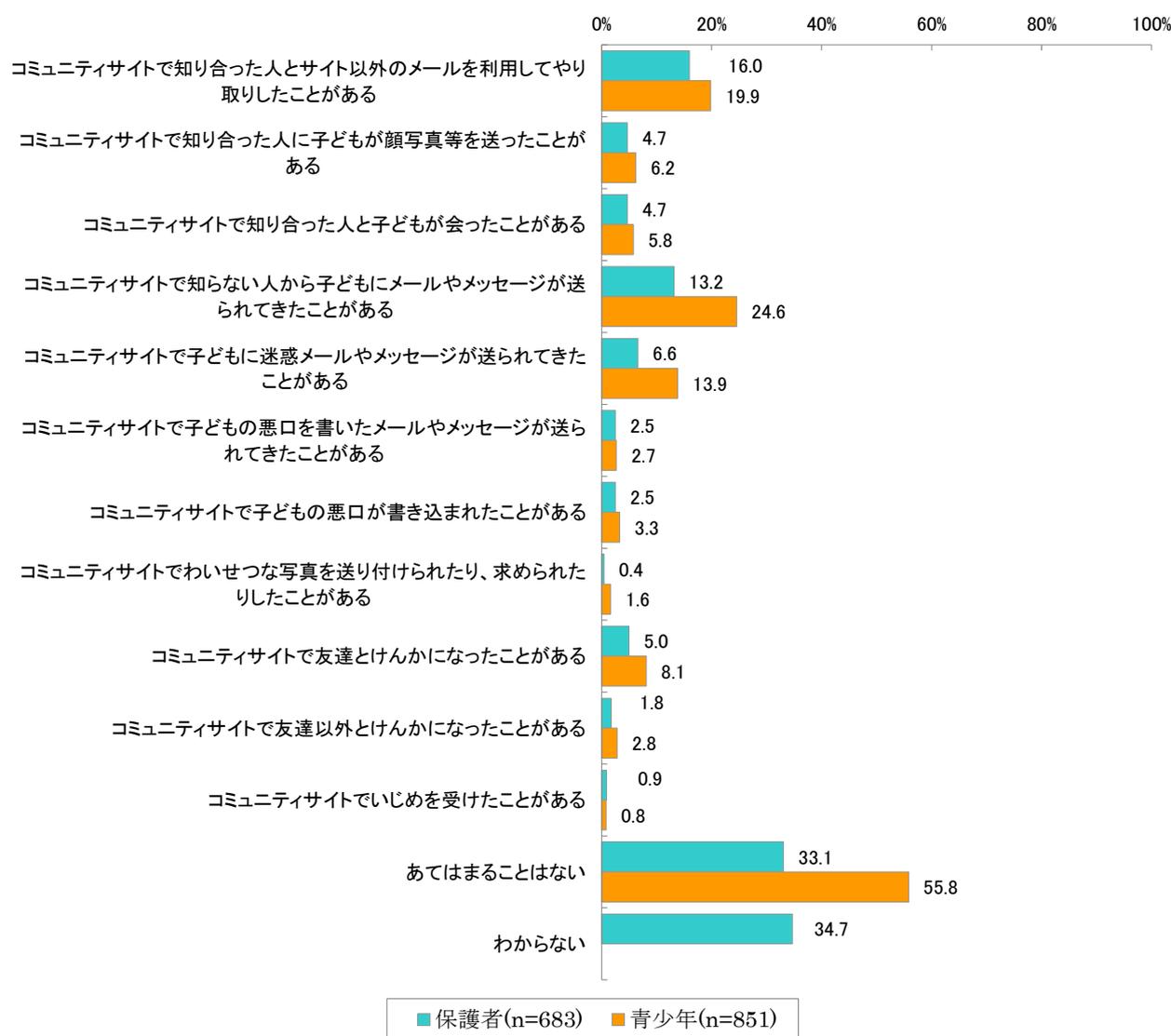


(注) 集計対象は青少年がコミュニティサイトを利用していると回答した保護者、コミュニティサイトを利用していると回答した青少年

### 3-4-2 コミュニティサイトを通じたトラブル経験等

コミュニティサイトを通じたトラブル経験について、保護者と青少年との回答状況を比較すると、コミュニティサイトで知り合った人とのメールのやり取り、知らない人からのメール、迷惑メール等に関して、一部把握しきれていない状況がわかる。特に、知らない人からメールが送られてきたことについての保護者の認識割合は、青少年の回答の約半分の数値となっている。

図表3-4-2 青少年のコミュニティサイトを通じたトラブル経験の比較



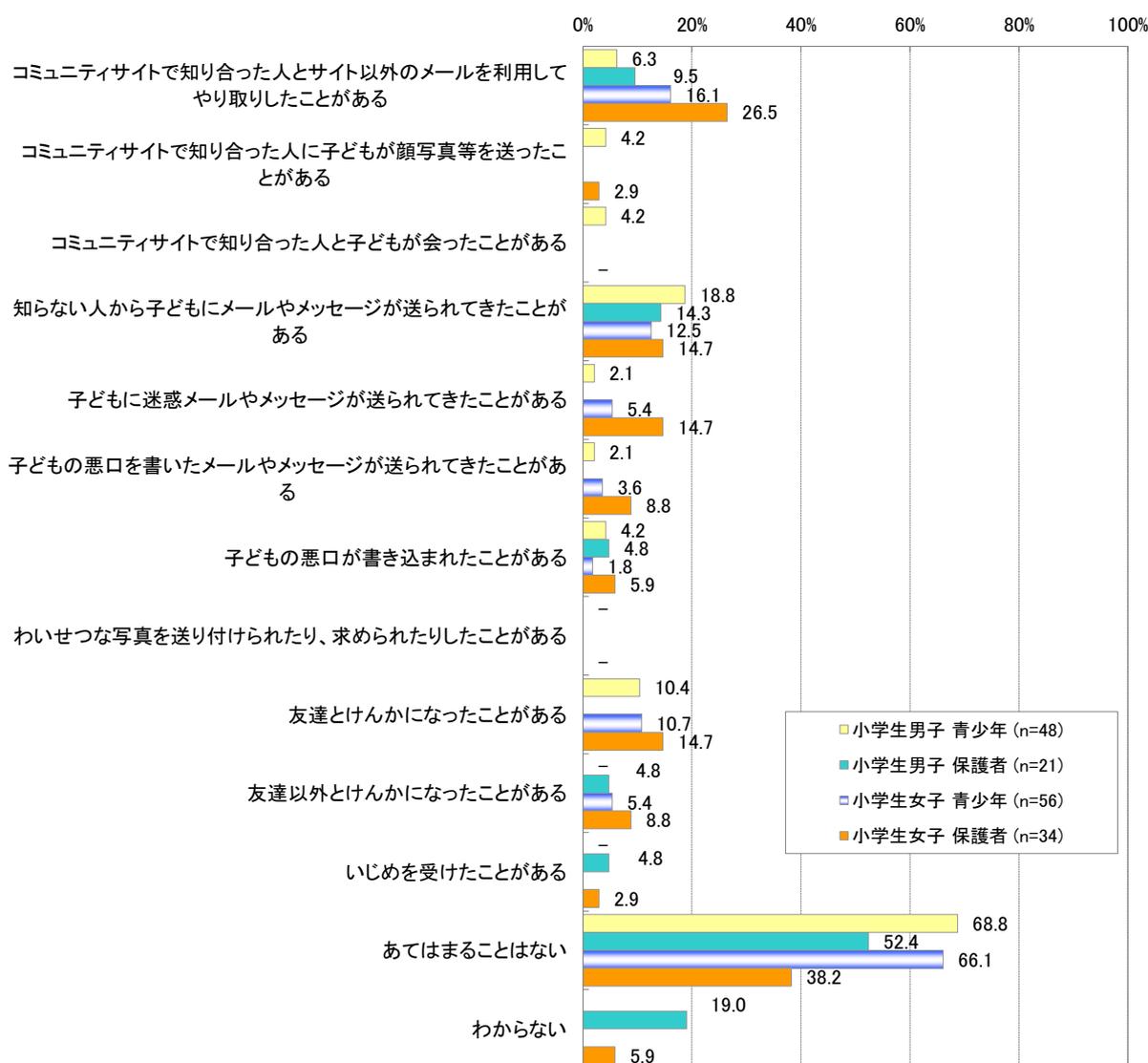
(注) 青少年の集計対象は、コミュニティサイトを青少年が利用していると回答した青少年。保護者の集計対象は、コミュニティサイトを青少年が利用していると回答した保護者。

## (1) 小学生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

小学生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関しては、保護者と青少年の回答が比較的一致しているが、コミュニティサイトで友達とけんかになったことがある件については、保護者が把握していない部分がある。

また、女子の保護者では「わからない」と回答する比率が 5.9%と、男子の保護者の 19.0%と比べて低かった。

図表 3-4-2(1) 小学生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と小学生の回答の比較

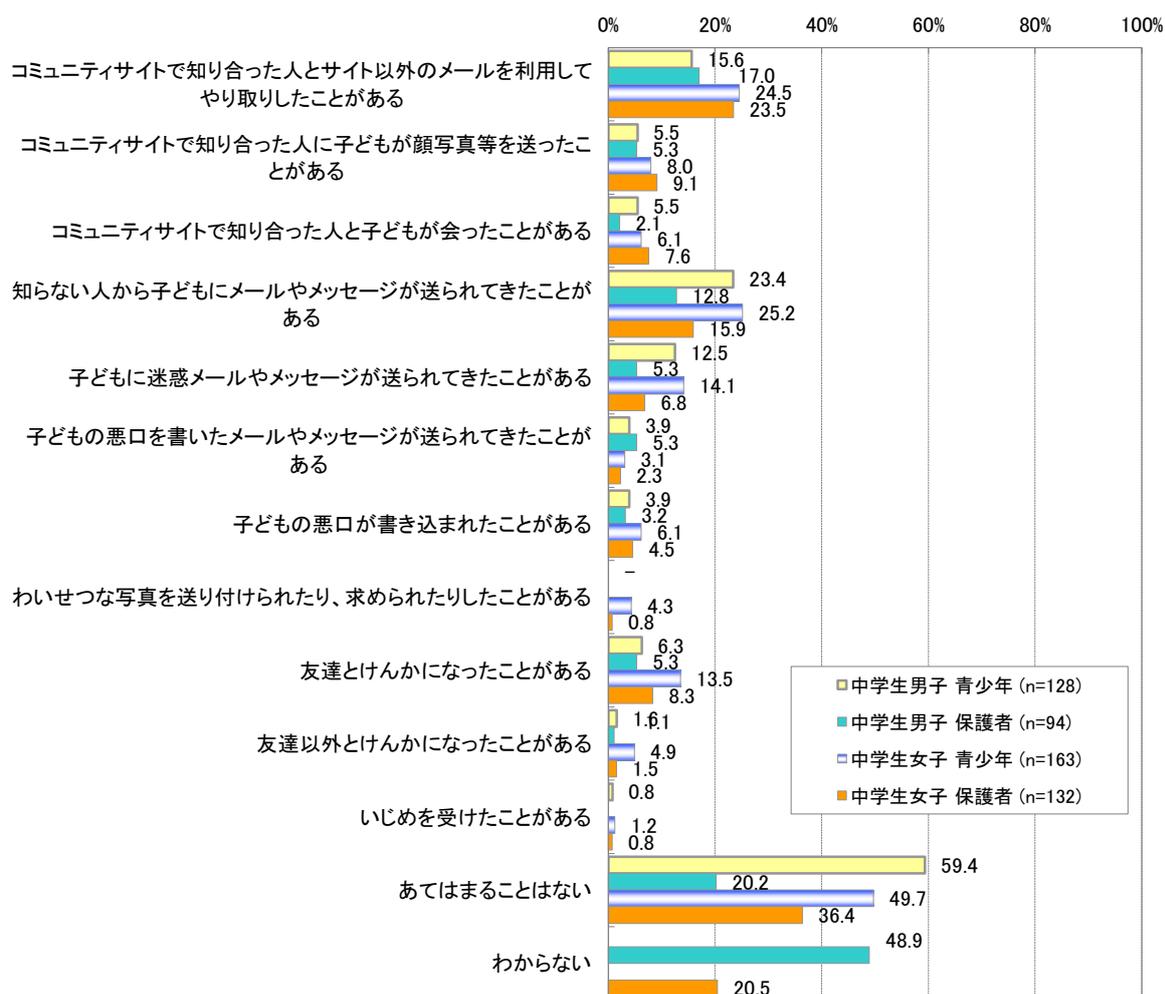


## (2) 中学生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

中学生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関して、保護者が把握しきれていない状況がうかがえる。特にコミュニティサイトで知らない人からメールやメッセージが送られてきたことがある件については青少年の利用状況と保護者の把握状況では違いがある。

またトラブル経験等の有無に関して保護者において「わからない」とする回答が、小学生よりも増えており、青少年による「あてはまることはない」が5割前後になっていた。

図表 3-4-2(2) 中学生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と中学生の回答の比較

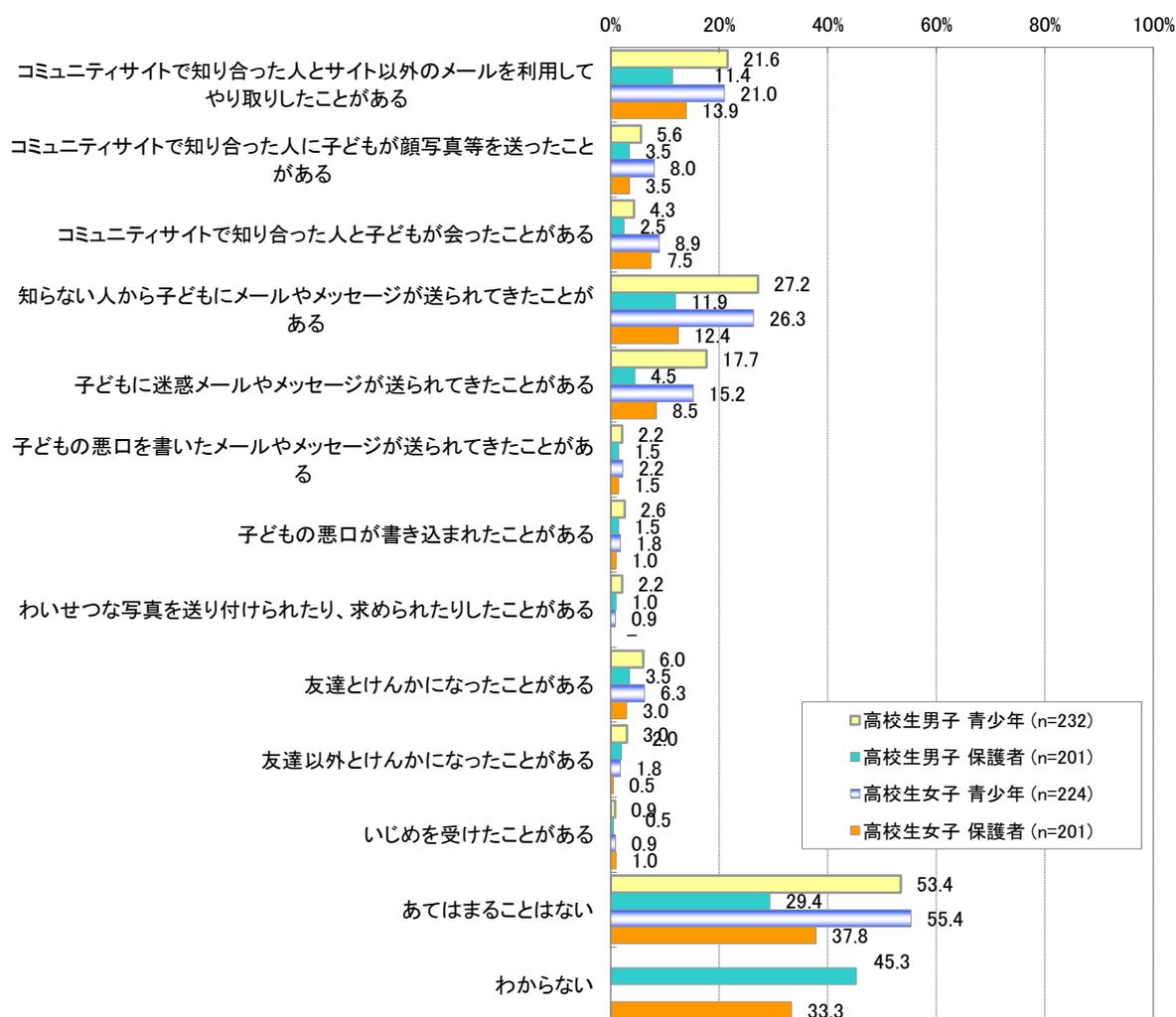


### (3) 高校生のコミュニティサイトを通じたトラブル経験等

高校生がコミュニティサイトを通じてトラブル等を経験した状況に関して、3割以上の保護者が「わからない」と回答していることからわかるように、小中学生と比較して高校生の状況に関する保護者の認識割合は低くなっている。

悪口のメール、書込に関しては、保護者と青少年との間に大きな差はないが、コミュニティサイトで知り合った人とのメール、知らない人からのメール、迷惑メール等は、男女ともに保護者がすべてを把握しきれしていない状況がわかる。

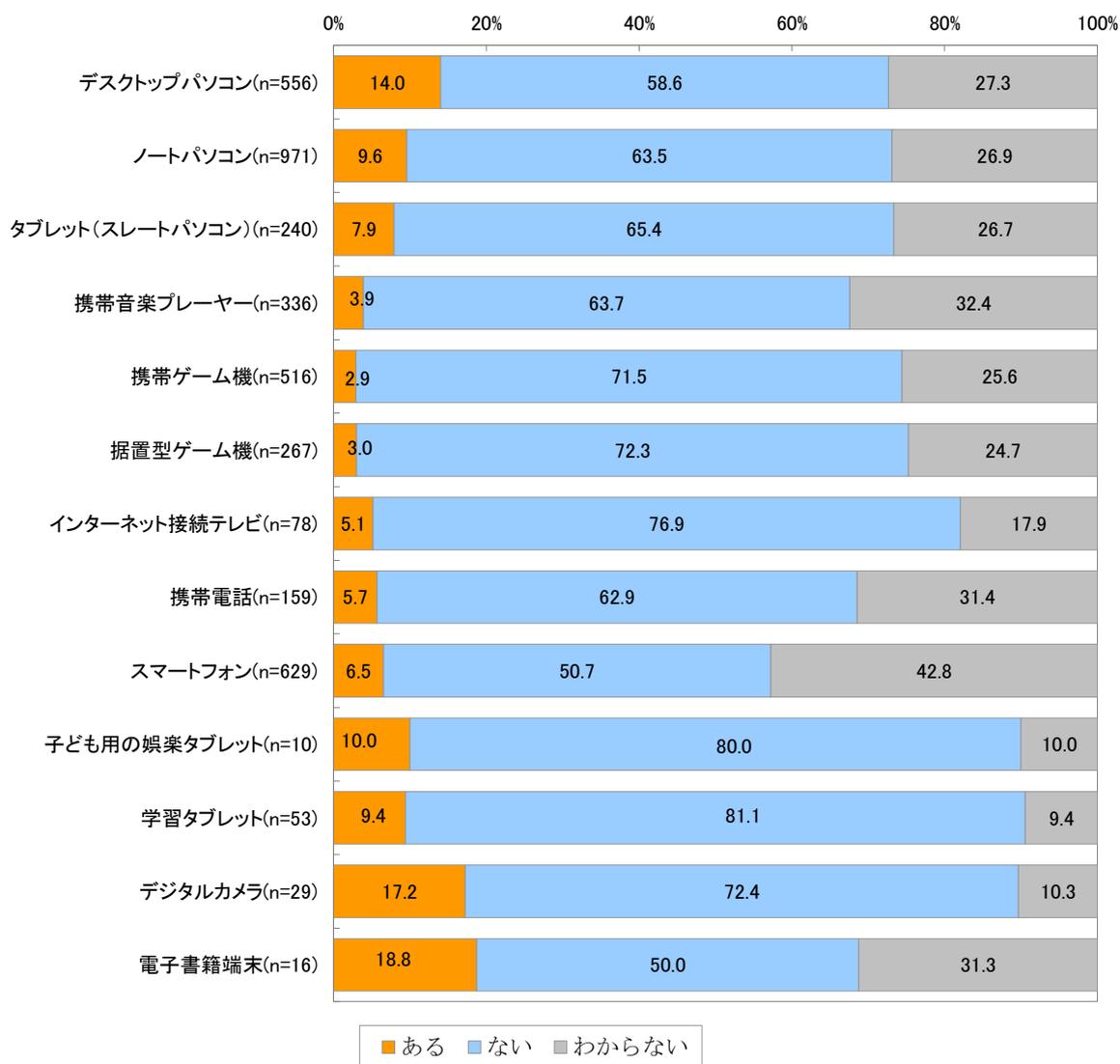
図表 3-4-2(3) 高校生のコミュニティサイトを通じたトラブル等に関する保護者と高校生の回答の比較



### 3-5 青少年の違法・有害情報への遭遇状況

青少年がインターネットを利用している時に、わいせつな画像や気持ちの悪い画像、自殺や家出、麻薬等の情報等を、思いがけず見てしまうといったトラブルを経験した状況について、保護者に調査したところ、「わからない」という回答が2~4割となっている。

図表3-5 青少年の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者の回答

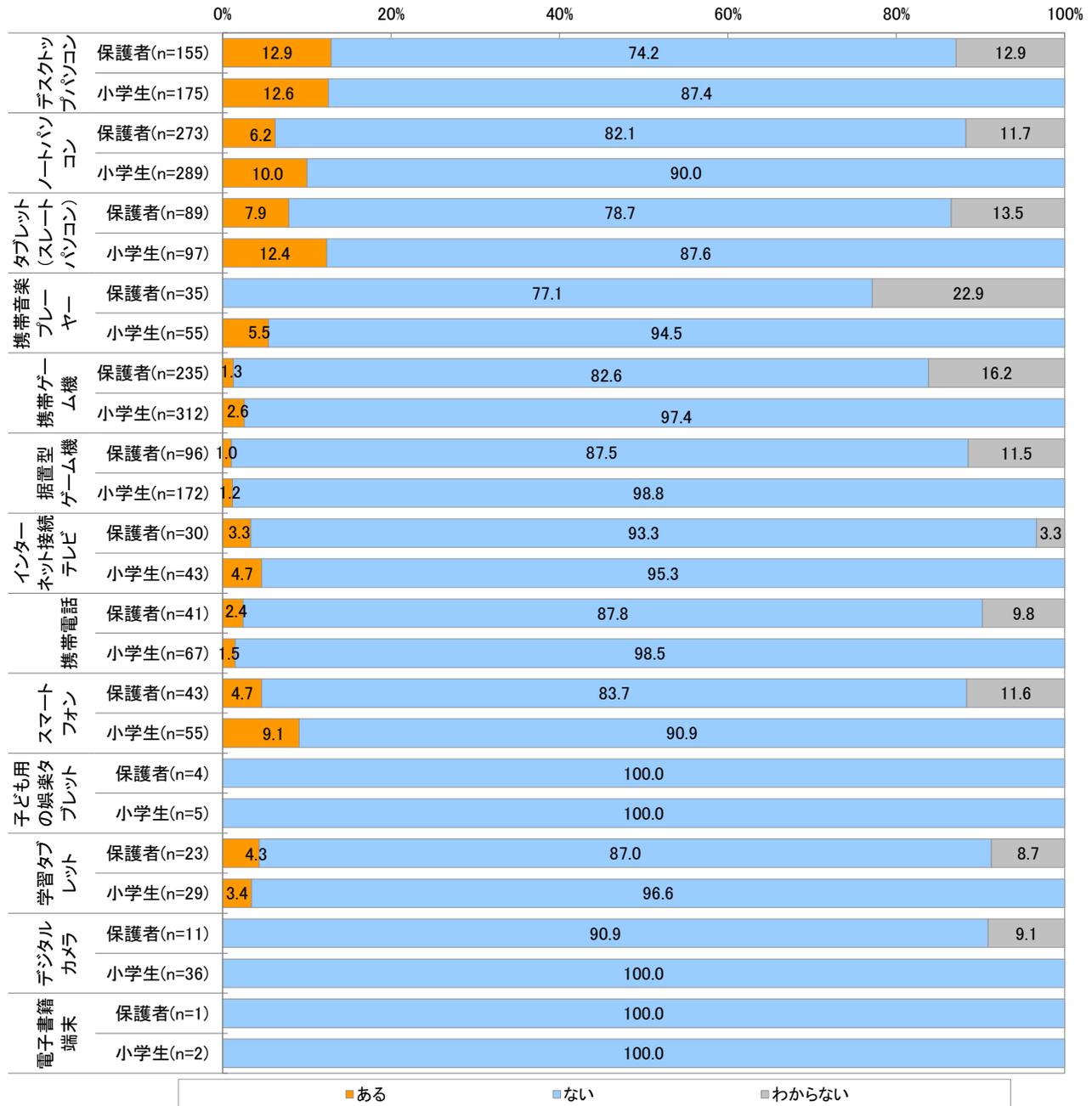


(注) 集計対象は、各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者

## (1) 小学生の違法・有害情報への遭遇状況

小学生の違法・有害情報に対する遭遇状況に関する回答は、概ね保護者と小学生で同じレベルになっている。

図表3-5(1) 小学生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と小学生の回答の比較

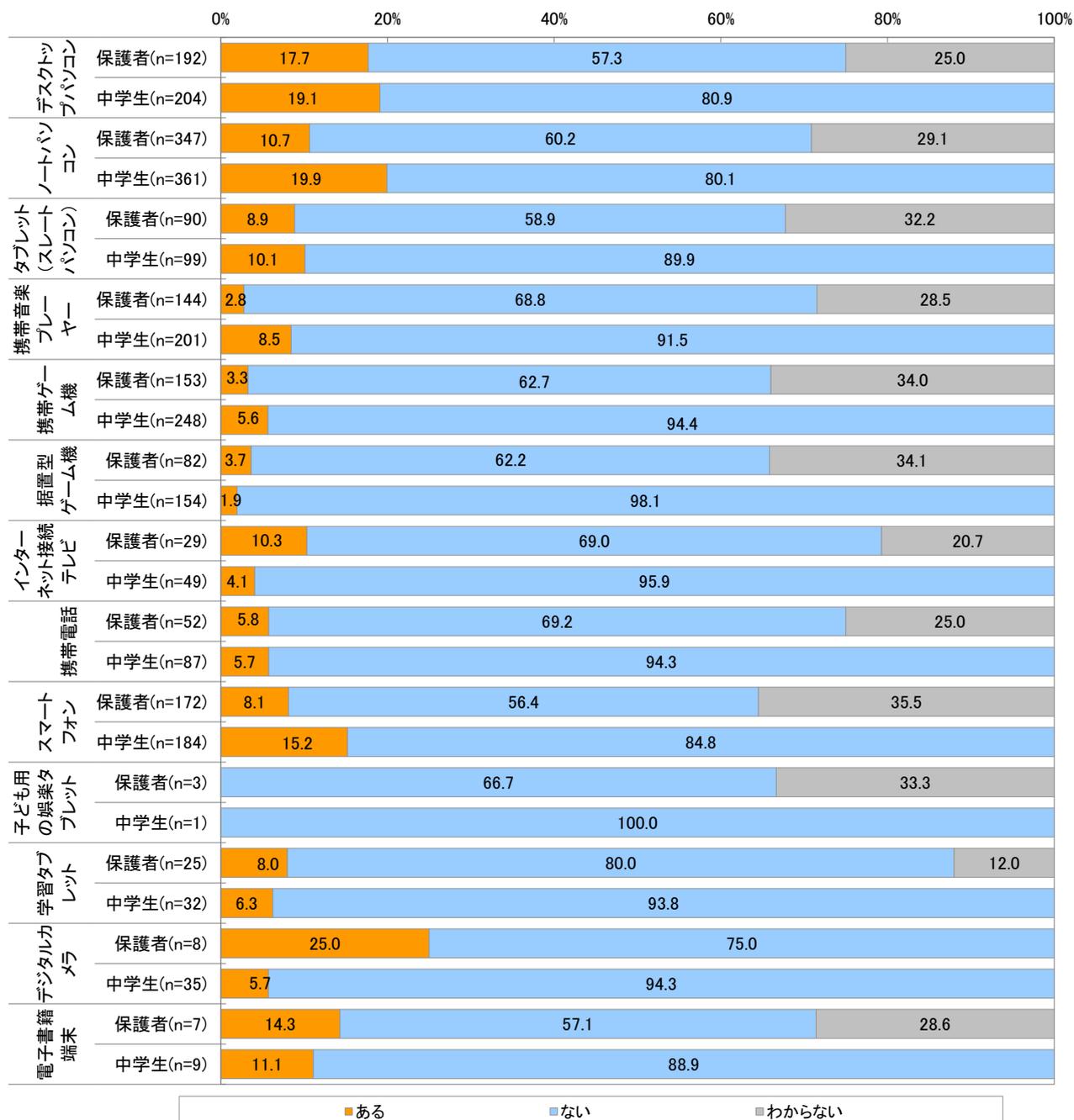


(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

## (2) 中学生の違法・有害情報への遭遇状況

中学生の違法・有害情報に対する遭遇状況に関する回答では、特にノートパソコン、スマートフォン、インターネット接続テレビ、デジタルカメラで差が大きくなっている。

図表3-5(2) 中学生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と中学生の回答の比較

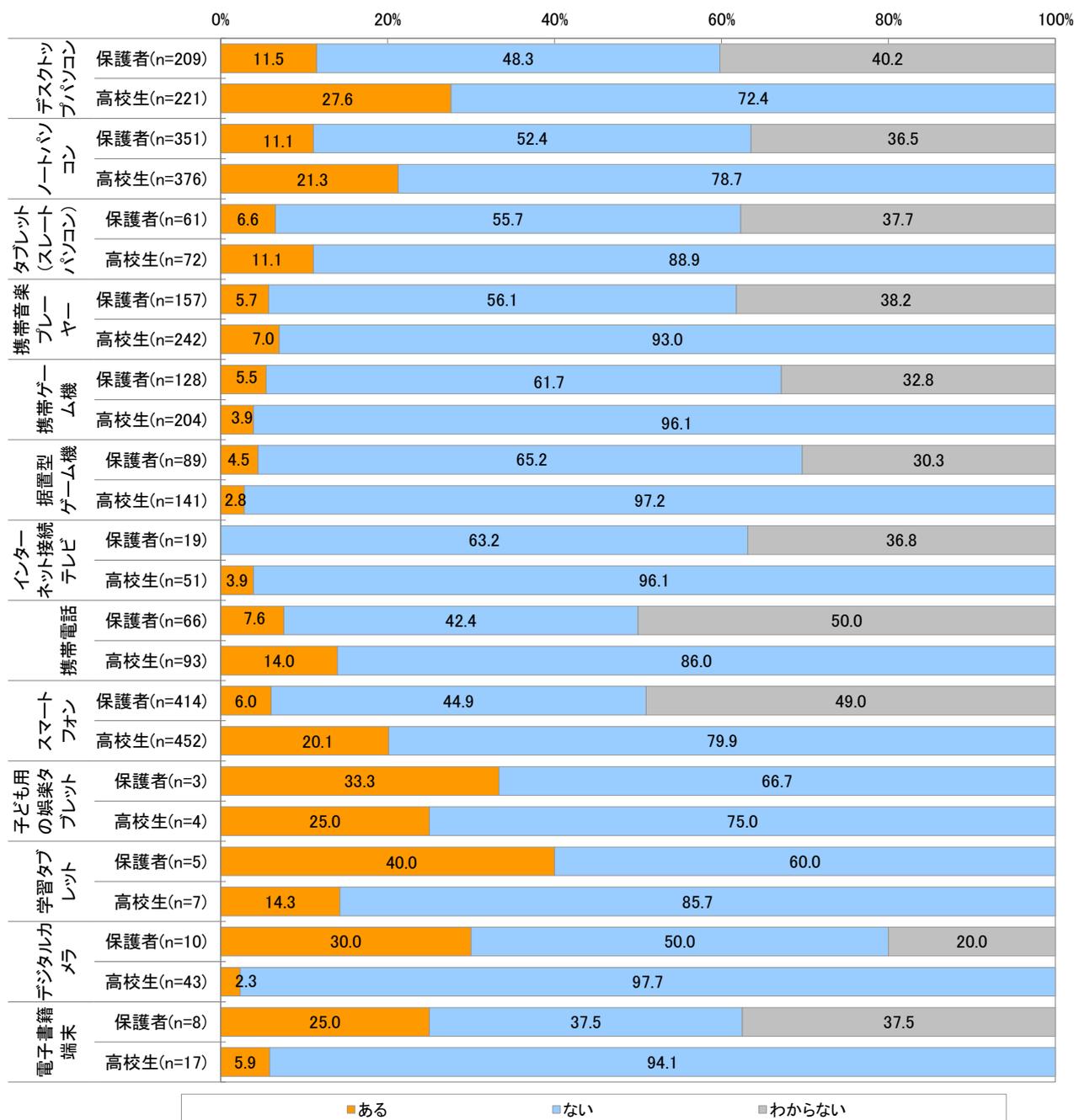


(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

### (3) 高校生の違法・有害情報への遭遇状況

高校生では「わからない」とする比率が高くなっている。デスクトップパソコン、携帯電話、スマートフォンでは、4割以上の保護者が「わからない」と回答している。保護者と高校生の回答状況をみると、デスクトップパソコン、ノートパソコン、学習タブレット、デジタルカメラ、電子書籍端末で差が大きくなっている。

図表3-5(3) 高校生の違法・有害情報への遭遇状況に関する保護者と高校生の回答の比較



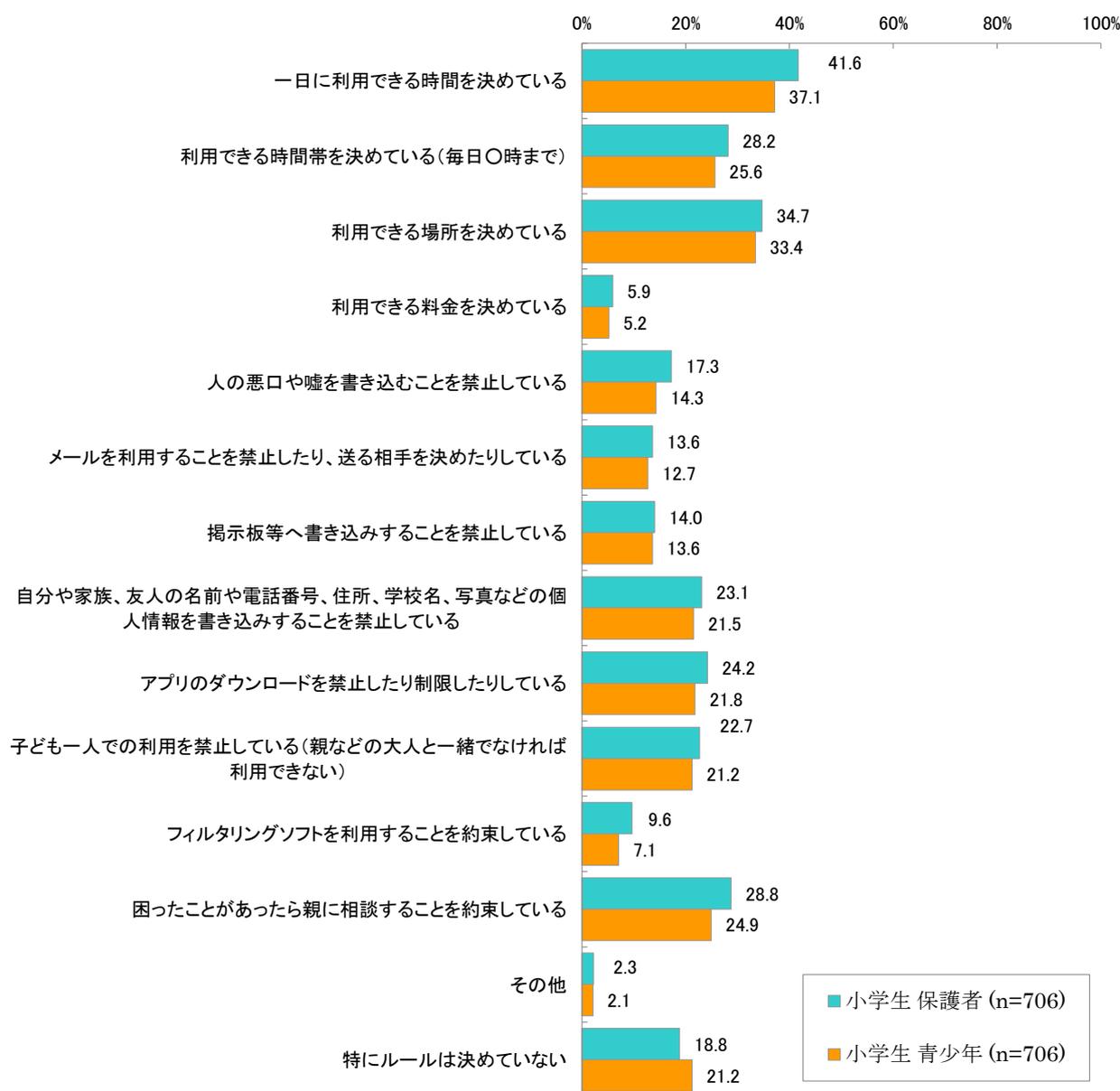
(注) 集計対象は各機器で青少年がインターネットを利用していると回答した保護者、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年

### 3-6 インターネットを利用する際のルール

#### (1) 小学生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

小学生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年の数値とでは、全体的にあまり差はないが、若干保護者の数値の方が青少年の数値よりも多くなっており、保護者がルールとして設定していると考えていても、青少年がそれを認識していない場合があることを示唆している。「一日に利用できる時間」で、保護者と青少年との間には 4.5%の差があった。

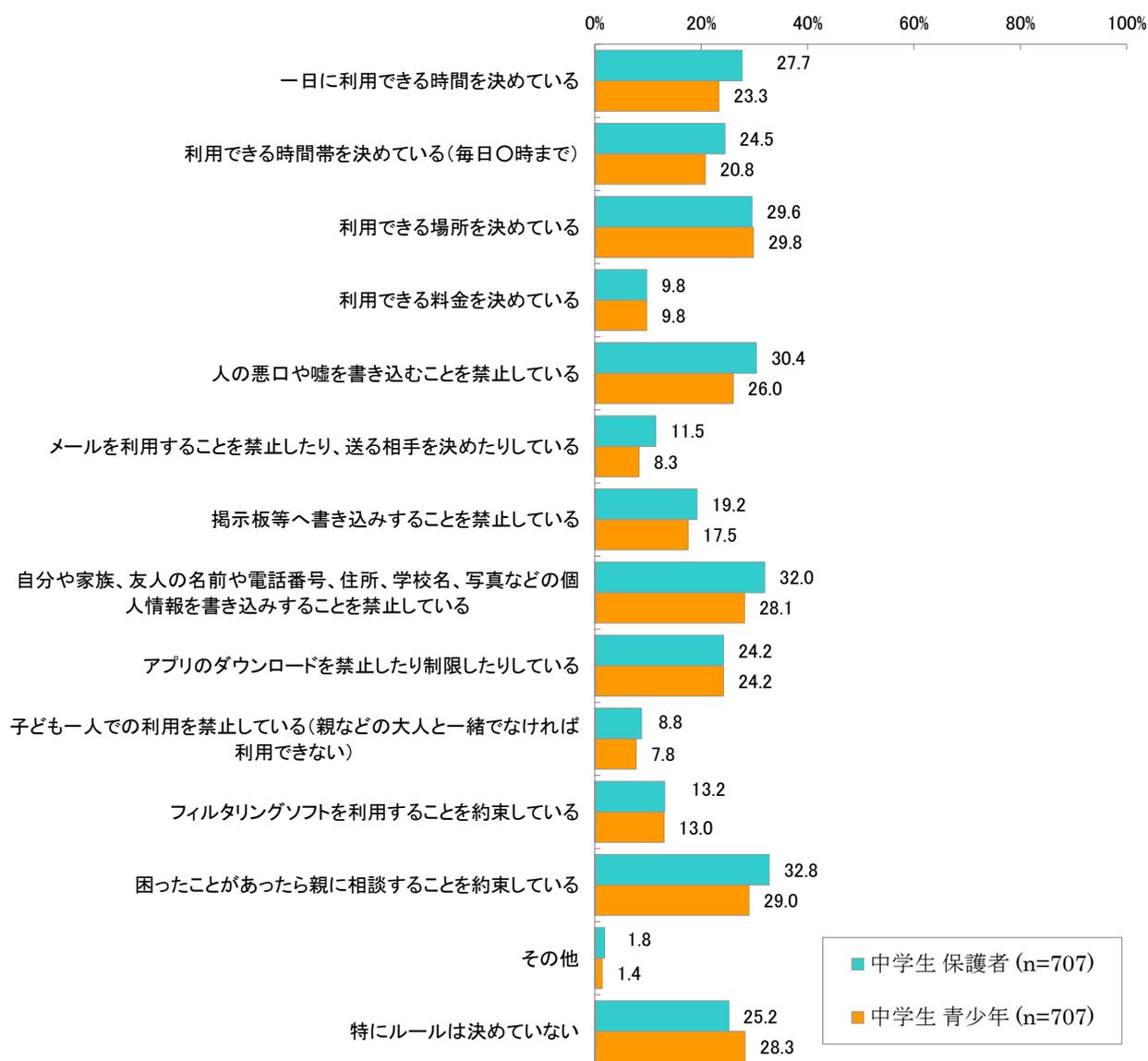
図表3-6(1) 小学生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況



## (2) 中学生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

中学生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年の数値とでは、全体的にあまり差はないが、「一日に利用できる時間」、「人の悪口や嘘を書き込むこと」で4.4%差が出ている。

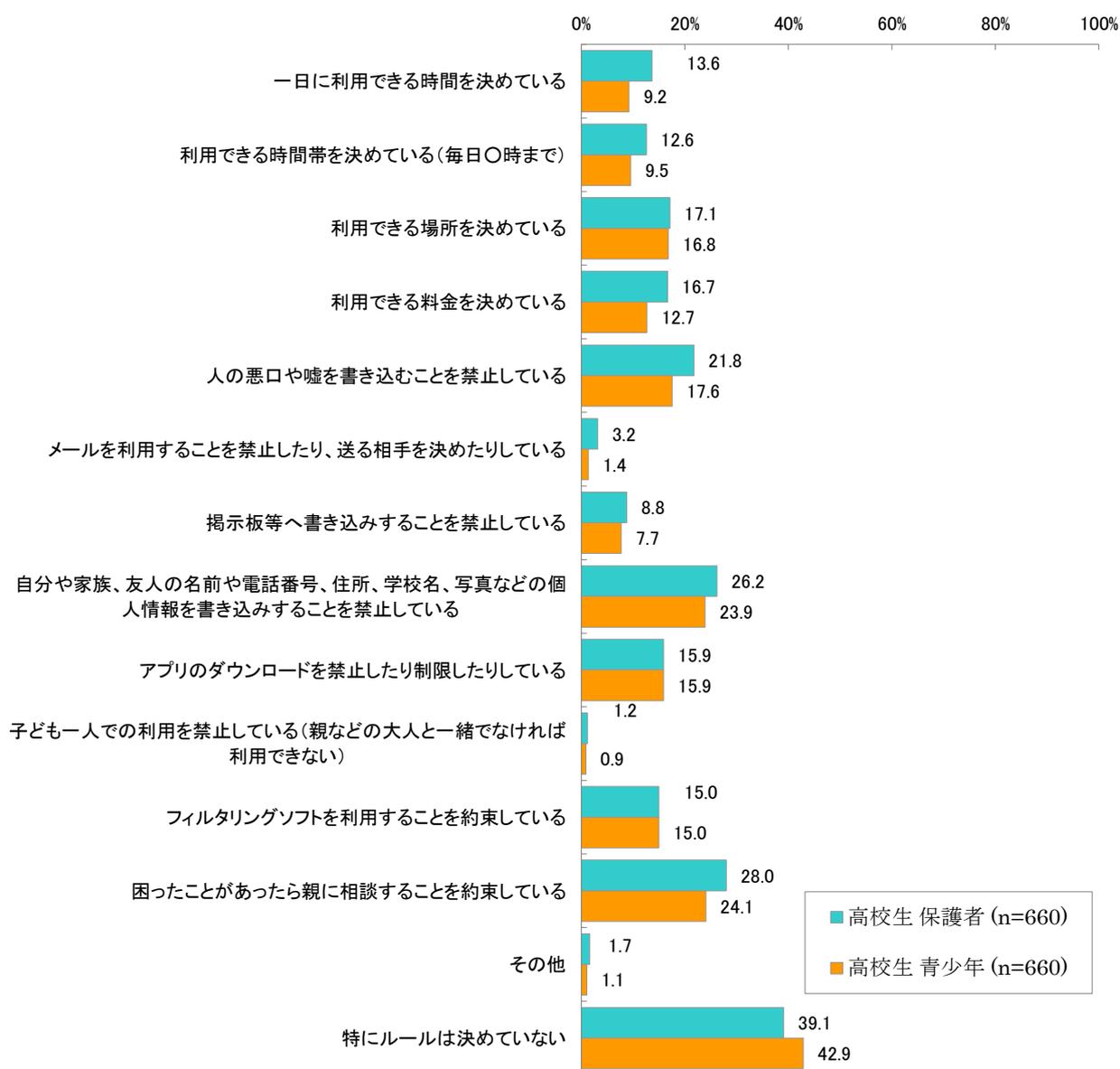
図表3-6(2) 中学生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況



### (3) 高校生がインターネットを利用するにあたっての家庭内のルール

高校生がインターネットを利用する際の家庭内のルールについてみると、保護者と青少年の数値とでは、全体的にあまり差はないが、「一日に利用できる時間」で4.4%差が出ている。

図表3-6(3) 高校生のインターネット利用にあたってのルールの設定状況

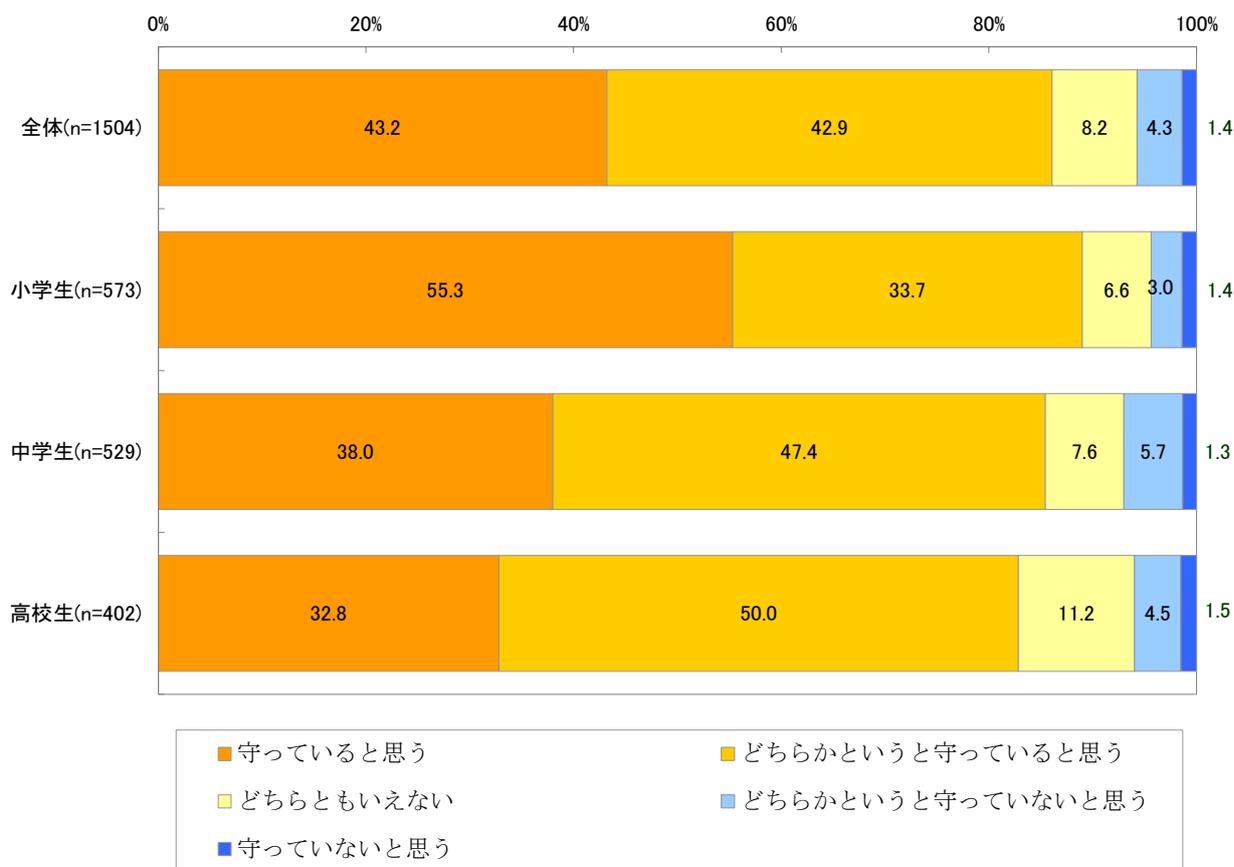


#### (4) インターネット利用に関する家庭内のルールへの遵守状況

インターネット利用に関する家庭でのルールへの遵守状況について保護者に聞いたところ、小学生が最も高い評価となっているが、「守っている」「どちらかというを守っている」を合わせた数値は、小学生で89.0%(89.7%)、中学生で85.4%(85.5%)、高校生が82.8%(83.7%)と、いずれも高くなっている。昨年度と比較しても遵守状況に大きな変化は見られない。

※()内は昨年度の調査値

図表3-6(4) インターネット利用に関する家庭内のルールへの遵守状況



(注) 集計対象は、家庭内のルールを設定している保護者

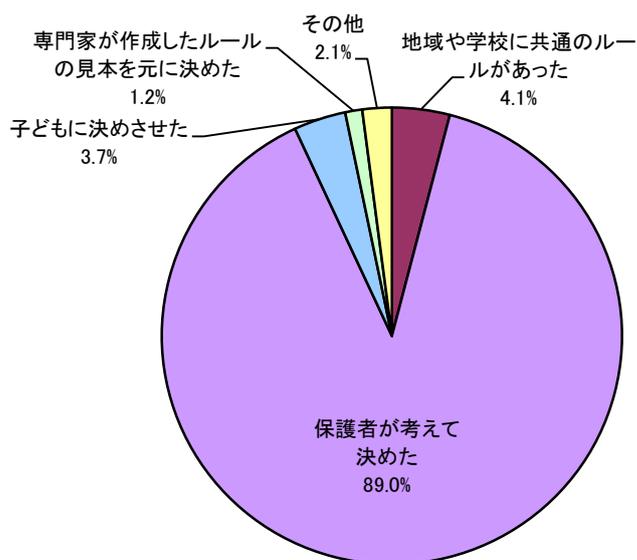
## (5) インターネット利用に関する家庭内のルールの設定方法

青少年がインターネットを使うときのルールは、「保護者が考えて決めた」が 89.0%(90.9%)となった。専門家が作成したルールの手本を元に決めたという回答が最も低く 1.2%(0.9%)だった。

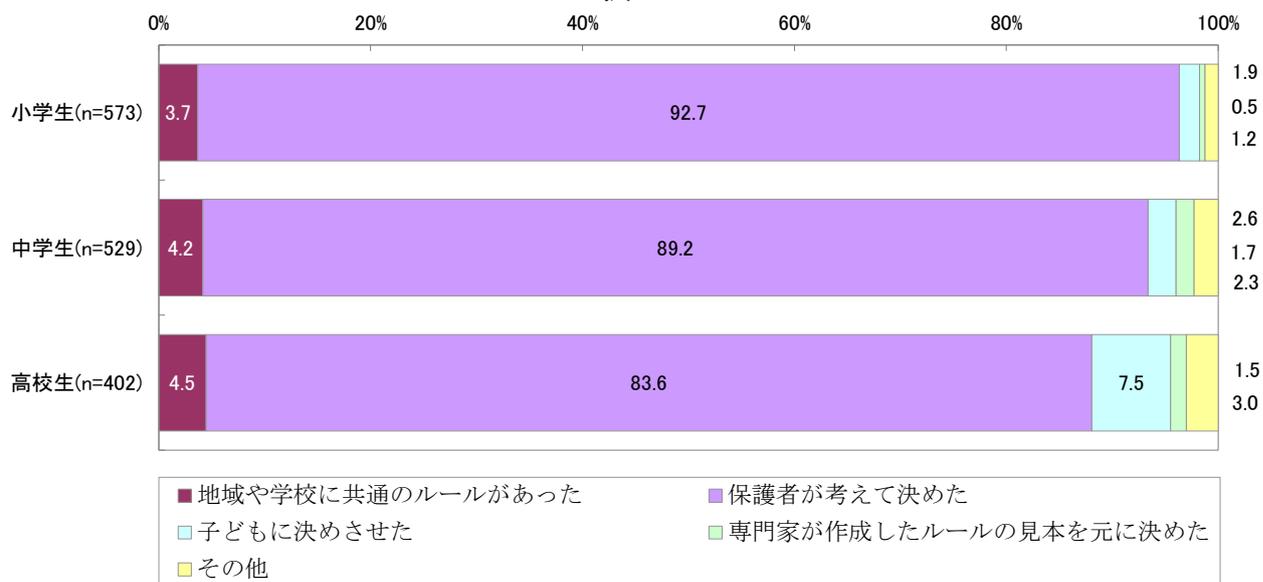
学校種別ごとにみると、学年があがるごとに「子どもに決めさせた」の割合が増加していたが、それ以外では大きな差異は見られなかった。

※()内は昨年度の調査値

図表3-6(5).1 インターネット利用に関する家庭内のルールの設定方法 (n=1504)



図表3-6(5).2 学校種別ごとのインターネット利用に関する家庭内のルールの設定方法

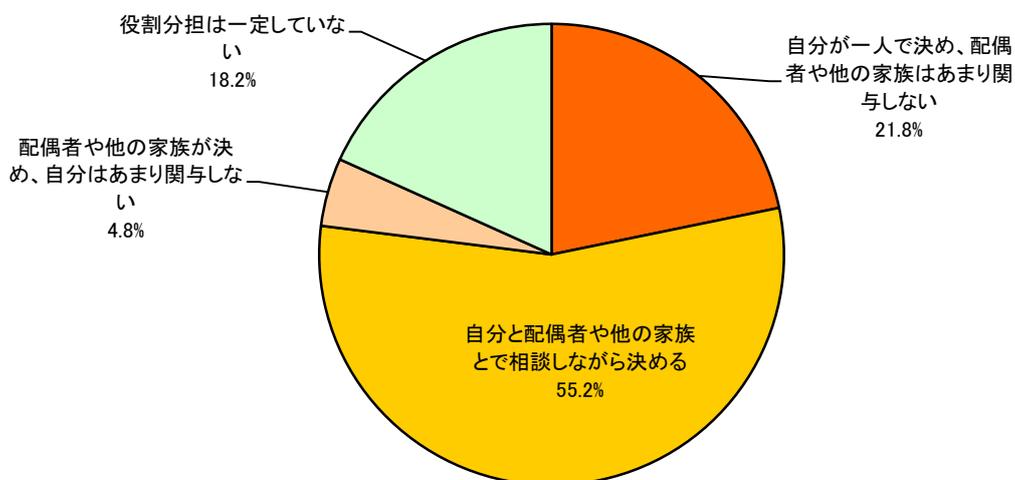


## (6) インターネット利用に関する家庭内のルール作りの役割分担

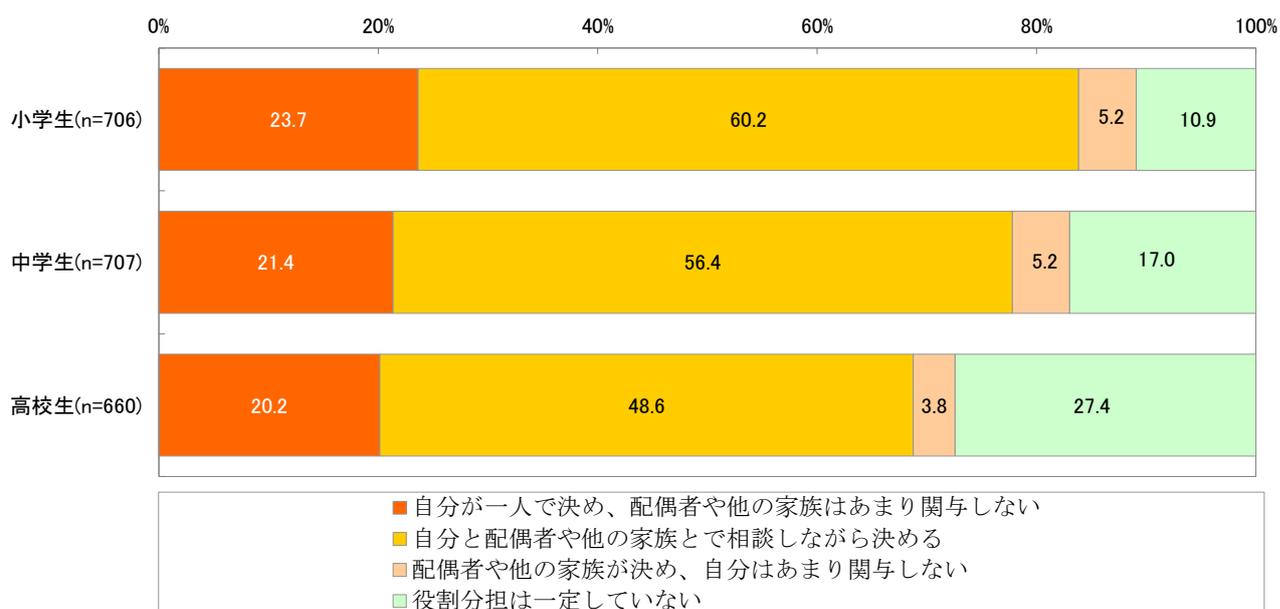
家庭内でのルール作りの役割分担については、「自分と配偶者やほかの家族とで相談しながら決める」が55.2%となった。

学校種別ごとにみると、学年があがるごとに「自分と配偶者や他の家族とで相談しながら決める」の割合が低下する一方で、「役割分担は一定していない」の割合が増加している。

図表3-6(6).1 インターネット利用に関する家庭内のルール作りの役割分担状況  
(n=2073)



図表3-6(6).2 学校種別ごとのインターネット利用に関する家庭内のルール作りの役割分担状況

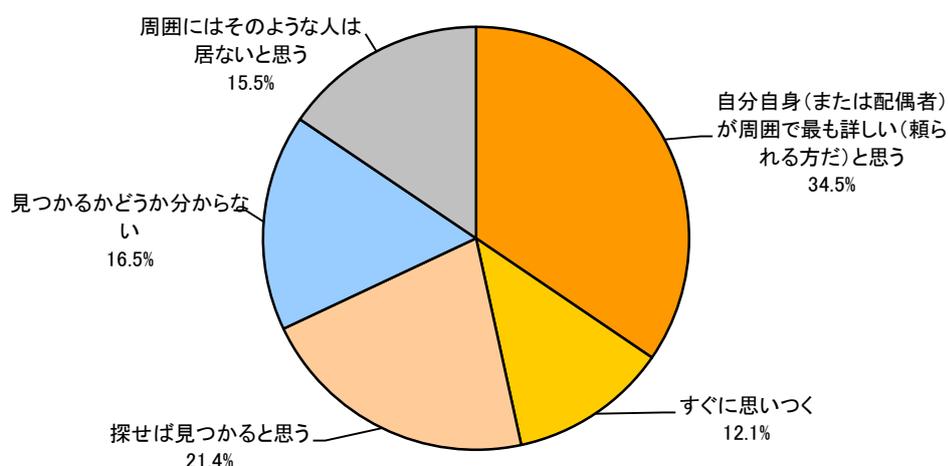


## (7) インターネット利用に関して相談する人の存在

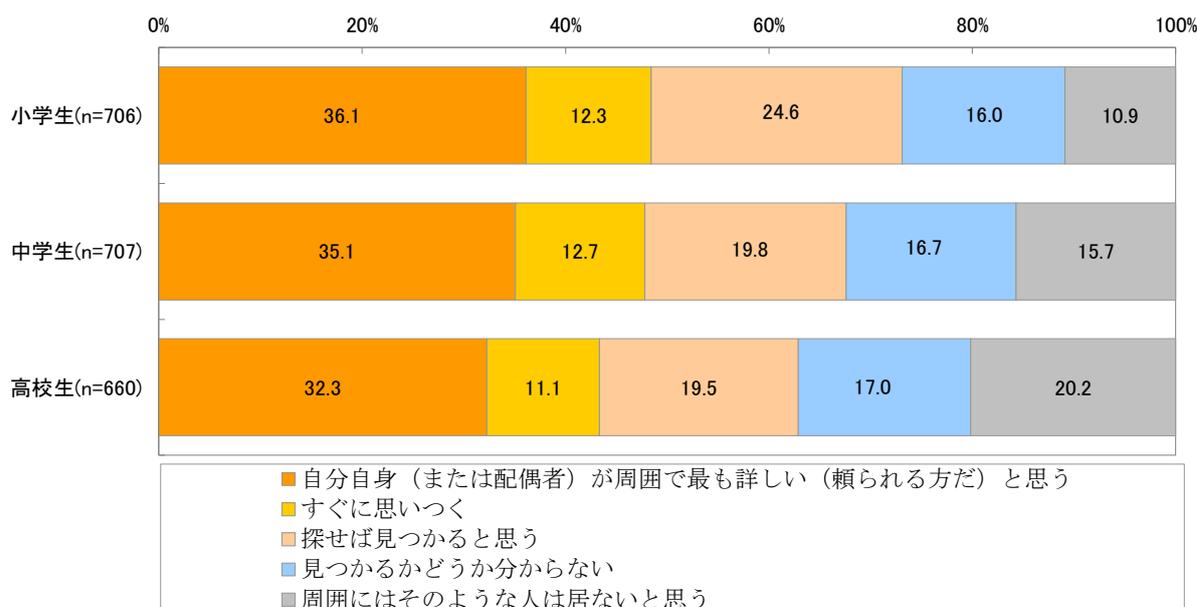
「自分自身(または配偶者)が周囲で最も詳しい」が 34.5%、「すぐに思いつく」が 12.1%であった。一方で、「探せば見つかると思う」21.4%、「見つかるかどうか分からない」16.5%、「周囲にはそのような人は居ないと思う」15.5%と回答しており、5 割以上の保護者がすぐには詳しい人や頼れる人が思いつかないと回答している。

学校種別ごとにみると「自分自身が周囲で最も詳しいと思う」という回答がどの学校種別においても 3 割以上を占めている。

図表3-6(7).1 インターネット利用に関して相談する人の存在状況 (n=2073)



図表3-6(7).2 学校種別ごとのインターネット利用に関して相談する人の存在状況



## 3-7 フィルタリングソフト

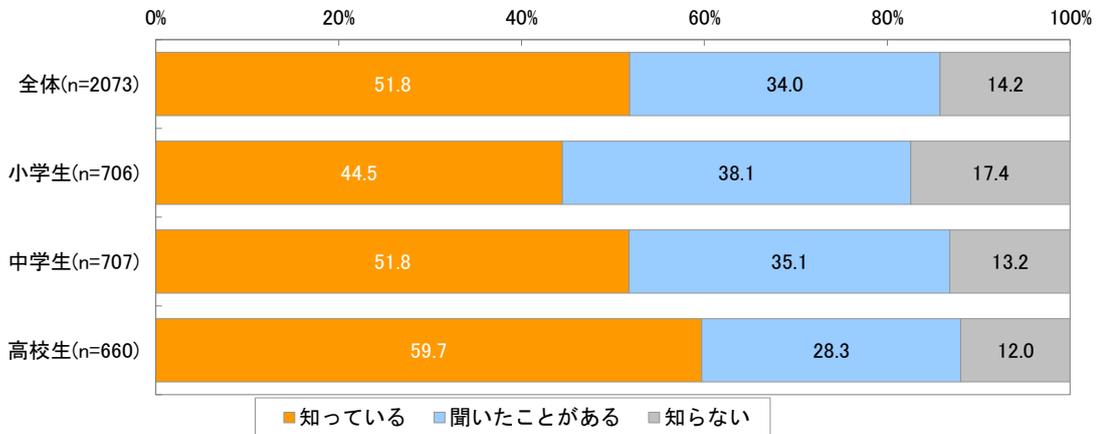
### 3-7-1 フィルタリングソフトの認知状況

保護者のフィルタリングソフトの認知状況は 51.8% (65.8%) である。フィルタリングソフトを知らないという保護者は 14.2% (7.9%) に留まる。青少年の学校種別にみると、高校生の保護者の認知度が最も高く 59.7% (70.9%) となっているが、教育段階毎の学校種に比例してパソコンや、スマートフォンなどの端末所有率が増加していることから、保護者のフィルタリングソフトに対する認知が増加しているものと推測される。

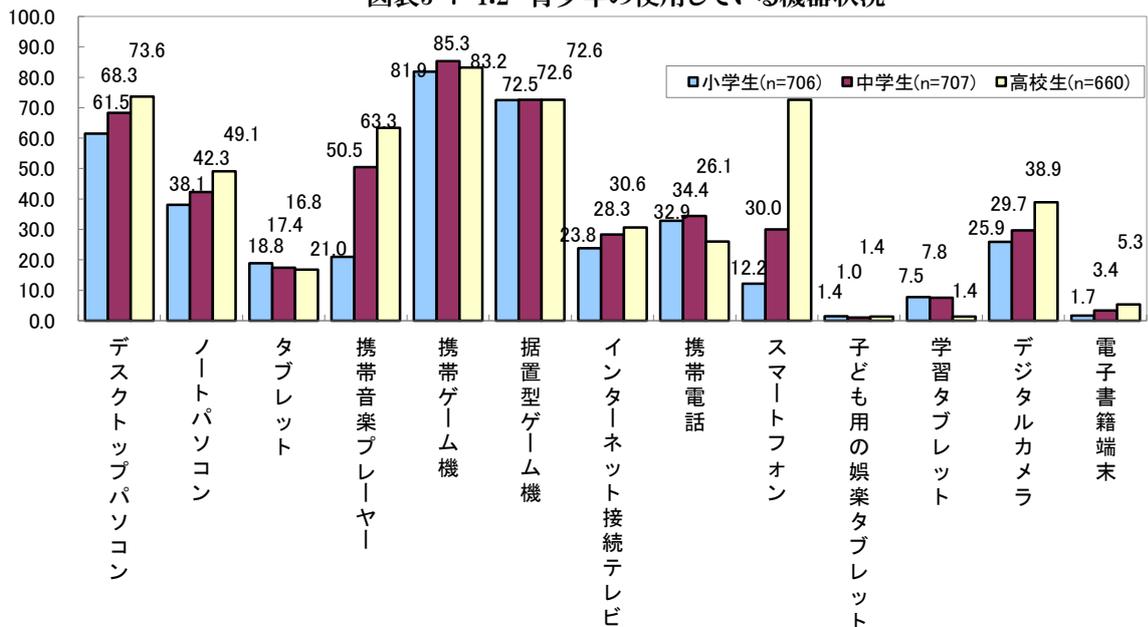
なお、全体的に昨年度よりも認知状況が下がっている傾向が見られる。

※ ()内は昨年度の調査値

図表3-7-1.1 フィルタリングソフトの認知状況



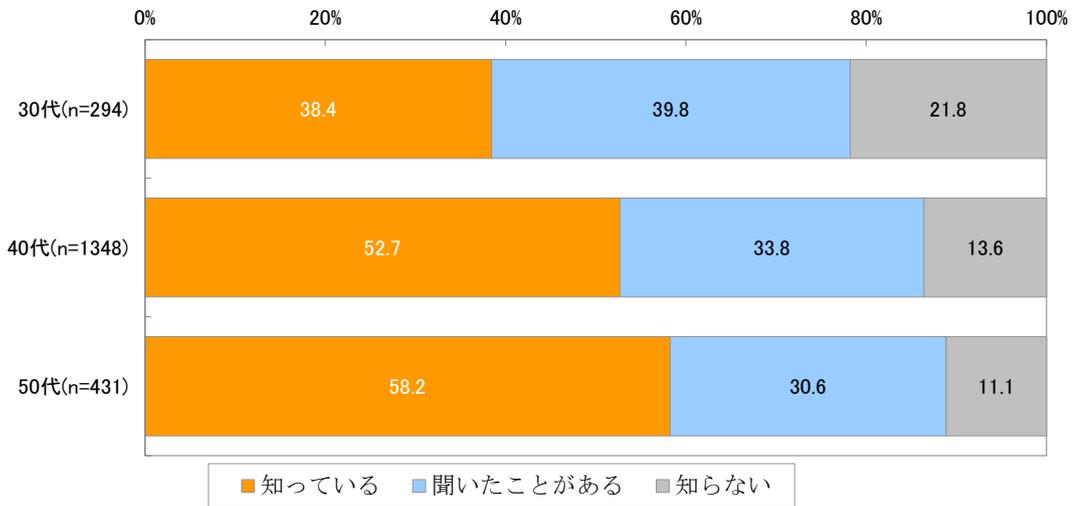
図表3-7-1.2 青少年の使用している機器状況



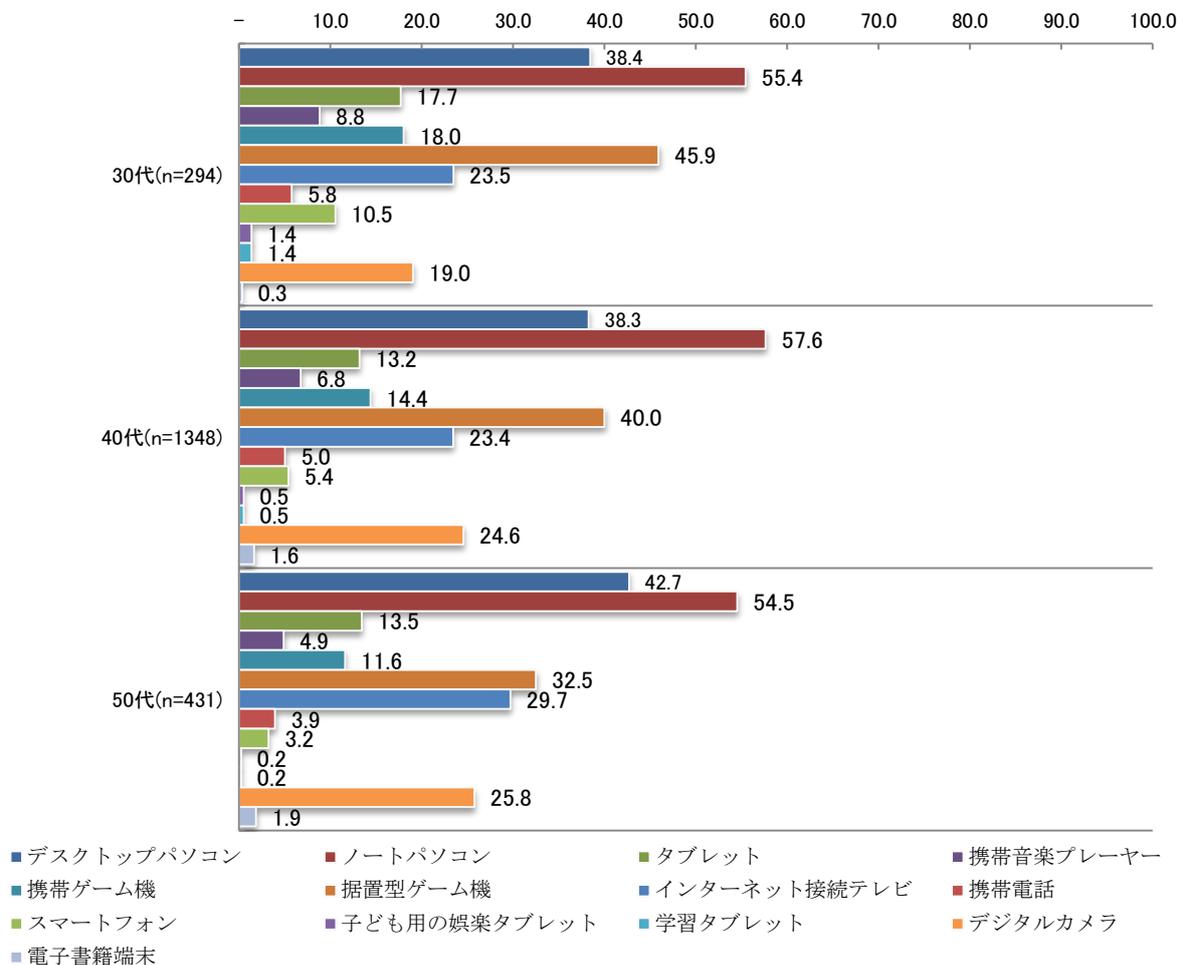
(注)「子供専用の機器を持っている」もしくは「家族と一緒に使う機器を持っている」の回答者合計比

保護者の年代別にみると、年代が高くなるほど認知度は高い。30代以下の保護者の認知度が38.4% (57.8%)に留まっているのに対し、40代では52.7%(67.2%)、50代では58.2%(68.0%)となっている。

図表3-7-1.3 保護者の年代別によるフィルタリングソフトの認知状況

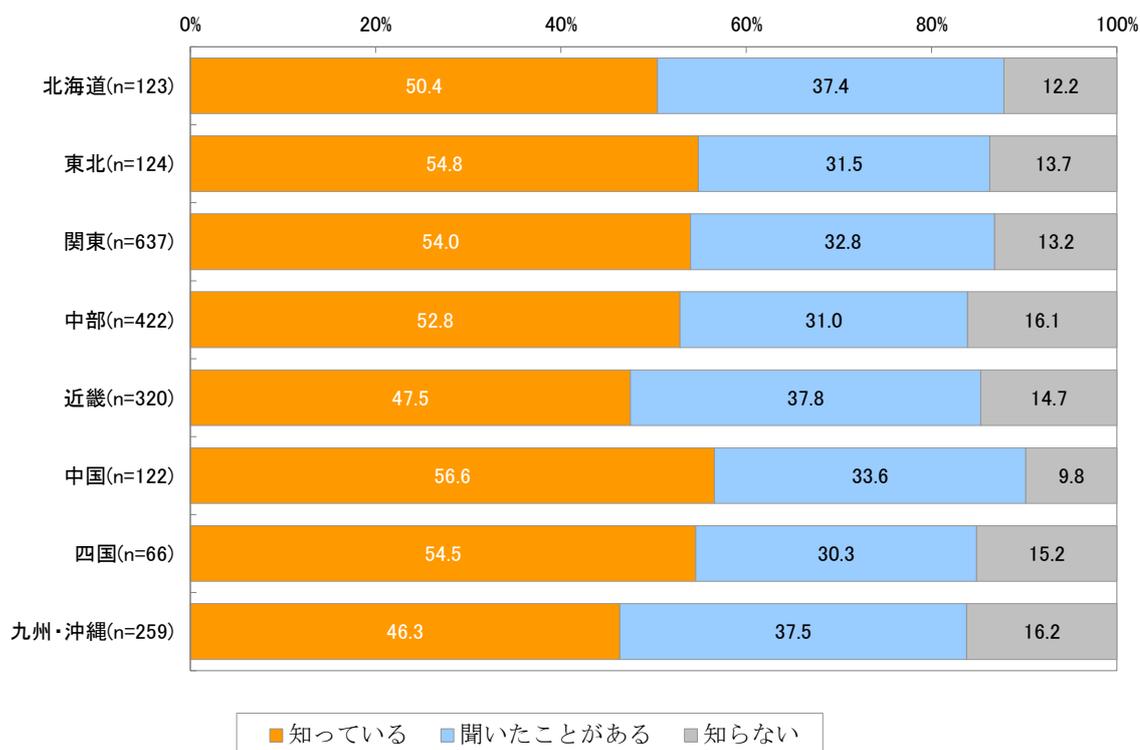


図表3-7-1.4 保護者の年代による青少年の機器の所有状況



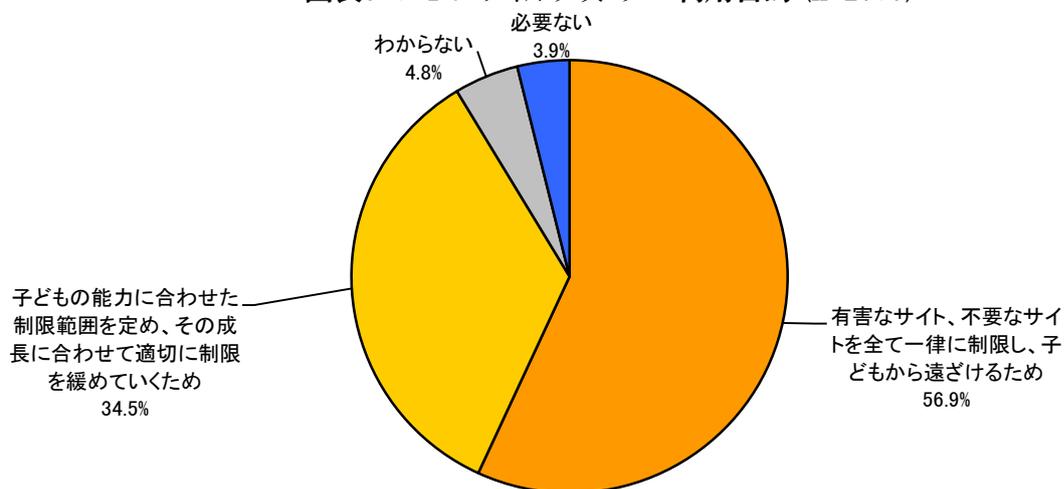
保護者の居住地域別にみると、東北、中国地方での認知度が他の地域よりも若干、高めとなっている。

図表3-7-1.5 保護者の居住地域別によるフィルタリングソフトの認知状況



フィルタリングの利用目的について調査をしたところ、「有害なサイト、不要なサイトを全て一律に制限し、子どもから遠ざけるため」という回答が6割近くだった。

図表3-7-1.6 フィルタリングの利用目的 (n=2073)

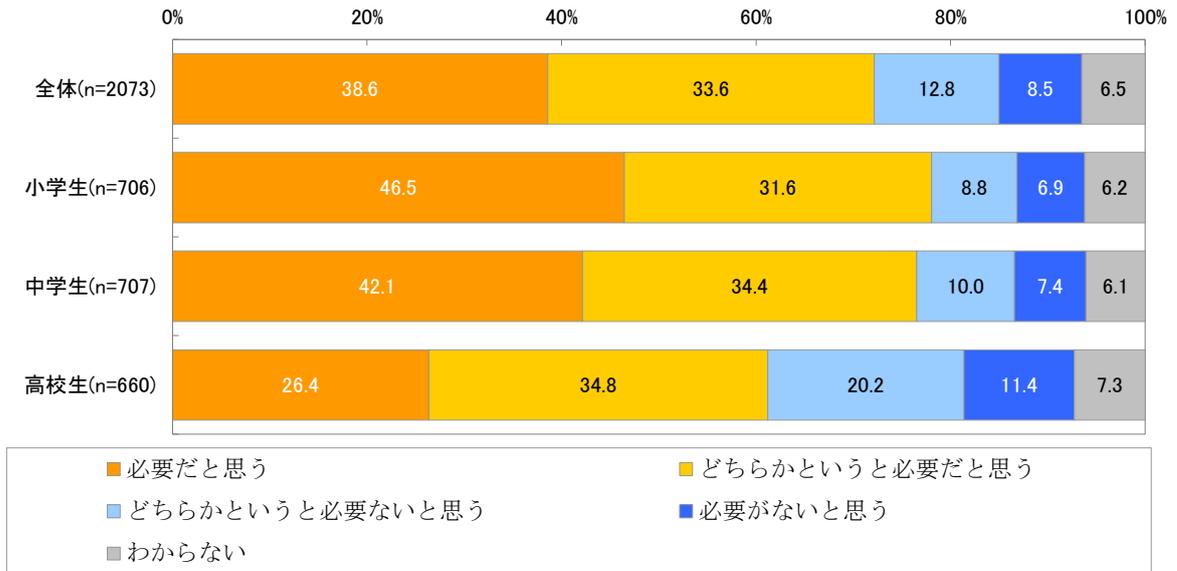


### 3-7-2 フィルタリングソフトの必要性に関する認識

保護者の 38.6%(40.5%)が、フィルタリングソフトが「必要」と回答し、「どちらかという必要」を加えると 72.2%(75.1%)が必要と考えている。小学生の保護者ほど、フィルタリングソフトを必要であると回答する傾向が高い。

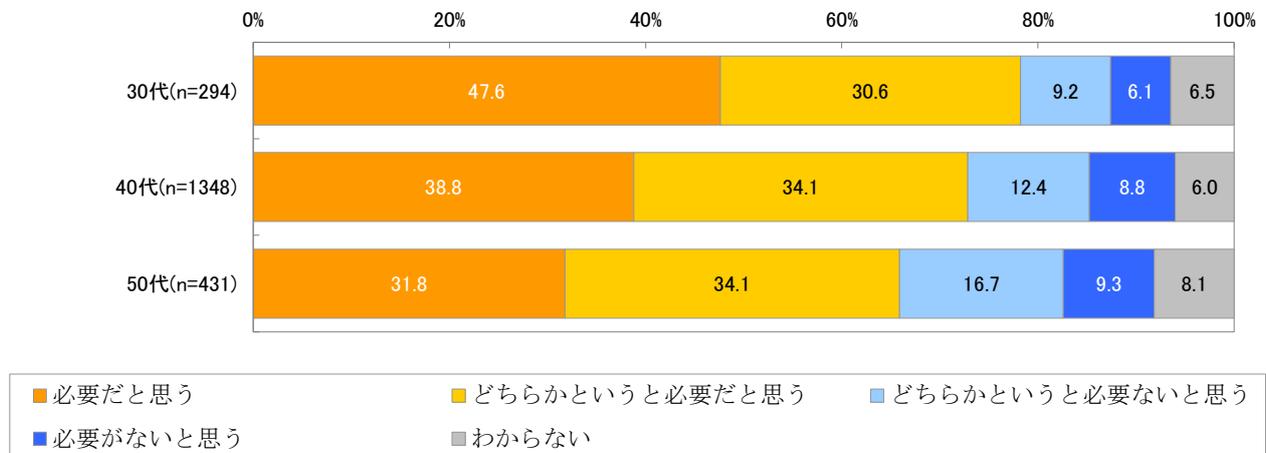
※()内は昨年度の調査値

図表3-7-2.1 フィルタリングソフトの必要性に関する認識



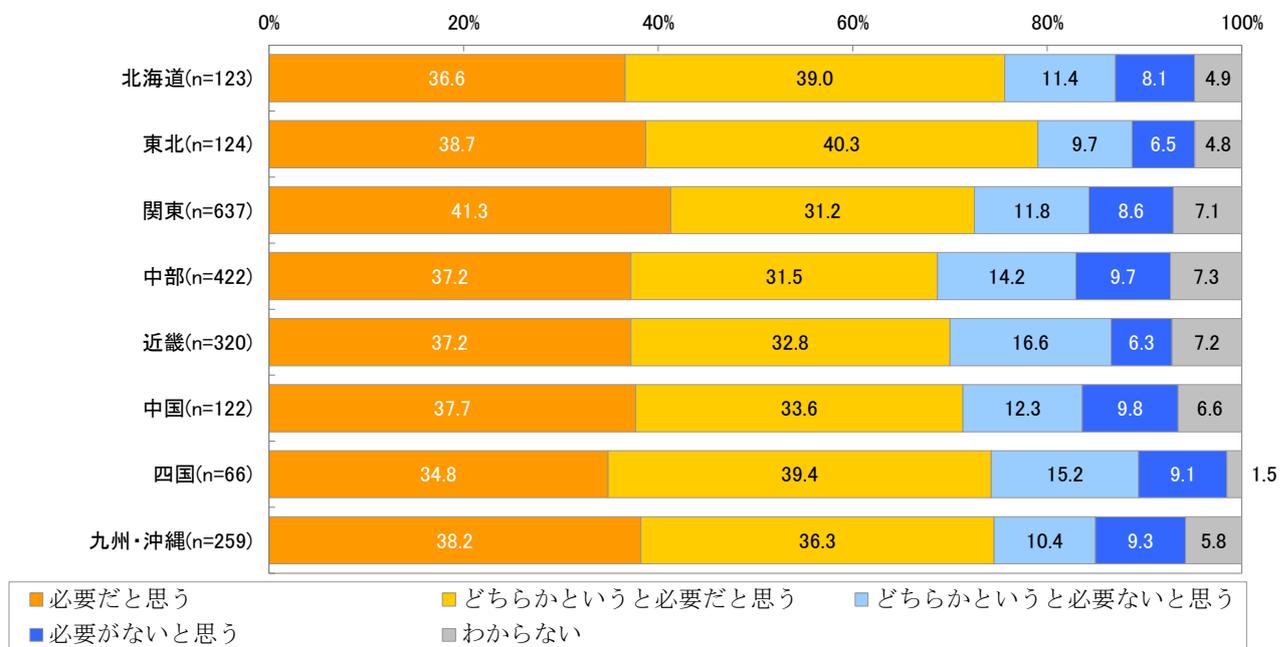
保護者の年代別にみると、年代が低いほど必要とする者が多い。年代の低い保護者の方が子供の年齢も低いことが多いことが影響しているものと考えられる。

図表3-7-2.2 保護者の年代別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



保護者の居住地別による差はあまり大きくないが「必要」「どちらかという必要」と回答した者の比率は、中部、近畿が70%程度となり、他の地域と比較すると、若干低くなっている。

図表3-7-2.3 保護者の居住地別によるフィルタリングソフトの必要性に関する認識



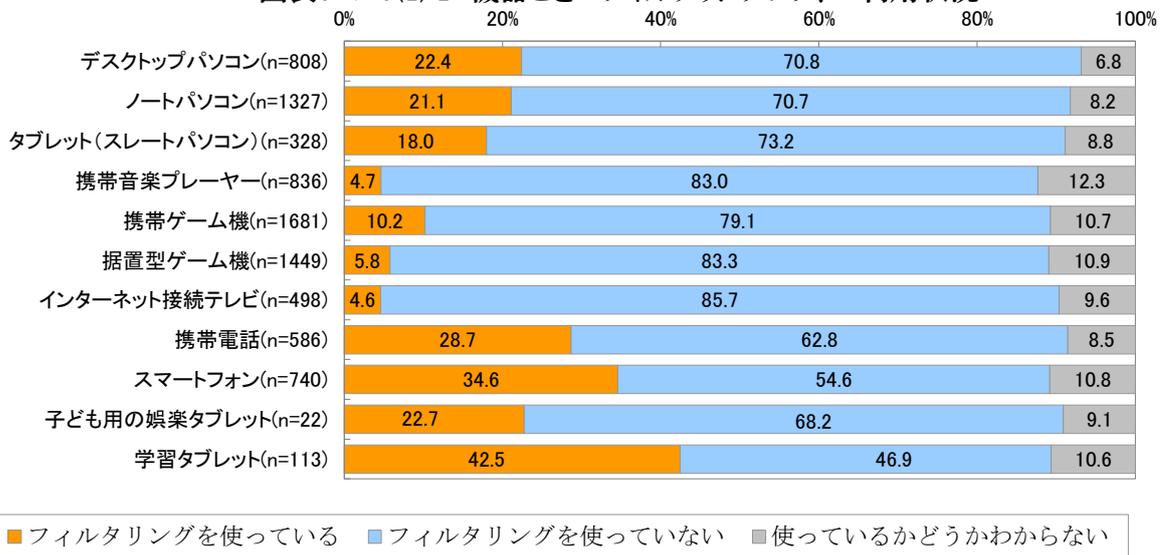
### 3-7-3 フィルタリングソフトの利用状況

#### (1) フィルタリングソフトの利用率

フィルタリングソフトについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者に、青少年がインターネットの利用している機器にフィルタリングソフトを利用しているかどうかを調査したところ、利用率は学習タブレットが42.5%、スマートフォンが34.6%(31.5%)、携帯電話が28.7%(36.6%)、デスクトップパソコンが22.4%(22.4%)、ノートパソコンが21.1%(20.7%)、タブレット18.0%(11.4%)、携帯音楽プレーヤー4.7%(2.5%)、携帯ゲーム機10.2%(6.0%)、インターネット接続テレビ4.6%(6.6%)となり、昨年と比較し全体的には利用率が上昇している。

※()内は昨年度の調査値

図表3-7-3(1).1 機器ごとのフィルタリングソフトの利用状況

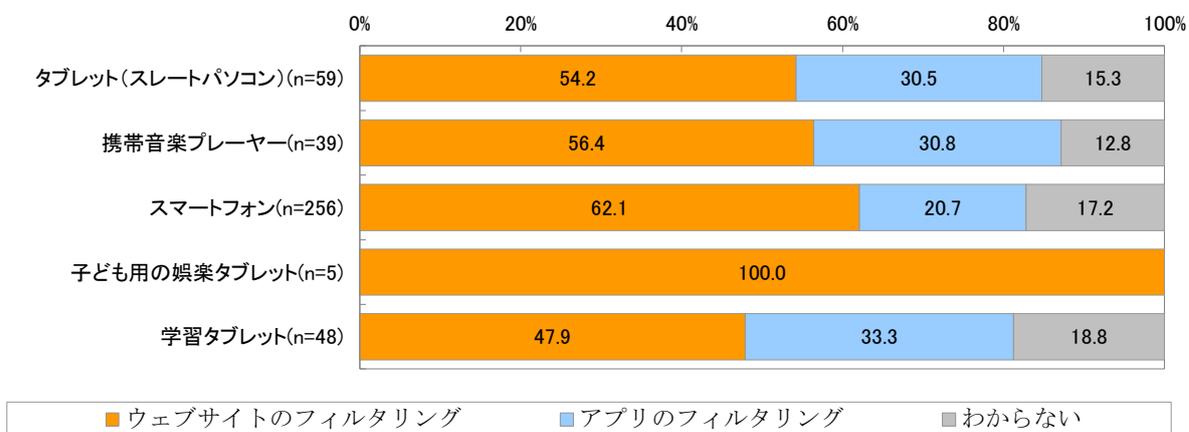


図表 3-7-3(1).2 機器ごとのフィルタリングソフトの利用率(%)

	全体	小学生	中学生	高校生
デスクトップパソコン	22.4	21.5	26.0	19.7
ノートパソコン	21.1	18.3	22.6	21.9
タブレット(スレートパソコン)	18.0	18.3	22.2	12.5
携帯音楽プレーヤー	4.7	7.8	5.4	3.1
携帯ゲーム機	10.2	17.9	9.0	3.4
据置型ゲーム機	5.8	7.9	6.1	3.2
インターネット接続テレビ	4.6	3.9	4.6	5.3
携帯電話	28.7	23.0	33.5	29.2
スマートフォン	34.6	22.2	42.4	32.8
子ども用の娯楽タブレット	22.7	0.0	50.0	22.2
学習タブレット	42.5	43.1	47.2	11.1

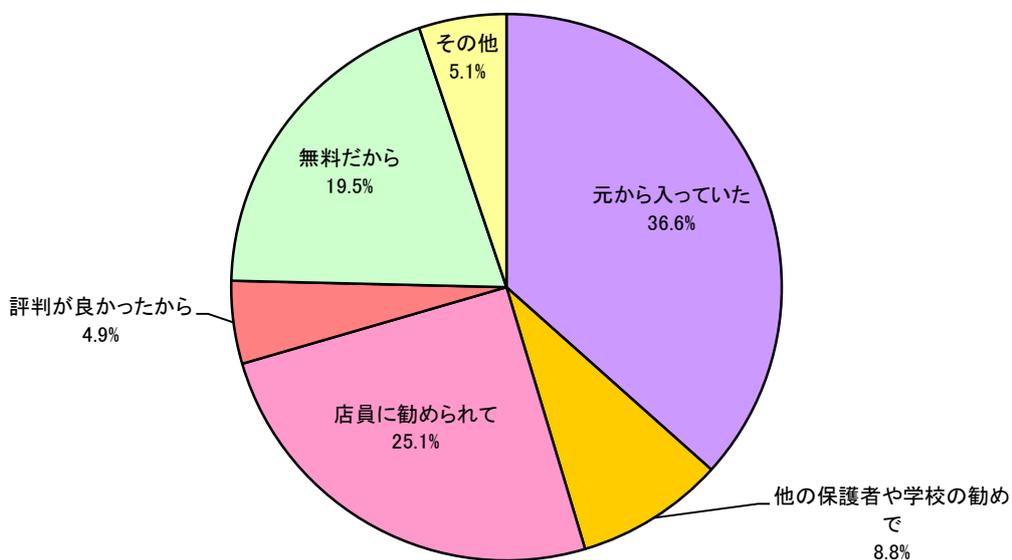
利用しているフィルタリングの種類がウェブサイトのフィルタリングか、アプリフィルタリングか調査したところ、ウェブサイトのフィルタリングが、子供用の娯楽タブレットでは100%、携帯音楽プレーヤーでは56.4%(52.2%)、タブレットでは54.2%(46.2%)、スマートフォンでは62.1%(55.4%)となった。

図表3-7-3(1).3 機器ごとのフィルタリングソフトの種類



使用しているフィルタリングを選んだ理由は「元から入っていた」が36.6%(35.0%)と最も多く、次いで販売店の「店員に勧められて」25.1%(26.7%)、「無料だから」19.5%(18.9%)、となった。

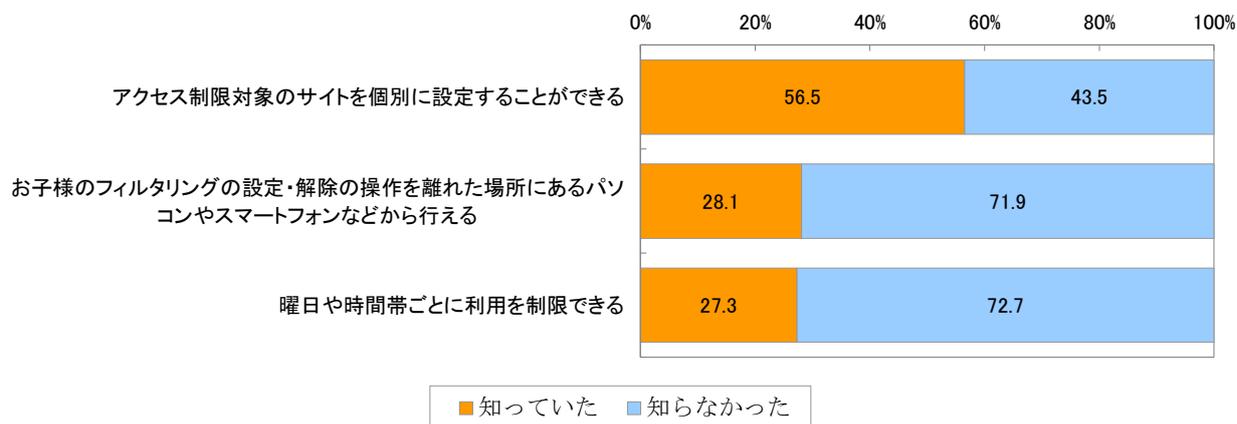
図表3-7-3(1).4 使用しているフィルタリングソフトを選んだ理由 (n=767)



(注) 集計対象は、フィルタリングを使用している保護者

フィルタリングの機能に関する認知状況について確認したところ、アクセス制限対象のサイトを個別に設定することができるということを知っていた保護者は 56.5% (56.3%) だったが、フィルタリングの操作をパソコン等から行えることを知っている保護者は 28.1% (27.0%)、曜日や時間帯ごとに利用を制限できるということを知っていたと答えた保護者は 27.3% (26.7%) となり、昨年と大きな変化は見られない。

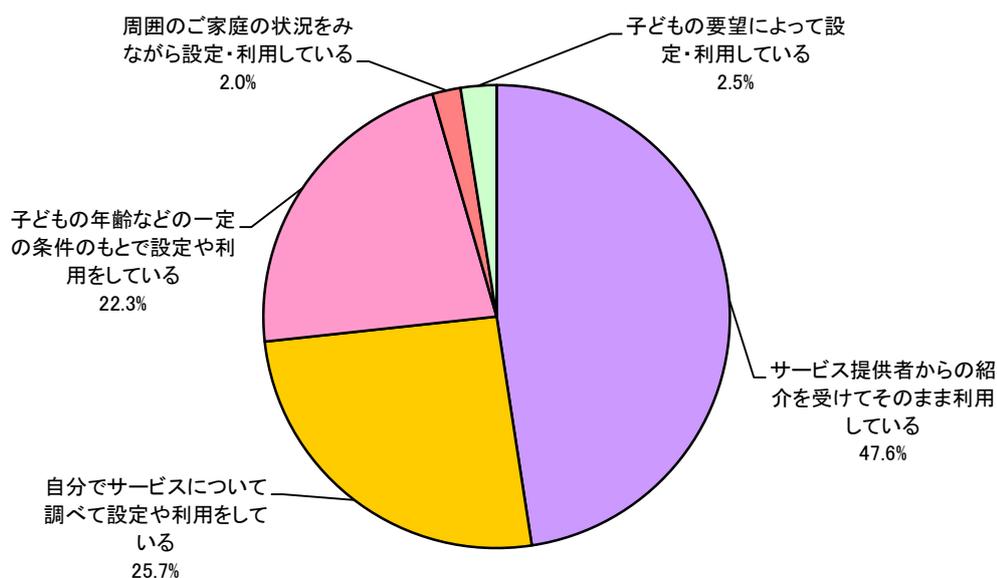
図表3-7-3(1).5 フィルタリングの機能に関する認知状況 (n=1778)



(注) 集計対象は、フィルタリングについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者

フィルタリングの設定条件について調査したところ、「サービス提供者からの紹介を受けてそのまま利用している」が最も多く、47.6% (46.8%) であった。

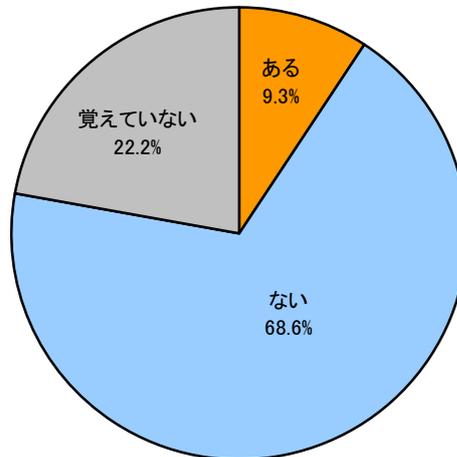
図表3-7-3(1).6 フィルタリングの設定状況 (n=767)



(注) 集計対象は、フィルタリングを使用している保護者

現在使用しているもののほかに検討したフィルタリングがあるか調査したところ、「ない」が 68.6% (72.0%)、「覚えていない」が 22.2% (20.5%)、「ある」が 9.3% (7.5%)であった。

図表3-7-3(1).7 現在使用しているもの以外に検討したフィルタリングソフトの有無  
(n=767)

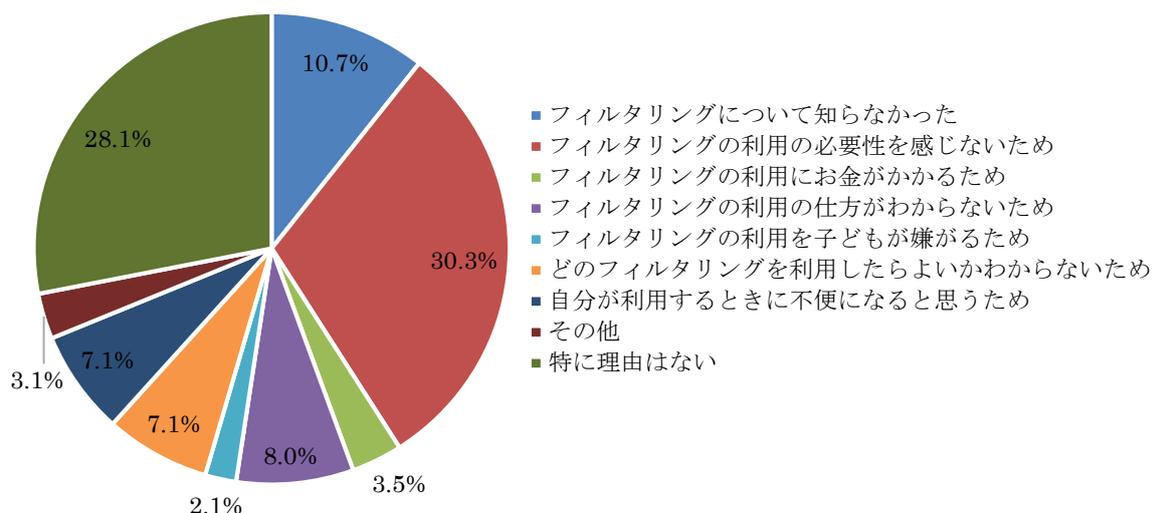


(注)集計対象は、フィルタリングを使用している保護者

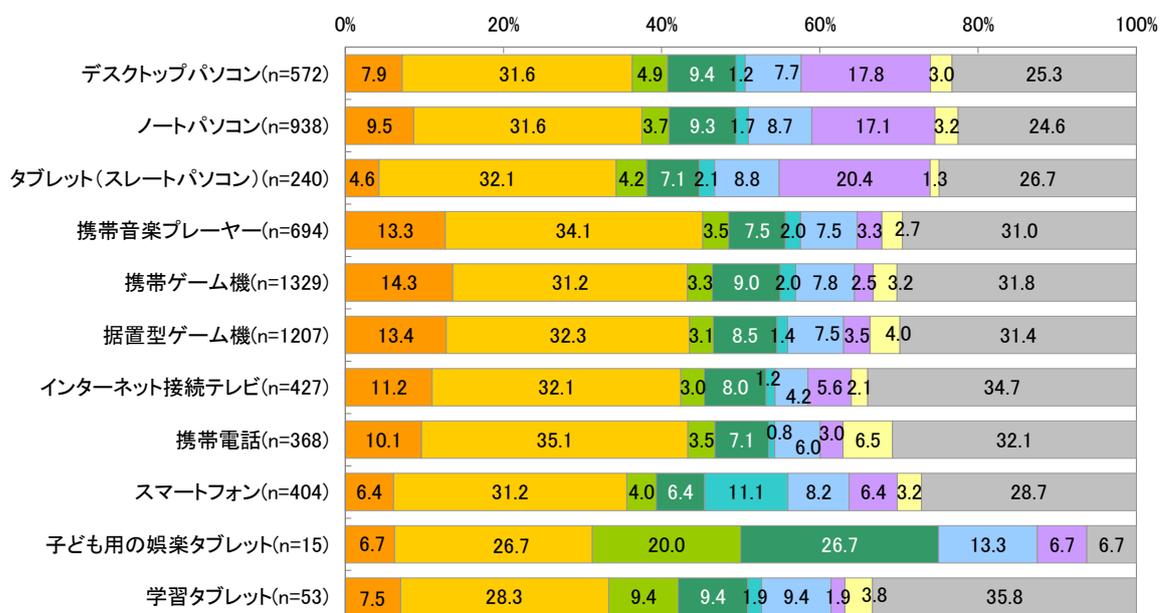
## (2) フィルタリングソフトを利用していない理由

フィルタリングを利用していない理由としては、「フィルタリングの利用の必要性を感じないため」が最も多かった。「自分が利用するとき不便になると思うため」という回答は、全体では7.1%であるが、デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットにおける回答割合は2割前後だった。「フィルタリングの利用を子どもが嫌がるため」という回答は、全体では2.1%であったが、スマートフォンにおいては、11.1%であった。

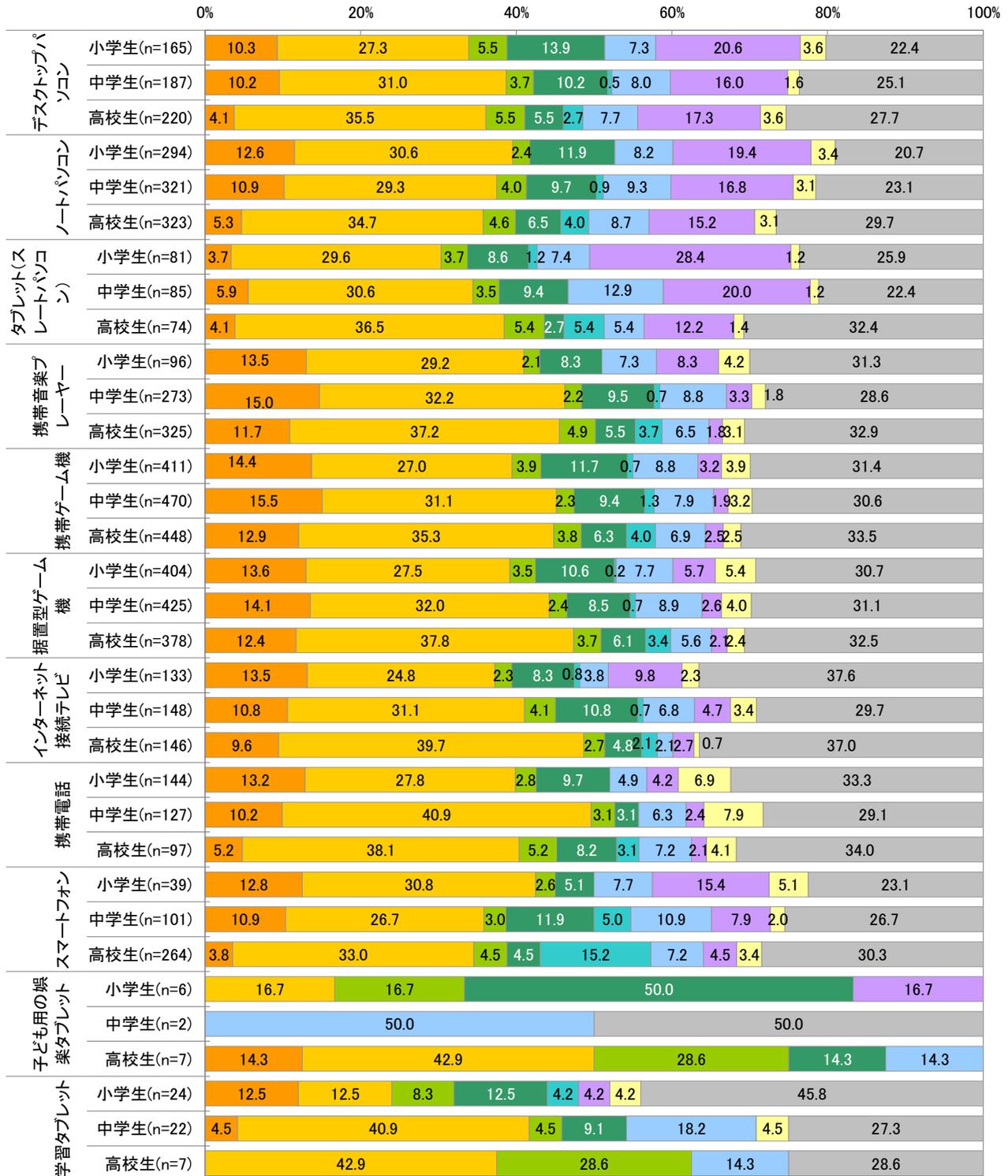
図表3-7-3(2).1 フィルタリングを利用していない理由



図表3-7-3(2).2 機器ごとのフィルタリングソフトを利用していない理由



図表 3-7-3(2).3 機器と学校種別ごとのフィルタリングソフトを利用していない理由



- フィルタリングについて知らなかった
- フィルタリングの利用の必要性を感じないため
- フィルタリングの利用にお金がかかるため
- フィルタリングの利用の仕方がわからないため
- フィルタリングの利用を子どもが嫌がるため
- どのフィルタリングを利用したらよいかわからないため
- 自分が利用するときに不便になると思うため
- その他
- 特に理由はない

## 3-8 ペアレンタルコントロール

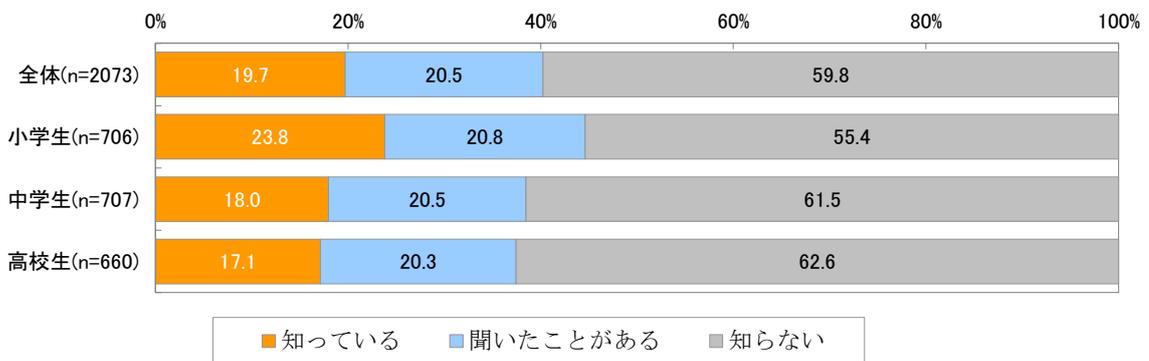
### 3-8-1 ペアレンタルコントロールの認知状況

ペアレンタルコントロールの認知状況について調査したところ、「知っている」19.7% (17.5%)、「聞いたことがある」20.5% (18.4%)、「知らない」59.8% (64.2%)となり、約 6 割の保護者がペアレンタルコントロールを知らないと回答した。昨年度と比較するとペアレンタルコントロールの認知率は増加傾向にある。

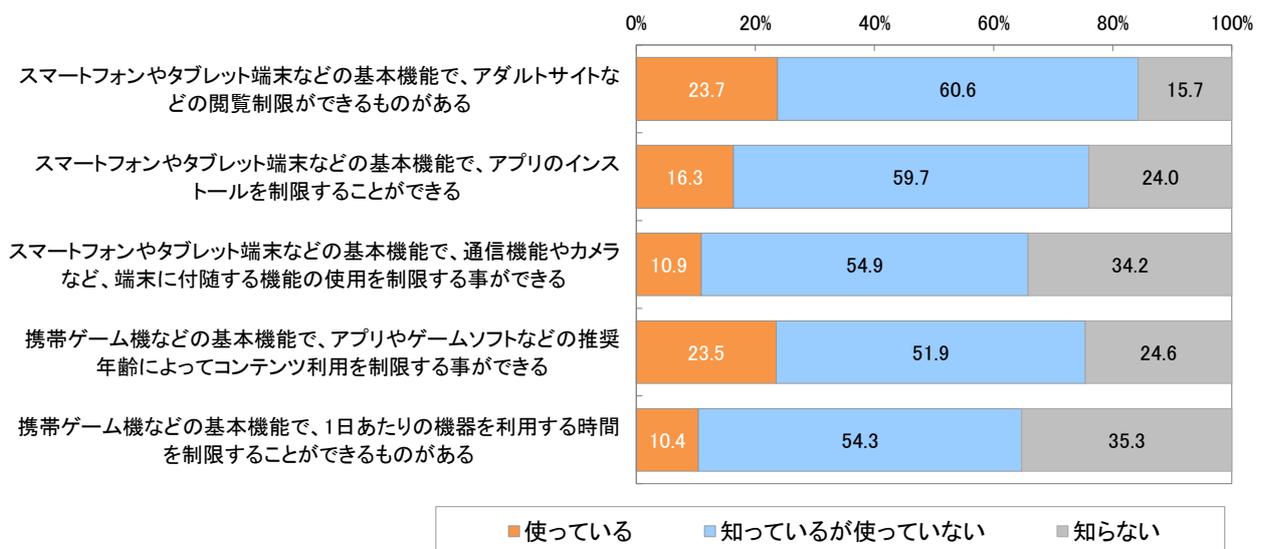
小学生の保護者は「知っている」「聞いたことがある」の割合が最も高く 44.6% (40.3%) だった。それに対して中学生の保護者は「知っている」「聞いたことがある」の割合が 38.5% (37.5%)、高校生の保護者は 37.4% (29.3%) となっており、青少年の学校種別が中学生・高校生になるに従って認知状況が低くなる傾向がある。

※ ()内は昨年度の調査値

図表3-8-1.1 ペアレンタルコントロールの認知状況

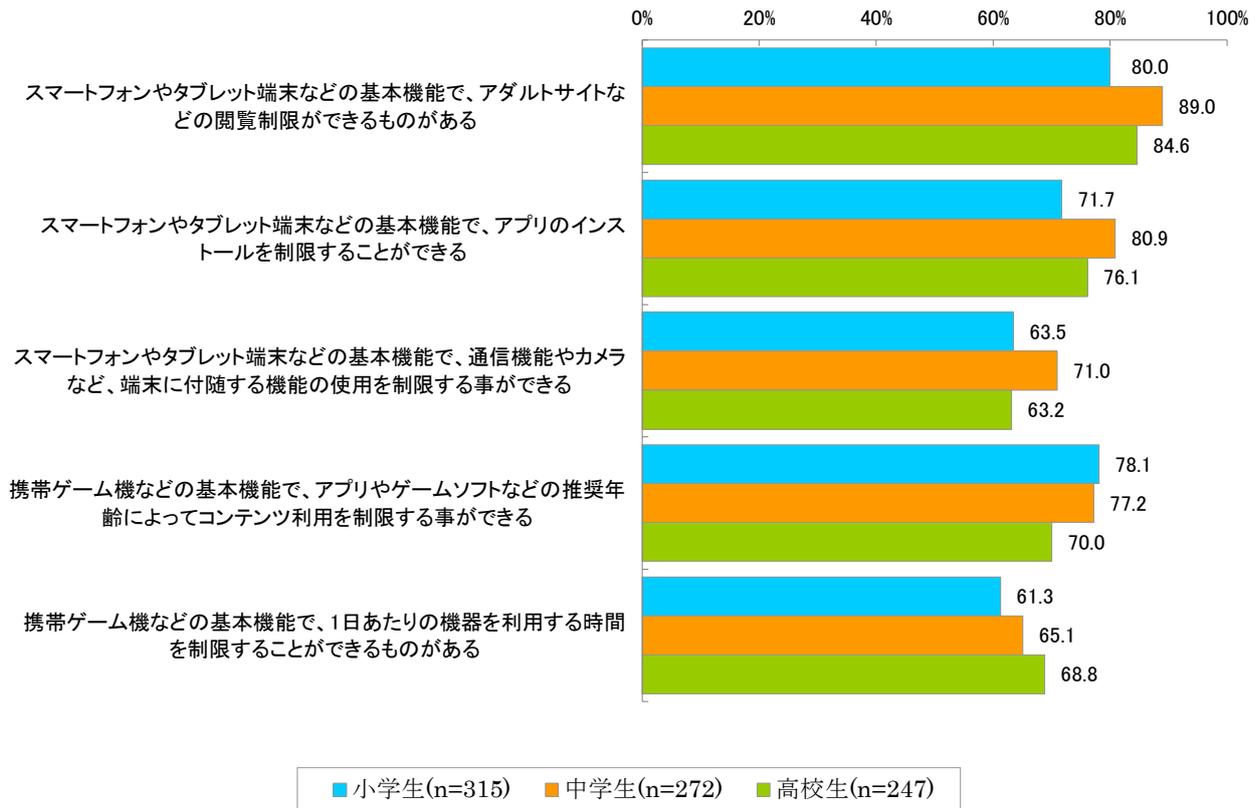


図表3-8-1.2 ペアレンタルコントロール機能の認知状況



(注) 集計対象は、ペアレンタルコントロールについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した保護者

図表3-8-1.3 ペアレンタルコントロール機能の認知状況(学校種別)



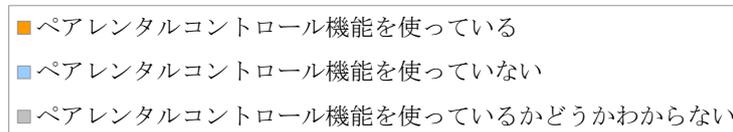
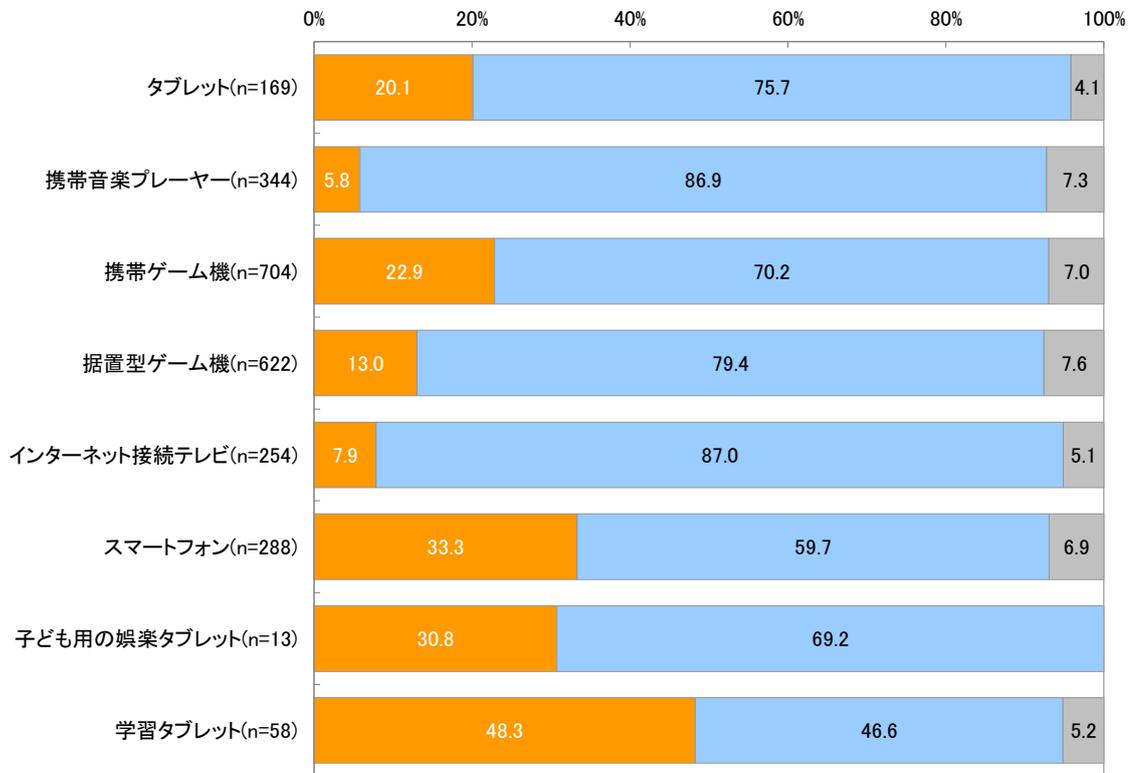
### 3-8-2 ペアレンタルコントロールの利用状況

ペアレンタルコントロール機能を利用しているか調査したところ、スマートフォンと学習タブレット以外の全ての機器について、「使っていない」との回答が7～8割であった。

学習タブレットで使っているという割合が最も高く48.3%だった。次いでスマートフォンで使っているという割合が33.3%(15.7%)、携帯ゲーム機で使っているという割合が22.9%(13.6%)となっており、昨年度よりも利用率が増加していた。

※()内は昨年度の調査値

図表3-8-2 機器ごとのペアレンタルコントロールの利用状況

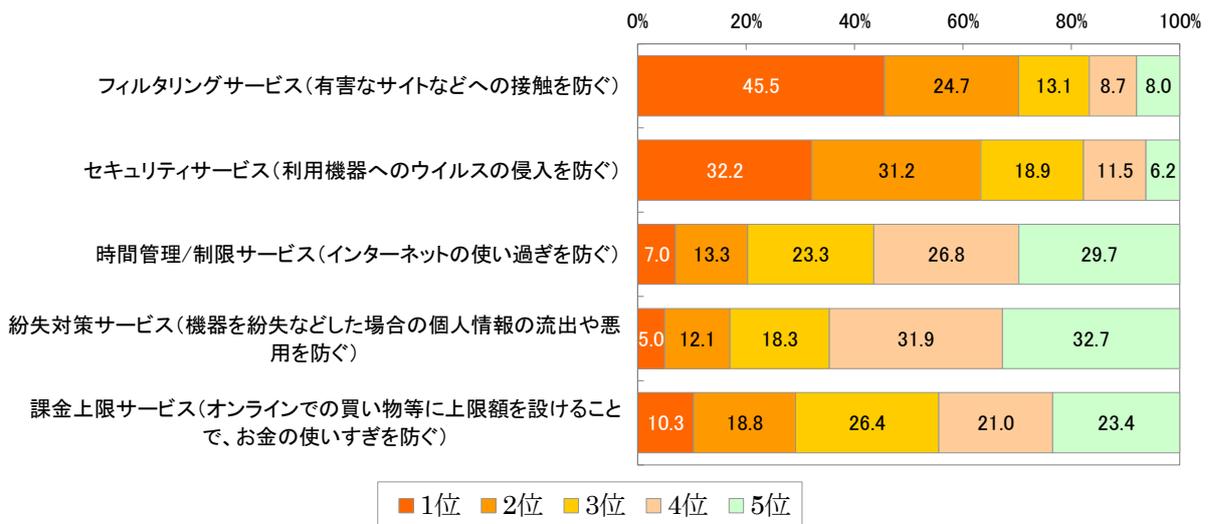


### 3-9 保護者の認識確認

#### 3-9-1 安心安全利用のために必要だと考えるサービスの優先度

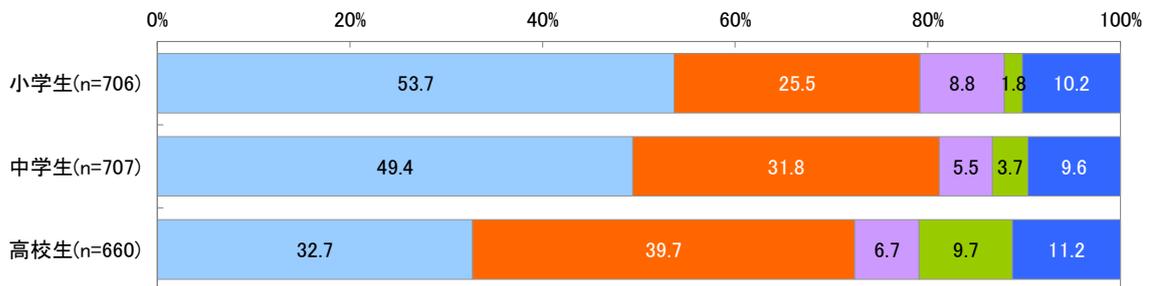
お子様にインターネットを安心して安全に使わせるために、必要と思うサービスの優先度について調査したところ、フィルタリングサービスが最も多く、ついで、ウイルス対策などのセキュリティサービスが多い結果となった。

図表3-9-1.1 必要だと思うサービスの優先度 (n=2073)



それぞれのサービスについて、優先度が1位であった回答を学校種別に見たところ、フィルタリングサービスの優先度を1位にした保護者は小学生が最も多く、年齢が上がるに従って減少していく傾向が見られた。逆に、セキュリティサービスについては、年齢が上がるに従って優先度が高くなっている様子が読み取れた。

図表3-9-1.2 学校種別ごとの必要だと思うサービスの優先度(優先度1位のみ)



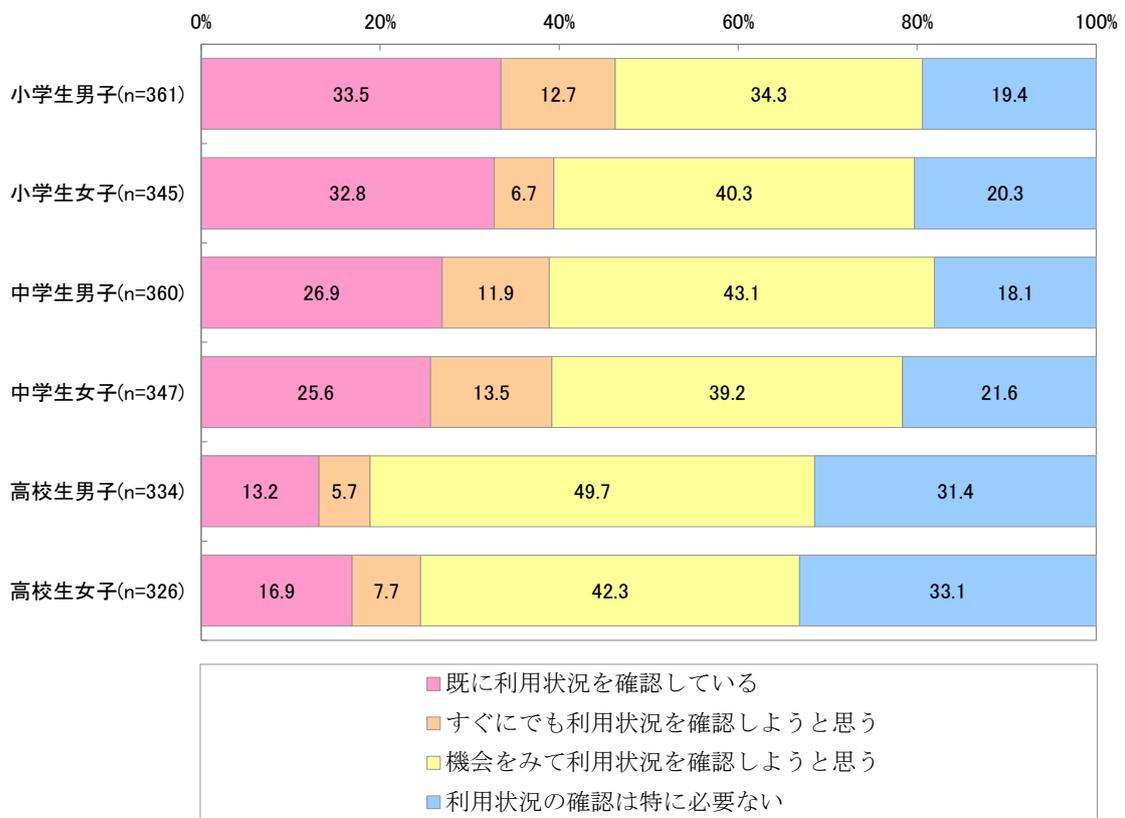
- フィルタリングサービス (有害なサイトなどへの接触を防ぐ)
- セキュリティサービス (利用機器へのウイルスの侵入を防ぐ)
- 時間管理/制限サービス (インターネットの使い過ぎを防ぐ)
- 紛失対策サービス (機器を紛失などした場合の個人情報の流出や悪用を防ぐ)
- 課金上限サービス (オンラインでの買い物等に上限額を設けることで、お金の使い過ぎを防ぐ)

### 3-9-2 子どものインターネット利用状況の確認の必要性

子供のインターネット利用状況について、確認しようと思うかどうかについて調査したところ、小学生の保護者では男女共に「既に確認している」が30%を超えていた。また、年齢が上がるに従って減少し、高校生の保護者では、男女共に15%前後であった。逆に、「確認は必要ない」とする回答は高校生の保護者が最も多く、30%以上を占める結果となった。

また、「機会をみて確認しようと思う」とする回答は、全体的に高い比率を占めているが、特に高校生男子の保護者が高く、50%程度を占める結果となった。

図表3-9-2 学校種別と性別ごとのインターネットの利用状況の確認意思

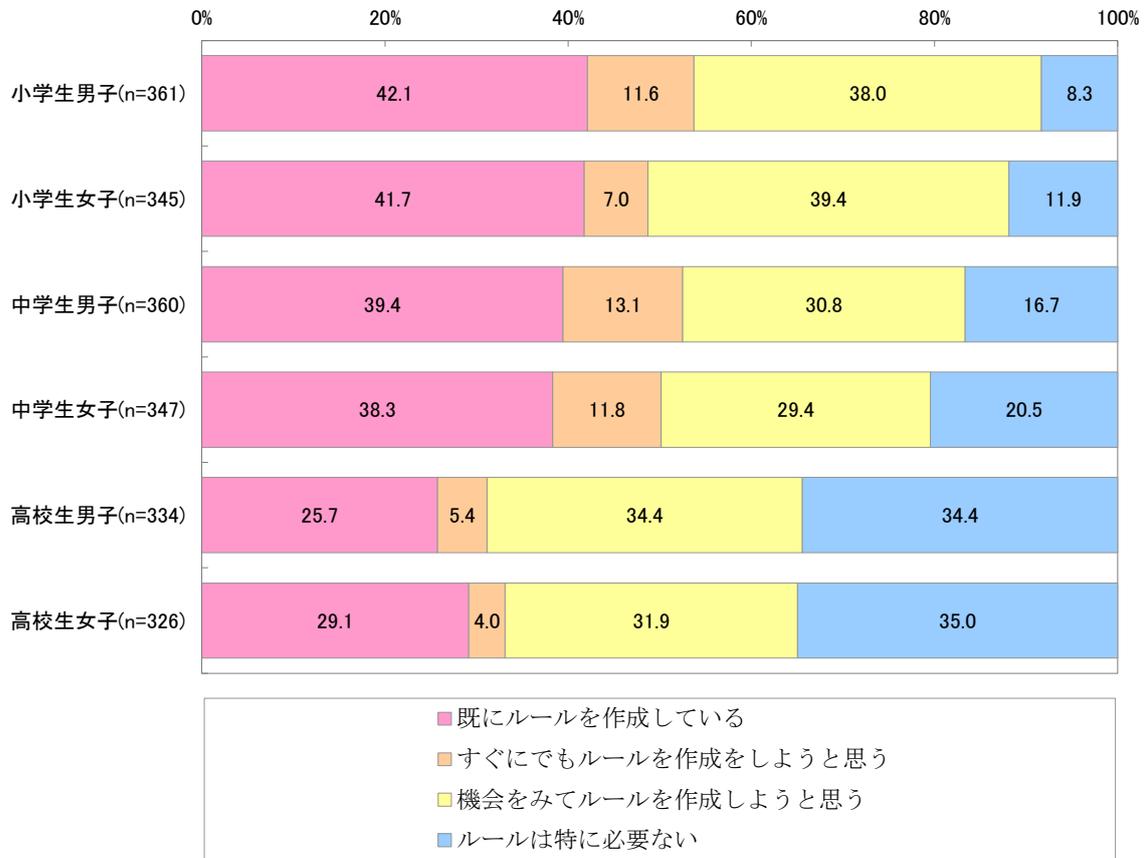


### 3-9-3 インターネット利用に関するルール作成の必要性

家庭内で子供のインターネット利用に関するルールを作成しようと思うかどうかについて調査したところ、利用状況の確認と同様、「既にルールを作成している」とする回答は、小学生の保護者が最も多く、40%以上を占める結果となった。逆に、「ルールは必要ない」とする回答は、高校生の保護者が最も多く、30%以上を占めた。

また、「機会をみて作成しようと思う」とする保護者も、年齢が上がるに従って占める割合が低くなる傾向が見られた。

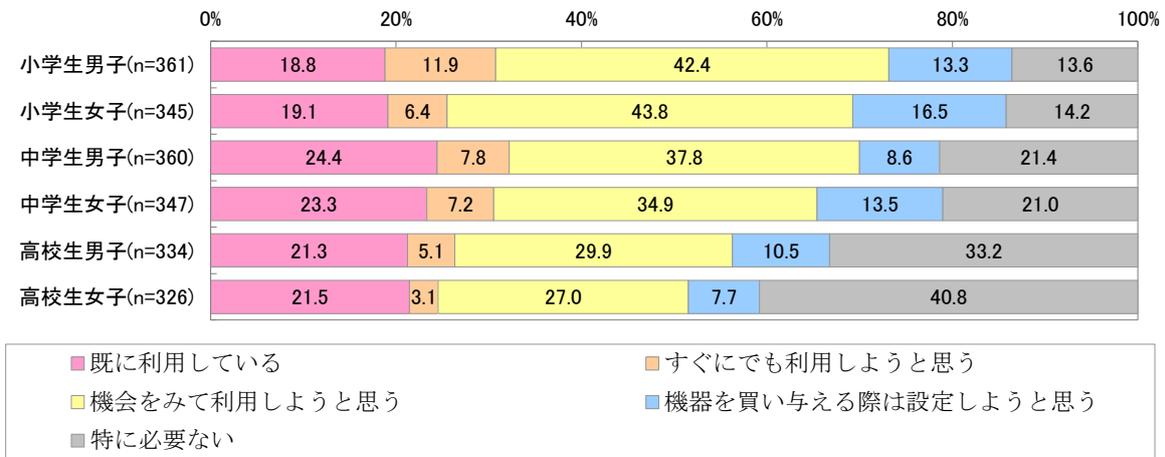
図表 3-9-3 学校種別と性別ごとのインターネット理由に関するルール作成の必要性



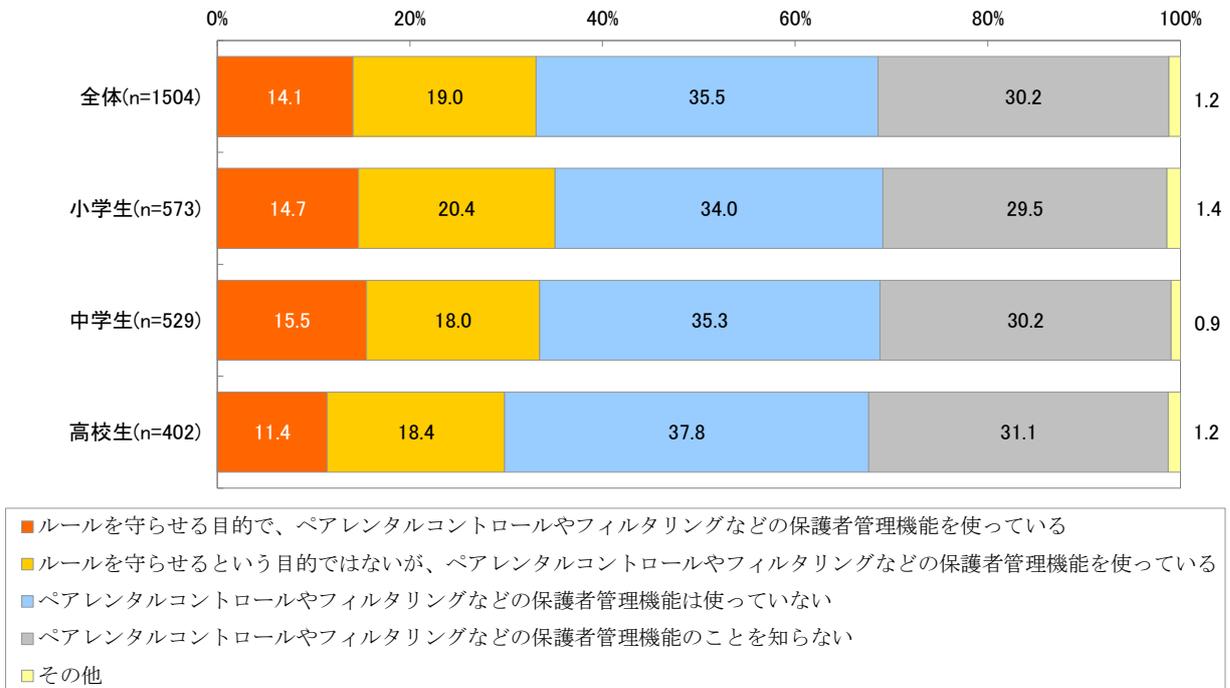
### 3-9-4 フィルタリング等の保護者管理機能設定の必要性

子供が利用する機器にフィルタリング等の保護者管理機能を設定する必要があると思うかどうかについて調査したところ、「既に管理機能を設定している」とする回答は、中高生では差があまりなく、いずれも20%以上を占める結果となった。しかしながら、「管理機能は必要ない」とする回答は、青少年の学校種別が上がるに従って占める割合が多くなり、高校生女子の保護者では、40%強を占める結果となった。

図表 3-9-4.1 学校種別と性別ごとのフィルタリング等の保護者管理機能設定の必要性  
(保護者の回答)



図表3-9-4.2 保護者管理機能の利用状況  
(保護者の回答)



(注) 集計対象は、インターネット利用において子供とのルールを定めていると回答した保護者

## 4. 付録

### 4-1 調査票

※別紙「付録1 調査票」を参照

### 4-2 集計票

※別紙「付録2 集計表」を参照